

久性ニ充進スルハ機能神經症ニ略ル所ナリ然レモ迷走神經若クハ該神經核ノ麻痺(神經炎、球麻痺)ハ脈搏ヲ充進セシムル者ニシテ又屢、疾驅調節ヲ呈スルコト有リ

血管運動神經ノ障礙ハ頗ル奇異ナルモ診斷上敢テ肝要ノ者ニ非ズ即チ偏頭痛ニ於テハ多クハ偏側ノ頭ニ蒼白色或ハ紅色ヲ呈ス(交感神經痙攣性偏頭痛及交感神經麻痺性偏頭痛)又歇斯的里性半身知覺脫失ニ於テモ偏側ノ皮膚蒼白色ヲ來スコト有リ

皮膚藍色厥冷浮腫ハ殊ニ屢、腦性麻痺ニ來リ間、又脊髓性麻痺(脊髓前角炎)及末梢麻痺ニ來リ加之、亦歇斯的里ニ之ヲ略タルコト有リ

皮膚ノ灼感ハ拔設度烏氏病其他恐ク亦震戰麻痺ニ來ル者ニシテ血管運動神經ノ作用ニ因ル者トス

汗分泌ハ既ニ上文ニ述ベタリ(前編六一頁參照)局所的假死(ちあのせ)厥冷及特發對側性痙攣ハ一般神經症末梢神經炎ニ來リ又急性傳染病、糖尿病、麥角中毒ニ來ル者ナリ

(四) 消化器系ノ障礙

消化器系ノ障礙

該障礙ハ既ニ消化器系診法ノ條下ニ述ベタル所多シ

咽頭ノ知覺麻痺ハ歇斯的里ノ一症候トシテ肝要ナル者トス

唾液分泌ノ增多ハ精神病者痴呆其他延髓球麻痺ニ來ル者ニシテ前二者ニ之ヲ來スハ其注意ノ足ラザルニ因リ後者ニ之ヲ來スハ同時ニ口唇舌及咽頭筋ノ麻痺ヲ存スルニ因ル但シ球麻痺ニ在テハ唾液ノ分泌增多スルコト無キモ只麻痺ニ由テ唾液流泄スルコト有リ

唾液分泌ノ減少ハ主トシテ顔面神經麻痺ニ來ル者ナリ

此他宜シク神經性消化不良ニ留意スベシ該症ハ一ハ精神的障礙ニ因リ又一ハ胃ノ分泌或ハ運動機能ノ神經的障礙ニ因ル

嘔吐ハ既ニ述ベタルガ如ク(後編九二頁參照)諸般ノ腦疾患殊ニ小兒腦疾患ノ經過中ニ略ル所ナリ其他偏頭痛及歇斯的里ニ於テ亦嘔吐ヲ來スコト有リ

胃神經痛發作 *Gastrische Krämpfe* ハ劇甚ナル屢、放散性胃痛ニ兼スルニ嘔吐ヲ以テスル症ニシテ且此際鹽酸過多ナル者トス之レ脊髓癆ニ特有ノ一徵ナリ又罕ニハ本病ニ腸痛(痛發發作)及直腸痛(強劇ノ裡急後重)ヲ發スルコト有リ

腸内寄生蟲ハ屢、神經的障礙ヲ來ス者ニシテ殊ニ小兒ニ多シトス即チ腸蟲ハ神經性不安、偏頭痛發作、痙攣等ヲ起サシム

習慣性便秘ハ殊ニ諸種ノ慢性脊髓病ニ多ク觀ル所ニシテ著シキ大便閉ハ亦

神經ノ疾患ニ於ケル植物性系統ノ障礙

腹筋ノ痿弱或ハ麻痺ニ因ルコト甚多シ  
 大便失禁ハ痴呆癲狂人事不省等ニ因ルコト有ルモ亦麻痺ノ症狀トシテ來ル者  
 ナリ該障礙ハ直腸ヨリ求心のニ腰髓ニ至リ之ヨリ再ビ括約筋ニ至ル反射  
 道ノ斷絶ニ因リ或ハ求心の及遠心のニ腰髓ト腦ノ間ヲ走ル所ノ傳道ノ斷  
 絶ニ因ル者トス故ニ大便ノ失禁ハ主トシテ脊髓ノ疾患就中腰髓竝ニ其上  
 ノ脊髓ノ疾患ニ由テ發ス

泌尿器系ノ

減尿 *Oliguria* 無尿 *Anuria* 多尿 *Polymia* ハ間歇的の里患者ニ觀ル所ナリ  
 (無味尿崩) 及糖尿ハ延髓ノ竈局疾患ニ於テ或ハ只一時ニ止リ或ハ持久スル  
 コト有リ脊髓癆ニ於テハ只一時増尿ヲ來シ速ニ消散スルモ之ニ反シテ真正  
 ノ糖尿病ニ於テハ諸般ノ神經的障礙ヲ來ス即チ神經痛、神經炎、皮膚及皮下蜂  
 窩織ノ著シキ榮養障礙其他昏睡(或ハ徐々ニ或ハ俄然卒中様ニ發ス)ノ如キ  
 是ナリ

輕重諸種ノ膀胱炎ハ排尿障礙(下文ヲ看ヨ)其他不潔ノ加テテ使用シ  
 タル後ニ賤ル所ニシテ脊髓橫徑炎及脊髓癆ニ於テハ本症ヲ合併スルコト甚多

シ爾他尿ノ性狀ハ既ニ上文ニ述ベタリ

不隨意的ノ尿排泄ハ癲狂、痴呆、意識亡失、諸般ノ重症疾患等ニ來リ又一種ノ  
 疾患トシテ夜中遺尿 *Enuresis nocturna* ニ來ル然レ殊ニ注意ス可キ者ハ左ノ二  
 症トス即チ尿閉及尿失禁 *Retention u. Incontinentia urinae* 是ナリ尿閉ニ於テハ患者  
 放尿ニ際シテ努責シ或ハ久シク時ヲ費サザル可カラズ之ニ由テ徐ニ排尿  
 シ得ルコト有ルモ亦全ク尿ヲ泄スコト能ハザルヲ以テカテテテテ要スルコ  
 有リ尿失禁ハ始ハ屢反射的ニシテ意識ニ關セズ或ハ尿閉ト合併シテ來リ  
 患者尿ヲ淋瀝シ或ハ咳嗽、談笑ノ際ニ之ヲ來ス其重症ノ者ハ所謂奇性尿閉  
 症ナリ(後編四六二頁參照)

反射的ニ來ル不隨意ノ排尿ヲ起スニハ反射徑路ノ完全ナルヲ要ス即チ膀胱  
 粘膜(若クハ知覺的筋神經)腰髓及膀胱筋ハ健全ナルモ腰髓ハ腦ト連絡ヲ絶  
 ツ際ニ來ル即チ脊髓及頸髓橫徑炎或ハ外傷性及脊髓性橫徑損傷ニ於ケルガ  
 如キ是ナリ而シテ完全ノ膀胱麻痺ハ主トシテ腰髓ノ損傷ニ見ル所ナリ此他脊  
 髓癆ニ於テモ亦輕重各種ノ膀胱障礙ヲ來ス  
 類症鑑別上注意ス可キハ多發性神經炎ニ於テハ膀胱障礙ヲ缺如シ(脊髓癆

ト異ナル所其他筋萎縮性側索硬化脊髓前角炎ニ於テモ此際障礙ヲ缺如(脊  
髓炎ト異ナル所)スルコト是ナリ  
此他真正癩痢ノ痙攣發作時ニ當リ不隨意ニ尿ヲ泄スコト有レモ歇斯の里性  
癩痢ニハ之レ無キヲ以テ此兩症ノ鑑別ニ肝要ナリ  
膀胱痛(疼痛性尿意窘迫)ハ脊髓癆ニ認ムル所ナリ  
此他注意ス可キハ陰莖ニ於ケル諸種ノ刺戟殊ニ包莖ニ於テハ遺尿遺精其  
他諸種ノ神經的障礙ヲ起スコト是ナリ

(六) 生殖器系ノ障礙

男子ニ於ケル生殖機能ノ諸般ノ障礙ハ(精絲缺亡症及精液缺亡症ヲ除キ)殆  
ト皆官能的若クハ器質的ニノ後者ニ在テハ又或ハ神經的疾患ニ因リ或ハ  
他ノ疾患ニ因ル者トス而シテ神經疾患ノ診斷上殊ニ肝要ナルハ脊髓癆ニ於  
ケル生殖機能ノ減衰ニシテ慢性多發性神經炎トノ鑑別上注意ス可キ所ト  
ス然レモ脊髓性神經衰弱症ニ在テハ亦生殖機能ニ久シク高度ノ障礙ヲ來ス  
コト有ルヲ以テ宜シク注意スベシ  
女子ノ生殖器ニ就テハ茲ニ掲グ可キ者多カラズ從來生殖器ノ解剖的障礙

生殖器系ノ  
障礙

皮膚(骨及  
關節)ノ障  
礙

ト歇斯の里トハ原因上ノ關係有リト主張スル者有レモ其詳密ナルコトハ爰  
ニ之ヲ論ゼズ只女子ニ在テハ生殖器系統ノ疾患ハ爾他神經系統ヲ薄弱ナ  
ラシムル疾患ニ比スレバ歇斯の里症ヲ起サシメ易キコトハ吾人ノ疑ヲ容レ  
ザル所ナリ  
歇斯の里ニ於テハ所謂卵巢痛 Ovaric 或ハ卵巢知覺過敏 Ovarial hyperaesthesia ハ注  
意ス可キ者トス是レ下腹殊ニ其左側ノ壓痛(卵巢トハ毫モ關係有ルコト無シ)ニ  
シテ此部ヲ壓スルニ間歇斯の里性痙攣發作ヲ起スコト有リ或ハ之ニ反シテ其  
壓迫ニ由リ却テ該發作ヲ鎮靜スルコト有リ此他歇斯の里患者ニ於テハ他ノ  
體部ニ於テモ之ニ似タル現象ヲ觀ルコト有リ

(七) 皮膚(骨及關節)ノ障礙

皮膚ノ疾患ハ屢神經的障礙ニ基因スル者ニシテ彼ノ帶狀旬行疹間又天疱瘡  
其他所謂滑澤皮 Glassy skin ノ如キハ皆末梢神經ノ疾患ニ因ル者トス就中診  
斷上注意ス可キハ帶狀旬行疹殊ニ其肋間ニ發スル者ニシテ該症ハ脊髓ノ壓  
迫脊髓癆脊髓膜炎脊髓神經節ノ疾患ニ來リ又末梢神經炎ニ由テ發スル者  
ニシテ總テ是等ノ諸症ニ於テハ多クハ神經痛様ノ疼痛ヲ伴フ者トス然レモ該

神經ノ疾患ニ於ケル植物性系統ノ障礙

疹ハ亦他ノ神經區域例之三又神經ノ領内ニ發スル者ナリ  
 神經系統ノ諸病ニ就テハ皮膚及其他ノ器官ニ微毒ノ微候無キヤ否ヤヲ最  
 精密ニ檢索スルヲ緊要トス  
 局所發汗ハ既ニ上文ニ述ベタリ(前編六ニ詳見)罕ニハ局所の無汗ヲ來スコト  
 有リ  
 皮膚内ノ出血ハ突然歇斯的里ニ來ルコト有レモ罕ナリ又癩癩發作ノ後頭  
 部殊ニ眼ノ周圍ニ點狀ノ皮下溢血ヲ見ルコト有リ殊ニ結膜ニ發スルヲ多  
 シトス  
 癩癩發作ノ際ハ外傷ニ由リ皮下蜂窩織内ニ出血ヲ來スコト有リ爾他頭部ノ  
 皮膚及皮下蜂窩織内ニ於ケル出血(殊ニ眼ノ周圍鼻部頭蓋底ノ骨傷)ハ外科  
 學ノ論ズル所ナリ  
 褥瘡 Decubitus ハ初皮膚ノ壞疽性破潰ニ止マルモ次デ皮下蜂窩織ヨリ進  
 深部ノ組織ニ達シ間骨ニ至ルコト有リ而シテ該症ハ身體ノ下部ニ最モ重力ノ  
 加ハル所ニ來リ殊ニ皮膚ノ骨ニ接近セル部ニ發スルヲ以テ薦骨踵部肩胛  
 部等ニ多發ス又不潔ハ褥瘡ノ發生ヲ促ス者ナリ殊ニ大便及尿ノ失禁ヲ有

スル患者ニ於テハ薦骨部ニ之ヲ起サシム之ニ二種アリ  
 (一)急性褥瘡 Decubitus acutus ハ始滲出性紅斑ヲ狀ヲ呈シ次デ多クハ水疱ヲ生  
 シ其底面壞疽狀ト爲リ之ヨリ其崩壞速ニ四方及深部ニ向テ進行ス是亦壓  
 迫及不潔ニ基クテ多キ者ニ只壓迫ニ因ルモ既ニ著シキ滲出性紅斑ヲ來  
 ス者ナリ蓋シ急性褥瘡ハ只脊髓ノ重症疾患ニ略ル所ニシテハ半身  
 不隨ノ患者ニ於テ卒中發作後僅ニ二乃至四日ヲ經過シタル者ニ麻痺側ノ  
 臀部ニ本症ヲ發シタル者ヲ見タリト云フ  
 (二)尋常褥瘡ハ身體久シク一定ノ位置ヲ取リ且不潔ヲ受クル際生ズル者ナ  
 ルヲ以テ清潔ニ注意スルキハ能ク之ヲ防グコトヲ得可シ而シテ其始ヲ發スル  
 ヤ亦紅斑ヲ呈シ或ハ二三ノ膿疱疹ヲ發シ或ハ又皮膚溢血ヲ來ス是諸般ノ  
 器質的麻痺其他注意ヲ怠ルキハ諸種ノ惡液質ニ來ル者ナリ  
 穿足症 Malignum perforans pedis ハ足ノ皮膚及其深部ニ發スル頑固ノ潰瘍ニ脊  
 髓癆進行性麻痺其他糖尿病ニ略ル所ナリ近時頸髓ノ脊髓空洞症ニ於テ皮  
 膚若クハ皮下蜂窩織ノ化膿ヲ見タルコト有リ  
 毛髮ノ發生ハ神經的疾患ニ由テ極テ奇異ノ變常ヲ呈スル者ナレモ此變常

六 診斷上獨立の價值無キ者トス  
 爪甲ハ經久重症ノ末梢性麻痺ニ於テハ鈎狀ト爲リ破碎シ易シ  
 骨及關節 骨ノ發育不全ハ小兒時ニ於ケル重症ノ中樞性麻痺ニ來ル者ニ  
 シ就中脊髓前角炎ノ後ニ於テハ概シテ腦髓炎ノ後ニ於ケルヨリ高度ナル  
 者トス『骨ノ脆弱ナルハ屢々骨髓癆ニ認メタリ脊髓空洞症ニ於テモ亦重症  
 ナル骨ノ榮養障礙ヲ來ス』有リ  
 諸種ノ關節病ハ神經系統ノ疾患ニ見ル可シ即チ(一)關節ノ器質的疾患ハ屢々  
 陳久ノ半身不隨ニ來ル者ニシ本病ニ於テハ關節勁硬ト爲ルヲ有ルモ新發  
 症ニ之ヲ見ルハ罕ナリ其他骨髓癆ニ於テハ關節内ニ於テ漿液性滲出物ヲ  
 生ジ其周圍腫脹シ或ハ畸形性關節炎ヲ發スルヲ有リ(二)關節機能神經症ハ  
 關節ニ疼痛ヲ發シ時トシ増悪シ又壓痛點ヲ存シ關節勁硬ニシ且萎縮ヲ來  
 スモ(此兩者ハ麻酔セシムレバ消散ス)器質的ニハ毫モ變化ヲ呈セザル者ナ  
 リ本症ハ殊ニ神經質就中歇斯的里性婦人ニ見ル所ナリ  
 近時あぐろめがり  
 Akromegalia 尖端巨大ノ意ト稱スル一種ノ疾病ヲ記述セル者有  
 リ是レ手足鼻下顎等身體末端部ノ著シク肥大シ巨大ト爲ル症ニシ其肥大ハ

專ラ(或ハ主トシ)骨ノ肥大ニ基因スル者ナリ

附錄  
應用診斷法

神經系統診法

## 附錄

### 應用診斷法

上來述べタル所ノ各部診法ハ理化學的症候ニ適合シ且之ヲ惹起スル所ノ變化ヲ論ジ各其症候ヲ舉グル者ナリト雖モ之ニ反シテ各疾病ニ就テ之ニ屬スル理化學的ノ症候ヲ總括シ又殊ニ類症鑑別ヲ明カニスルコト有リ蓋シ後者ニ於ケル診法ハ病理各論及治療學ノ論ズル所ニシテ検査ニ由テ得タル所ノ成績ヲ綜合シ以テ之ヲ各病ノ診斷ニ應用スル者ナリ 應用診斷法 *Ange-wandte Diagnostik* 卽是ナリ

左ニ掲グル者ハ主ニ内科的諸病ニ來ル諸般ノ症候ニシテ只其梗概ヲ示スニ過ギズ又既往症經過其他自覺的症候ノ如キハ一々之ヲ掲ゲズ又或ハ疾病ニ來ル所ノ不定ノ症候ノ如キハ措テ問ハズ蓋シ是等ノコトハ臨牀實地ノ練習ニ俟テ始メテ自得スル者ナレバナリ

各病ノ分類法ハ一ニ原因ニ據レリト雖各種ノ病毒ニシテ又類似ノ病症ヲ發

應用診斷法

傳染病  
侵襲病  
中毒症

器質病

スルコト有リ或ハ同種ノ分裂菌ニシテ諸種ノ疾患ヲ起スコト有リ故ニ亦專ラ原因ニ據ルコト能ハズ症候ニ由テ類別セル者有リ

各種ノ疾病ハ之ヲ左ノ如ク類別スルコトヲ得可シ即チ機生性有害物就中植物性或ハ動物性發病素即チ所謂寄生生物ニ基因スル者ニシテ植物性寄生生物ニ基因スル者ヲ傳染病 *Infectiouskrankheiten* ト稱シ動物性寄生生物ニ基因スル物ヲ侵襲病 *Invasionskrankheiten* ト稱ス又非機生性物質ニ基因スル者之ヲ中毒症 *Intoxicationen* ト稱ス其他理學的作用(溫熱器械的作用等)ニ基因スル者有リ又其原因ノ稍不明ニ屬シ或ハ全ク分明ナラザル者甚多シ故ニ此等ノ諸病ハ其原サレタル器質ニ從ヒ器質病 *Organkrankheiten* ノ中ニ類別セリ

各症候上ニ冠スル(一)(二)(三)等ノ符號ハ只一般及各部診法ノ順序ヲ示シタルニ過ギズ一々其憑ル所ヲ示サザルハ只其煩ヲ避ケンガ爲メノミ

寄生物性タル  
確實ニシテ其  
寄生體明瞭ナル  
傳染諸病

腸室扶斯

### 第一 傳染諸病

(甲) 寄生物性タルコト確實ニシテ其寄生體明瞭ナル傳染諸病

#### (1) 腸室扶斯 (*Typhus abdominalis*)

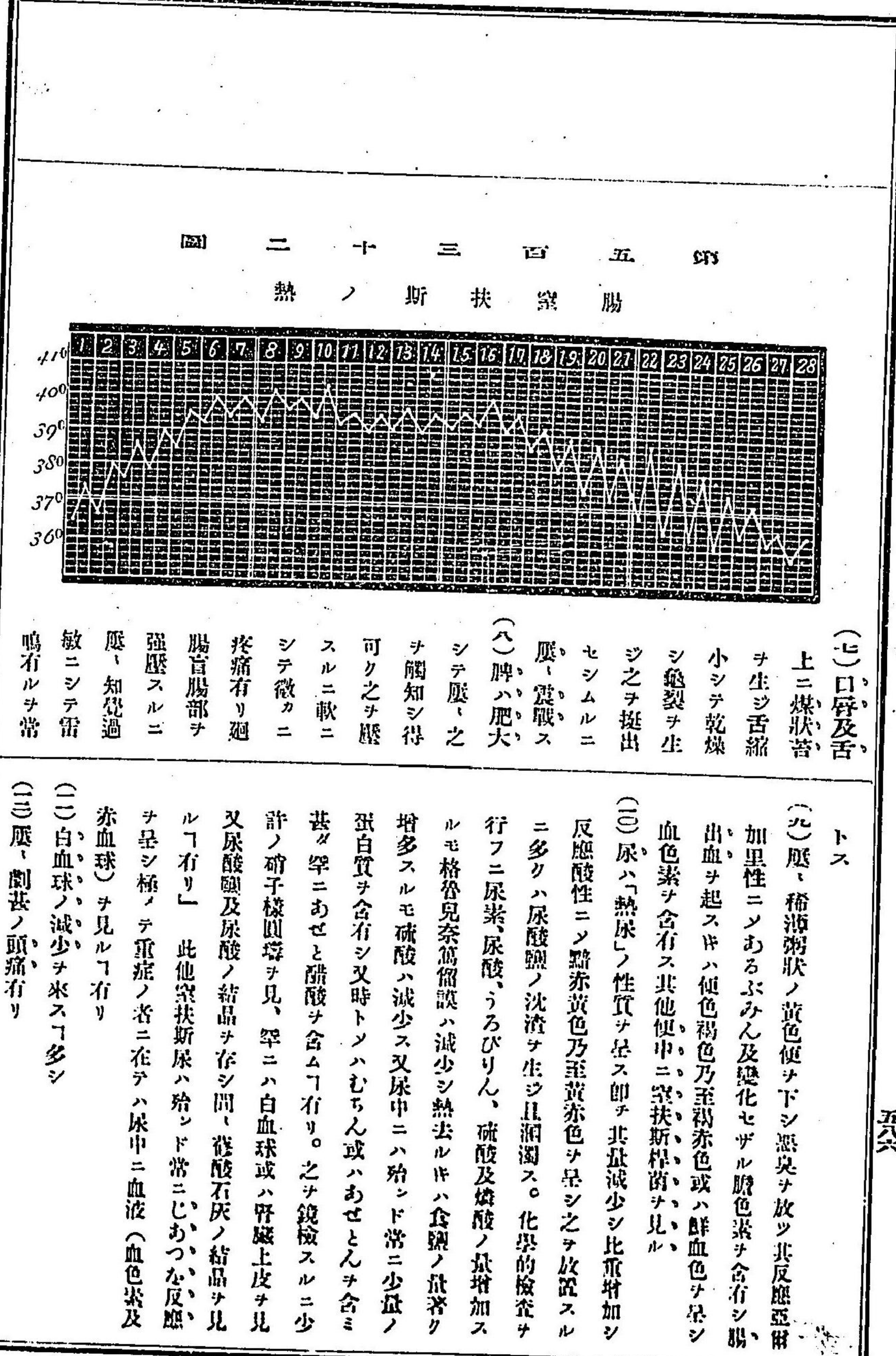
- (一) 患者多クハ受動的體位ヲ取り間、不安ノ狀ヲ呈ス
- (二) 大約十日間ヲ經ルルハ胸腹部ニ少數ノ點疹ヲ發スルモ紫斑ニ變ズルコト無ク日唇留行疹ヲ見ルコト甚々罕ナルモ往々粟粒疹ヲ生ジ後期ニ至レバ亦癩癧ヲ生ジ其部位多クハ腕骨部ニ在リ
- (三) 熱ハ惡寒ヲ以テ始マリ往々階梯狀ニ昇進シテ第一週日ノ終リニ至レバ四十度乃至四十一度ニ達シ之ヨリ七日乃至二十一日間或ハ之ヨリ久シク稽留熱ヲ呈シ次第朝熱ハ漸次下降スルモ晚熱ハ尙暫ク高ク終ニハ五日乃至十二日間弛張熱ヲ呈シテ全ク下降ス又屢々再發ヲ來スコト有リ此他其經過ノ頓挫性ナル者有リ(第五百三

傳染諸病

- 十二圖) 潛伏期ハ十日乃至十四日間トス
- (四) 初期ニ於テハ心音腫、強盛スルモ後ニ至リ心力減衰スルルハ特ニ心尖ノ第一音減弱シ收縮期的假性雜音ヲ呈スルコト有リ
- (五) 脈ハ「熱脈」ノ性質ヲ呈ス即チ脈搏頻數ト爲リ解熱スルルハ緩徐ト爲ルコト多シ又脈搏ハ殊ニ心力減衰スル者ニ在テハ不正且不等ニシテ又常ニ軟弱且屢々重覆脈ヲ呈スルコト有リ
- (六) 血液就中發熱ノ中ニ窒室扶斯桿菌ヲ見ルコト有リ疑ハシキ症ニハウヰグーブル氏反應ノ有無ヲ檢ス可シ

五六五





赤痢

(11) 赤痢 (Dysentery)

- (一) 熱ヲ存スルヲ有リ或ハ之ヲ缺クヲ有リ
- (二) 結腸部ヲ屢スルニ知覺過敏ト爲リ又屢、劇痛ヲ訴フルヲ有リ
- (三) 大便ノ性状ハ特異ニシテ概スルニ液狀ニシテ種種ノ色(灰白色、褐色、赤色、黑色)ヲ呈シ便通ノ度數晝夜ヲ通シテ數十回ノ多キニ達シ其量ニ亦多少有リ常ニ裡急後

(13) 實扶的里 (Diphtheria)

- (一) 熱ノ經過ハ特異ナラズ
- (二) 頸下腺、鎖骨上窩腺及頸腺ハ多少腫脹ス
- (三) 熱高キハハ心音強盛スルモ後ニ至レバ心力減衰ノ症狀ヲ呈シ殊ニ脈搏不正ト爲ル
- (四) 脈ハ熱脈ノ狀況ヲ呈ス(瘵扶斯ニ於ケルガ如シ)
- (五) 懸壘垂及口蓋腫脹シテ腺樣ノ沈著物ヲ著ケ始メハ通常灰白色ナルモ後チ稍、黄色ヲ帶ビ固著シテ離レズ試ニ之ヲ剝除スルニ上皮剝脱シテ出血スルヲ常トス此被

傳染諸病

重チ件フ又大便中ニハ粘液狀ノ黄色硝子樣物其他血液膿、腸粘膜片等ヲ混ジ其臭氣ハ著シカラザルヲ有ルモ又屢、腐肉樣ノ惡臭ヲ放ツヲ有リ

大便ハ化學的検査上あるふみん又ハ血色素ヲ含有シ顯微鏡的検査ニ於テハ白血球、血色素及赤桿菌ヲ見ル往々肝腫脹及關節疾患ヲ併發スルヲ有リ

膜ハ亦咽喉、鼻及喉頭ヨリ氣管枝内ニ蔓延スルヲ有リ。稀ニ被膜ヲ缺知スル症ニ在テハ安錫那(白喉炎)トノ區別頗ル難ク屢、全ク爲シ能ハズ

(一) 沈著物ハ纖維素及實扶的里桿菌ヲ含有スル網狀物ヨリ成ル

(二) 脾ハ屢、肥大スルモ通常之ヲ觸知スルヲ能ハズ

(三) 尿ハ熱候有ルモ「熱尿」ノ狀況ヲ呈シ腎臟炎ヲ併發スルモハ之ニ特異ノ變化ヲ呈ス

結核症

(九) 遺後病トシテ運動麻痺ヲ來シ該麻痺ハ口蓋ニ始リ咽頭反射ヲ消失セシメ又眼筋(瞳孔散大)ニ及ボシ重症ニ

在テハ廣ク身體諸筋ノ大部ニ及ルコト有リ

(四) 結核症 (Tuberculosis)

結核症トハ結核桿菌ニ因テ發スル諸病ヲ汎稱スル者ニシテ該症ハ殆ンド身體ノ各器ヲ侵スヲ以テ其各症狀モ亦甚ク異ナラザルヲ得ズ故ニ各器官ノ結核性疾患ハ(第四)ニ譲リ茲ニハ只一般傳染病ノ性質ヲ具有スル急性全身粟粒結核症(acute miliary tuberculosis)ヲ記述ス可シ  
(一) 罕ニハ二三ノ發熱疹ヲ發ス  
(二) 熱ハ殆ント常ニ之レ有ルモ一定ノ定型ヲ具フルコト無ク間、消耗熱ヲ來スモ亦高度或ハ低度ノ稽留熱ヲ呈スルコト有リ  
(三) 多クハ著シキ呼吸困難アリ

(四) 經過中殆ンド常ニ加答兒性雜音ヲ聽クモ喀痰中ニハ結核桿菌ヲ缺如ス  
(五) 心臟及脈搏ハ熱ニ伴フ變常ヲ呈ス  
(六) 血中ニ結核桿菌ヲ存スルモ之ヲ發見スルコト難シ故ニ之ヲ證明スルコト能ハザルモ其診斷ヲ非認スルヲ得ズ  
(七) 脾ハ常ニ増大ス  
(八) 熱有ルモ「熱尿」ヲ來シ其中ニ結核桿菌其他何れもを體ヲ存スルモ「ムネ」ヲ缺如ス  
(九) 經過中ニハ通常同時ニ「腸膜炎」ノ症狀顯著ト爲リ又間、脈絡膜ノ結核ヲ認ムルコト有リ

(五) 微毒 (Syphilis)

本病ハ其症候及經過ニ於テ之ヲ三期ニ區別スルコトヲ得可シ即チ第一期、第二期及第三期微毒是ナリ而シテ其第一期

症ハ單ニ局所ノ疾患ニ止マレ他ノ兩期ニ於テハ全身症ヲ現スヲ以テ茲ニ之ヲ述ブ可シ

微毒

第二期

(イ) 第二期 (Secondary Period)

(一) 病毒感染後八乃至十三週日ヲ經テ皮膚ニ微疹若クハ丘疹ヲ發シ此際又熱發スルコト有リ  
(二) 全身ノ淋巴腺ハ悉ク多少腫脹スレド疼痛無シ  
(三) 咽頭及口蓋ノ粘膜其他扁桃腺ハ發赤腫脹シ舌、口蓋、扁桃腺等ニ糜、硬斑ヲ發シ遂ニ潰瘍ニ陥リ或ハ癩瘕ヲ

殘シ或ハ舌ラズノ治ス

(四) 肛門、陰部ノ破皮等ニ糜、扁平皰腫ヲ生ズ  
(五) 第二期性病の組織中ニ本病原體ヲ認ムルハ一トテ、ばるリ「ダ」ヲ認ム

第三期

(ロ) 第三期 (Tertiary Period)

(一) 皮膚ニ諸般ノ疾患(護膜腫、潰瘍)ヲ起ル  
(二) 鼻内ニ潰瘍ヲ生シ粘膜、軟骨及骨ヲ侵シ又糜、狹窄ヲ來ス  
(三) 喉頭ノ侵サレ、者ニ在テハ粘膜ノ潰瘍、軟骨膜炎、狹窄ヲ起ス  
(四) 氣管ニ於テモ上記ノ如キ疾患ヲ來スコト有リ  
(五) 肺ハ侵サル、コト罕ナリ只護膜腫ヲ生ズルコトハ最多ニシテ若シ之ヲ生ズルモハ腫瘍ノ症狀ヲ呈ス  
(六) 口腔内ニハ或ハ新生ノ潰瘍ヲ存シ或ハ癩瘕、缺損、狹窄等ヲ潰存ス  
(七) 肝及脾ニ於テハ間質性炎症ヲ來シ、護膜腫ヲ發シ又

澱粉樣變性ヲ起スコト有リ肝臟ノ疾患ニ在テハ其下線多クハ尋常ヨリ低ク、其形狀ヲ變シ表面ハ多ク突起トシテ隆起ヲ生シ又糜、黃斑ヲ發ス爾他腹内諸器ノ病ムハ稀ナリ

(八) 血色素尿ヲ來スコト有リ又尿中ニ膽色素ヲ見ルコト有リ  
(九) 翠丸炎等ヲ來スコト有リ  
(一〇) 頭蓋(及他ノ骨)ニ癩瘕及陷沒ヲ見ルコト有リ  
(一一) 諸般ノ神經痛、黑内障、網膜炎、脈絡膜炎等ヲ起スコト有リ  
(一二) 諸種ノ運動機障ヲ來スコト有リ  
(一三) 第三期性病の組織中ニモ本病原體ヲ認ムルモ罕ナリ

癩病

(六) 癩病 (Lepra)

- (一) 皮膚ニ特異ノ變常(斑紋、結節、潰瘍、萎縮等)ヲ呈ス
- (二) 新タニ發疹スルトハ熱發スルモ定型ヲ具フルヲ無シ
- (三) 結節若クハ組織液中ニ癩桿菌ヲ存ス

(七) 馬鼻疽 (Rosa)

- 本症ハ或ハ急性ニシテ乃至三週間ニ經過シ或ハ慢性ナリ
- (一) 一定ノ潜伏期ノ後不正ノ熱ヲ發シ死ニ至ルマテ持續シ又膿疱性皮疹ヲ生シ潰瘍ニ陥リ其他筋肉ニ膿瘍ヲ生ズ
- (二) 其分泌物中ニ馬鼻疽桿菌ヲ證明ス可キモ培養或ハ接

脾脫疽又炭疽熱

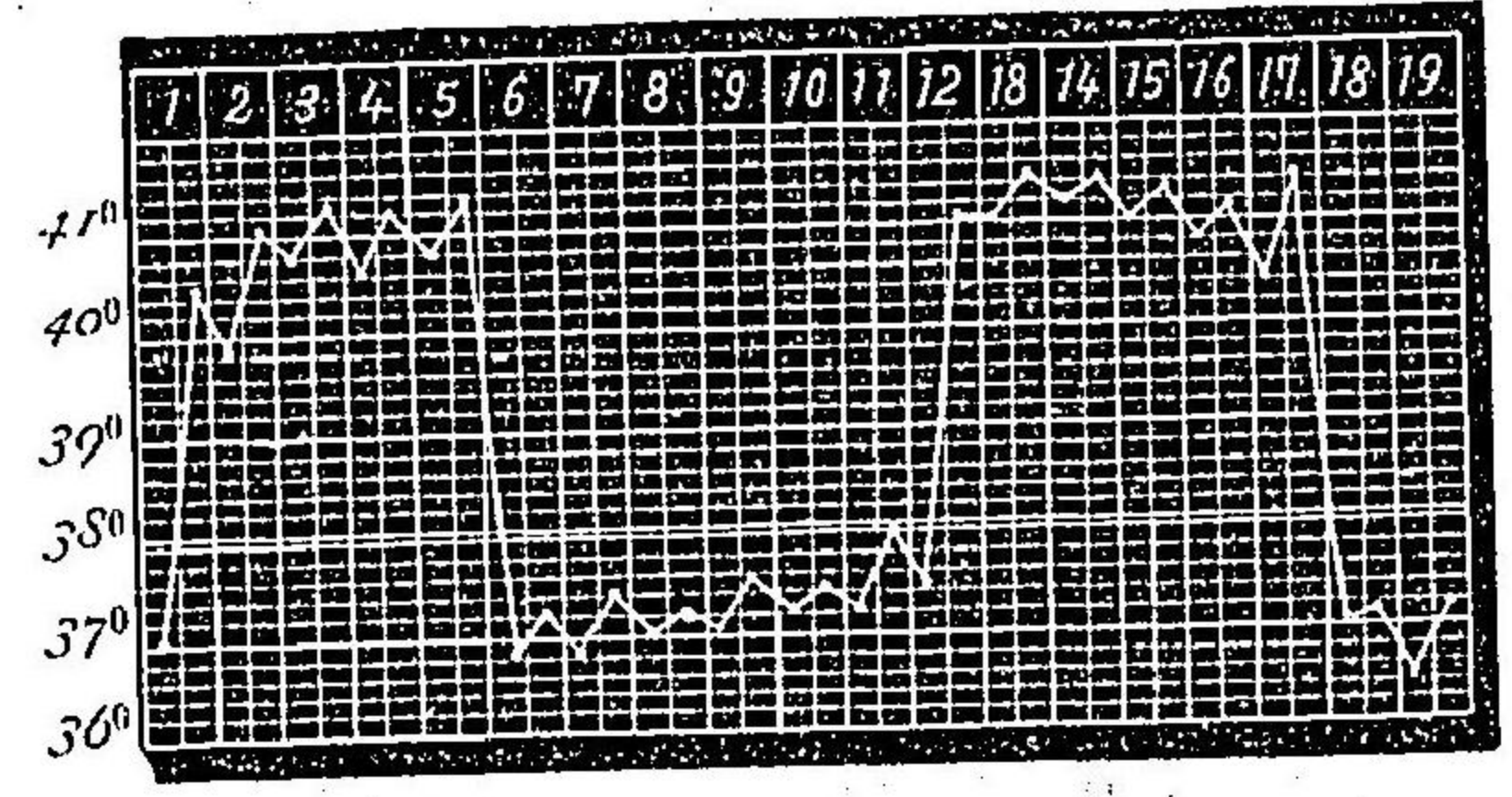
(八) 脾脫疽又炭疽熱 (Milsbrand)

本病ノ傳染ハ脾脫疽桿菌ノ皮膚或ハ腸内ニ侵入スルニ因ル者ニシテ前者ニ在テハ惡性膿疱 (Pustula maligna) ト稱シ後者ニ在テハ腸脾脫疽又腸菌病 (Anthrax s. Mucosae intestinalis) ト稱ス

- (一) 傳染ハ皮膚ヨリシ其局部ニ(一)乃至三日ノ潜伏期ヲ經テ(二)繼テ生シ次テ蔓延シ或ハ浮腫ヲ生シ壞疽ニ陥ルヲ有リ
- (二) 熱ハ該兩症共ニ通常甚ク高ク四十度以上ニ至ルモ熱

回歸熱

第五百三十三圖 回歸熱ノ熱型



- 型ハ定ラズ
- (三) 皮膚潰瘍ノ分泌物中ニハ脾脫疽桿菌ヲ存ス
- (四) 傳染部ヨリ發スル淋巴腺及淋巴管ハ發炎腫脹ス

(九) 回歸熱 (Febris recurrens)

- (一) 發熱ノ際ハ皮膚乾燥スルモ分利時ニハ發汗淋漓タリ
- (二) 體温ハ惡寒戰慄ヲ以テ速クニ昇リ不等ニ四十度以上ニ達シ五六日間ハ四十度乃至四十二度ノ高熱ニ稽留スルモ第五乃至第七日ニ至レバ復テ速クニ下降シテ平温或ハ其以下ニ至リ次テ五乃至七日間ノ免熱期ヲ經過シタル後再び初發時ノ如ク發熱スルモ其間ハ二乃至五日間ニシテ再ビ解熱シ次テ一乃至三日間ヲ經テ第三ノ熱發作有ルモ其時期漸次短縮ス準ニハ第四回ノ發作ヲ來スヲ有リ(第五百三十三圖)(潜伏期ハ五乃至八日間トス)
- (三) 發熱ノ際ハ呼吸困難ヲ呈ス
- (四) 心臟及脈搏ハ熱性病ニ來ル狀況ヲ呈ス(空扶斯ノ條ヲ看ヨ)
- (五) 血中白血球增多症ヲ呈ス(ニハ發作ノ際毎當ガールベルマイエル氏ノ種ヲ試ミ(めーるしわいんへん)之ヲ確定セザル可カラズ
- (三) 鼻若シ侵サル、其ハ此所ニ炎症、膿瘍及潰瘍ヲ生ズ而シテ其分泌物中ニハ亦馬鼻疽桿菌ヲ發見ス可シ
- (四) 血中ニモ亦間、此桿菌ヲ存ス

- 螺旋菌ヲ存ス
- (六) 脾ハ肥大シテ通常觸知シ得可ク軟ニシテ壓痛有リ
- (七) 熱尿ヲ來ス(上文ヲ看ヨ)

傳染諸病

虎列拉

(10) 虎列拉 (Cholera)

- (一) 皮膚ヲ撮擧スルニ皺變ヲ留メ乾燥厥冷シ屢ニ粘稠ノ汗ヲ被ムル
- (二) 顔貌蒼白色ヲ呈シ胸部及口唇ハ鉛樣灰白色ト爲リ顔骨及鼻梁著シク突出シ眼球ハ著シク陷没シ周緣蒼灰色ヲ呈シ眼瞼ハ往々半閉ノ狀ヲ呈ス(所謂虎列拉死眼)而シテ患者ノ容貌ハ上記ノ如キ一種特異ノ狀ヲ呈スルヲ以テ又虎列拉顔ノ名有リ
- (三) 熱ニ定型無シ時トシテ體外ノ溫度減少スルモ體內ノ溫度増進シ直腸ノ溫度四十度若クハ其以上ニ達スルコト有リ
- (四) 聲音ハ微弱ト爲リ且多クハ純濁シ一種ノ高調ヲ帶ブ(所謂虎列拉聲)
- (五) 心音ハ幽微ト爲リ殊ニ第一音ハ全ク聴ク可カラズ
- (六) 脈搏ハ甚ク頻數ニシテ終リニ甚ク微小ト爲リ細キヲ絲ノ如ク途ニ多クハ之ヲ觸知スルヲ得ズ

(11) 百斯篤 (Pestilential)

本病ハ二日乃至七日ノ潜伏期ヲ有スル頗ル劇性ノ傳染病

- (七) 血液ハ異常ニ黧黑ニシテ稠厚ナリ
- (八) 多量ノ漿液狀物嘔吐有リ
- (九) 劇烈ノ下利有リ其排泄物ハ甚多量ニシテ稀薄液狀ヲ呈シ殆ド無臭無色ニシテ潤滑ス。鏡檢スルニ許多ノ腸粘膜上皮及白血球其他ニシテ菌ヲ存ス而シテ該菌ハ殆ド常に存在セザルヲ無キモ之ヲ證明スルニハ培養法ヲ行ハザル可カラズ
- (十) 尿量ハ甚ク減少シテ濃厚ト爲リ多クハ無尿ニ至リ比重増加シ、いんぢかんニ富ミ後ニ排泄セル尿ハ屢ニ蛋白、圓錐及腎臟上皮ヲ含有ス
- (十一) 意識ハ多クハ死ニ至ルマデ存在スルモ時トシテ全身衰弱ノ速進スルニ因リ無意識トナリ罕ニ譫妄ヲ發スル者アリ
- (十二) 甚ク疼痛性ノ頸直性筋痙攣(虎列拉痙攣)ヲ發ス殊ニ膈膈筋ニ最多ニシテ上肢下頸筋ニ發ス

ニシテ臨牀上ノ特徵ニ從ヒ三種ニ區別セラル即チ腺腫性百斯篤

腺腫性百斯篤

(1) 腺腫性百斯篤 (Bubonephax)

斯篤、敗血性百斯篤及肺百斯篤是ナリ

- (一) 多ク前兆ヲ缺知スルモ間ニ全身倦怠、頭痛、眩暈ヲ來シ食欲不振、又嘔、惡心、嘔吐ヲ發スルコト有リ
- (二) 熱ハ多ク俄然驟然ニ以テ始マリ三十九度乃至四十度及其以上ノ高熱ヲ呈ス
- (三) 發熱後一乃至二日ニ至リ外表ノ淋巴腺、鼠蹊腺、腋窩腺及頸腺ニ炎症腫脹ヲ來シ疼痛甚シ殊ニ最屢、侵サル、ハ股腺及鼠蹊腺ナリ而シテ腋ノ侵サル、ヤ最初ハ往々只偏側ノミナルモ途ニ兩側共ニ侵サレテ次テ炎症ハ腺周圍組織及附近ノ皮膚ニ互リ淋巴腺ハ皮下ニ移動セシムルコト能ハザルニ至ル此際試ニ之ヲ穿刺シ其液汁ヲ染色鏡檢スルトキハ多數ノ百斯篤菌ヲ發見ス可シ

敗血性百斯篤

(2) 敗血性百斯篤 (Septicæ Pests)

- (一) 初發時ハ前症ニ同シク俄然驟然ニ以テ三十九度乃至四十度、加之ヲ四十一度ノ高熱ヲ呈シ又間ニ淋巴腺ノ

傳染諸病

- (四) 脈ハ初メ著シク頻數ニシテ重症ニ在テハ漸次心臟衰弱ノ徵ヲ呈シ脈搏不正微弱ト爲リ熱度昇騰スルモ四肢厥冷シ發病後第三日乃至第七日ニシテ致命スルコト多シ但シ重症ノ者ニ在テハ未ダ淋巴腺ノ腫脹ヲ認メザルニ一ニ日ナリテ早ク心臟麻痺ニ因リ斃ルコト有リ
- (五) 舌ハ乾燥シ黑色ノ苔ヲ被リ重症ニ於テハ裂創ヲ生シ齒齦、口唇、鼻孔部ニ汚穢ナル黑色痂皮ヲ著ク
- (六) 脾臟ハ肥大シ屢ニ疼痛アリ
- (七) 尿利ハ減少シ黧褐色ヲ呈ス
- (八) 意識ハ瀟灑スルコト多ク重症ニ在テハ昏愡ニ陥リ譫妄ヲ發ス

- 腫脹及疼痛ヲ伴フコト有リ
- (三) 特ニ著明ナルハ全身症狀ノ増悪ニシテ皮膚及粘膜ニ類

肺百斯篤  
又肺炎性  
百斯篤

繁ナル出血ヲ來シ患者忽チニノ虚脱ニ陥ルコト稀モ爾餘  
ノ敗血症ニ異ナラズ

(三) 出血ハ殊ニ胃腸ニ劇發シ甚シキ吐血及下血ヲ來シ血

(八) 肺百斯篤又肺炎性百斯篤 (*Tangier's Pneumococci*)

(一) 著明ノ戰慄無ク體温ノ昇騰比較的甚シカラズ初ノ多  
ク弛張熱ヲ呈シ三十八度五分ヨリ三十九度五分ノ間  
ヲ往來スルモ病勢漸ク増進スルニ從ヒ四十度或ハ其以  
上ノ高熱ヲ呈ス

(二) 初ノ胸痛無ク呼吸促進亦著シカラズ只胸内苦悶、心  
窩壓迫ノ感アルノミナルモ病勢進ムニ從ヒ胸痛ヲ來シ  
且呼吸促進ス

(三) 初ノ咳、嗽甚シカラズ咯痰モ亦少量ナルモ後ニ至リ咳

(II) 肺炎球菌病 (*Pneumococcosis*)

該症ハ肺炎球菌(フレンケル、ライヒセルバウム氏)ニ  
因テ發スル傳染病ヲ汎稱スル者ニシテ該微生體ハ原發的ニ  
諸般ノ器質ヲ侵ス者ナリ即チ其肺、肋膜、心臟内膜、腹膜

及腹膜ヲ侵スコトハ確然タル事實ニシテ其他ハ未ダ審ナラ  
ズ而シテ其症狀タル發病部位ニ由テ各々異ナルヲ以テ  
(第四) 各器臟ノ疾患中ニ之ヲ述ブ可シ

液中ニ百斯篤菌ヲ證明ス可シ

(四) 本症ハ不治ノ症ニシテ患者數日ヲ出デズン覺ル、ナ常  
トス

嗽頻發シ血痰ヲ咯血ス其色ハ鮮紅色ニシテ格骨布性肺炎  
ニ於ケルカ如ク錆色ナル者ハ少ク之ヲ鏡檢スルニ明カ  
ニ多數ノ百斯篤菌ヲ發見ス可シ  
(四) 脈ハ熱ニ準シテ其數ヲ増加ス  
(五) 脾ハ通常肥大スルヲ見ル  
(六) 意識ハ昏憒シ譫妄ヲ發シ重症ニ於テハ發病後二日乃  
至三日ニシテ虚脱ニ陥リテ斃ル但シ本症ハ稀有ノ症ニ  
屬ス

流行性腦脊  
髓膜炎

(III) 流行性腦脊髓膜炎 (*Meningitis cerebro-spinalis epidemica*)

(一) 殆トド常ニ旬行疹ヲ發シ又他ノ皮膚疹ヲ見ル

(二) 熱ハ脈、惡寒戰慄及嘔吐ヲ以テ始マリ或ハ稽留シ或  
ハ弛張シ或ハ又全ク不整ニシテ數週日ヲ經過スルモハ漸  
分利ヲ以テ下降ス

(三) 通常呼吸困難及氣管枝加答兒ヲ伴フ

(四) 心臟及脈ハ熱ニ伴ヘル變常ヲ呈ス

(五) 脾ハ腫大ス

(六) 嘔吐有リ

(IV) 淋毒球菌病 (*Gonococcosis*)

(七) 尿ハ熱尿ニシテ又白布巾尿ヲ起スコト有リ  
(八) 強刺ノ頭痛有リ且頭ハ強ク後方ニ屈曲シ試ニ頸椎  
ヲ伸展スルニ疼痛ヲ發シ又諸他ノ體部ニ疼痛有リ  
(九) 諸所ノ筋肉ニ強直性痙攣ヲ發シ罕ニハ間代性痙攣ヲ  
發スルモ麻痺ヲ來スハ稀ナリ  
(十) 常ニ譫語ヲ發シ又意識障礙(嗜眠、昏睡)有リ  
(一) 腰椎穿刺液ヲ鏡檢スルニ木洞ノ原因タル所謂細胞内  
性腦膜炎球菌ヲ見ル

淋毒球菌病

此名稱ハ淋毒球菌(ナイセル氏)ニ由テ發スル傳染病ニ附  
スルコトヲ得可シ從來ノ實驗ニ憑レバ該寄生體ハ原發的ニ  
生殖器ノ粘膜及眼結膜ヲ侵シ繼發的ニ諸關節、内部生殖

(V) 化膿球菌病 (*Pyococcosis*)

此名稱ハ總テ化膿ヲ起ス所ノ分裂菌ニ由テ發スル諸般ノ  
疾患ヲ總括スル者ニシテ葡萄狀膿球菌並ニ連鎖狀膿球菌

菌其他二三ノ細菌(膿膿桿菌)等之ニ屬ス此他尙化膿ヲ起  
サシムル分裂菌有ルヤ疑ヲ容レズ

化膿球菌病

丹毒

茲ニ算入ス可キ疾患ハ先ツ局部的ノ疾患ニシテ皮膚下蜂窩織炎性疾患、膿瘍、癰腫等是ナリ其他原因上丹毒、急性骨髓炎、諸種ノ膿胸、膿膜炎、產褥熱、心内膜炎、膿膜炎、關節炎等皆之ニ屬ス而シテ本症ニ於テハ原發菌ヨリ血中ニ病毒ヲ傳播スルルハ轉移性化膿ヲ來スル者ニ所謂膿毒症ヲ發ス其各疾患ハ(第四)ニ於テ之ヲ述ベ爰ニハ丹毒(Krysipis)ニ就テ其概略ヲ掲グ可シ

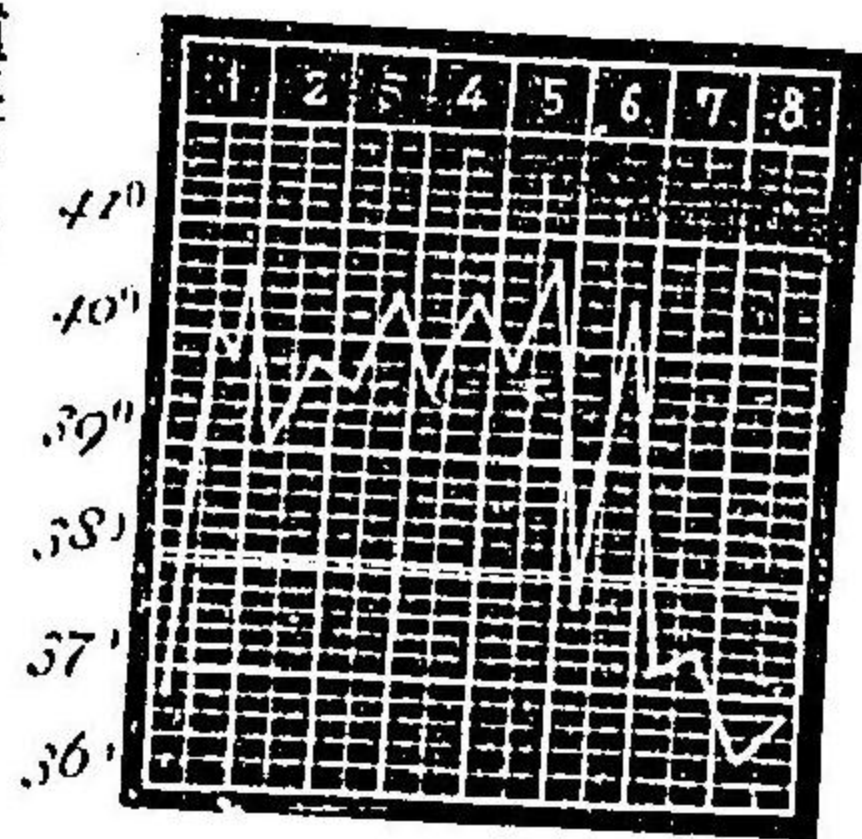
- (一) 體溫ハ惡寒ヲ以テ速カニ四十度乃至四十一度ニ昇騰シ同時ニ皮膚疹ヲ發ス而シテ其蔓延止マザル間ハ熱稽留スレド皮膚疹ノ發生歇止スルルハ通常第四日乃至第七日ニシテ體溫分利シ或ハ罕ニ漸分利ヲ以テ下降ス(第五百三十四圖)然レハ時トシテ其全經過久シキニ互リ其間ニ數回ノ發作ヲ以テスル者有リ斯ノ如キ症ニ在テハ熱不整ニシテ間歇地發シ數週日ニ港ルコト有リ(遊走性丹毒)潜伏期ハ一日乃至五日ニシテ發疹ハ平等ノ赤色斑ヲ

(一六) 破傷風 (Tetanus)

- (一) 發作ノ際ハちゝのーゼナ呈ス
- (二) 體溫多ク昇騰シ死後ニ至ルモ尙上昇スルコト有リ

- (三) 發作ノ際ハ橫膈膜痙攣ノ爲メ呼吸困難ヲ起ス
- (四) 脈搏頻數ニシテ發熱シ且不正ナリ
- (五) 熱尿有リ
- (六) 屢ハ頭痛有リ又間ニ意識變調ス

丹毒ノ熱型



巴腺ハ間ニ腫脹ナ呈ス  
(三) 心臟及脈ノ變常ハ熱ニ伴テ異ナリ  
(四) 通常白血球增多症ヲ見ル  
(五) 熱尿有リ  
(六) 屢ハ頭痛有リ又間ニ意識變調ス

破傷風

放線狀菌病

- (五) 身體ノ筋肉中ニハ發作前劇痛ヲ發ス
- (六) 身體ノ諸筋ハ殆ド皆發作狀ニ強直性痙攣ヲ發シ反

(一七) 放線狀菌病 (Actinomycosis)

本病ノ發病素タルおくちのみちます、は、う、の、す、ハ、諸所ニ化膿ヲ起サシムル者ニシテ診定スルニハ肉眼的及顯微

射輿菌性ハ著シク亢進ス  
(七) 意識ハ發作中トイヘモ潤滑セシ  
鏡的檢査ニ由テ此寄生物ヲ證明スルヲ要ス是レ爾他ノ症候ハ類症鑑別上其要少ナケレバナリ

寄生物性タル  
確實ナルモ  
其寄生物ハ尙  
明瞭ナラザル  
傳染病

痘瘡及假痘

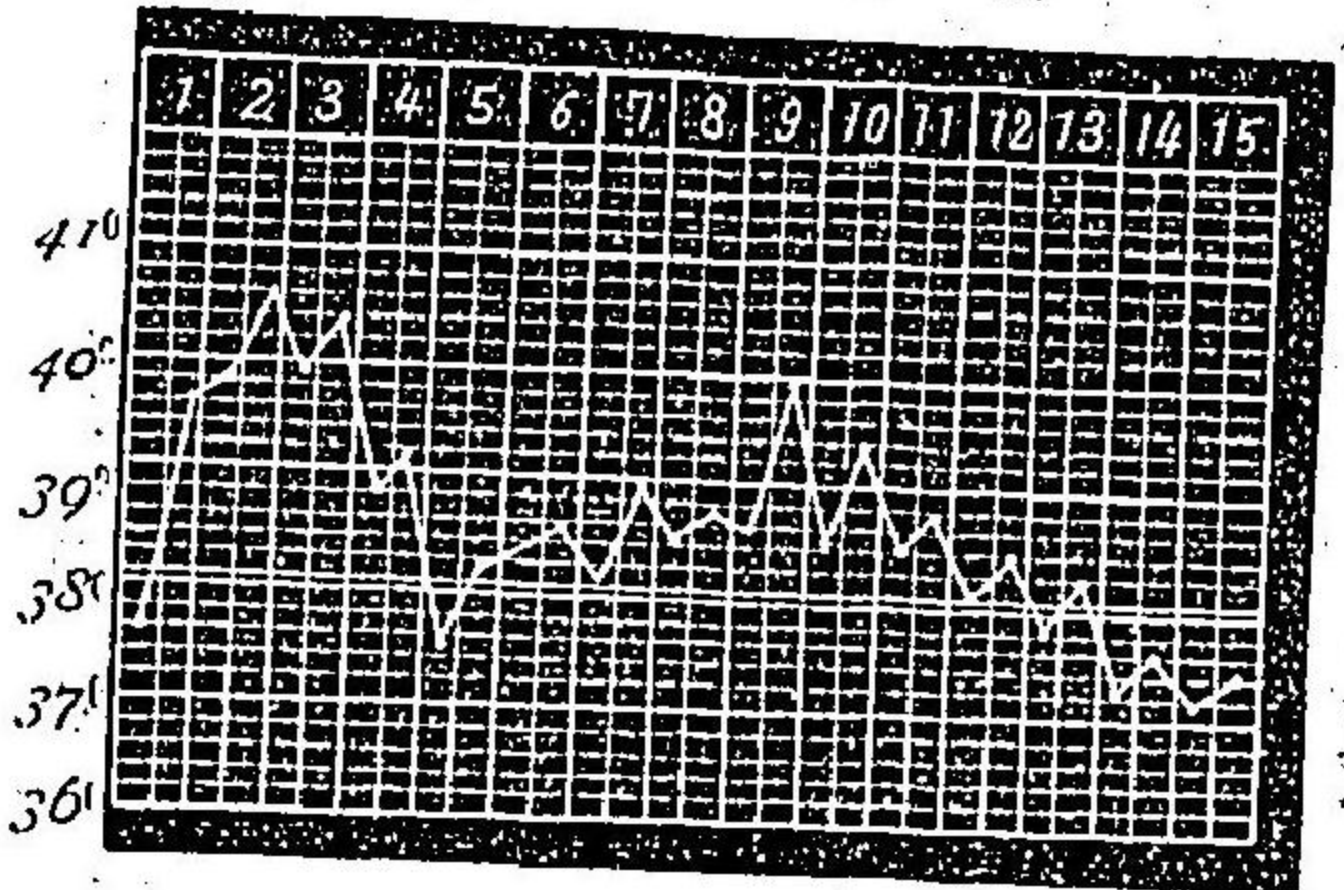
- (二) 痘瘡ハ惡寒戰慄ヲ以テ體溫驟カニ四十度乃至四十一度五分ニ昇騰スルヲ以テ始マリ假痘ハ三十九度五分乃至四十度五分ニ昇騰スルヲ以テ始マリ第三乃至第五日ニ至リ發疹ヲ來シ之ト同時ニ體溫ハ速カニ平等或ハ間歇シテ平溫ニ下降ス(第五百三十五及第五百三十六圖)

(乙) 寄生物性タルト確實ナルモ其寄生物ハ尙明瞭ナラザル傳染病

(一八) 痘瘡及假痘 (Variola n. Variolosis)

日ノ後體溫復々上昇シ腫脹ト共ニ三乃至八日間ハ弛緩性ノ化膿熱ヲ呈ス(潜伏期ハ多クハ十二日トス發疹ハ始メ赤色ノ丘疹ヨリ成ルモ速カニ水疱疹ニ變ジ次テ其内容膿狀ト爲リ以テ豌豆大ノ膿疱疹ヲ作ル又其重症ノ者ニ在テハ溢血ヲ來スコト有リ而シテ膿疱疹ハ多クハ痂痕(痘痕)ヲ胎シテ治ス  
(三) 發熱ノ際ハ爲メ呼吸困難ヲ來ス

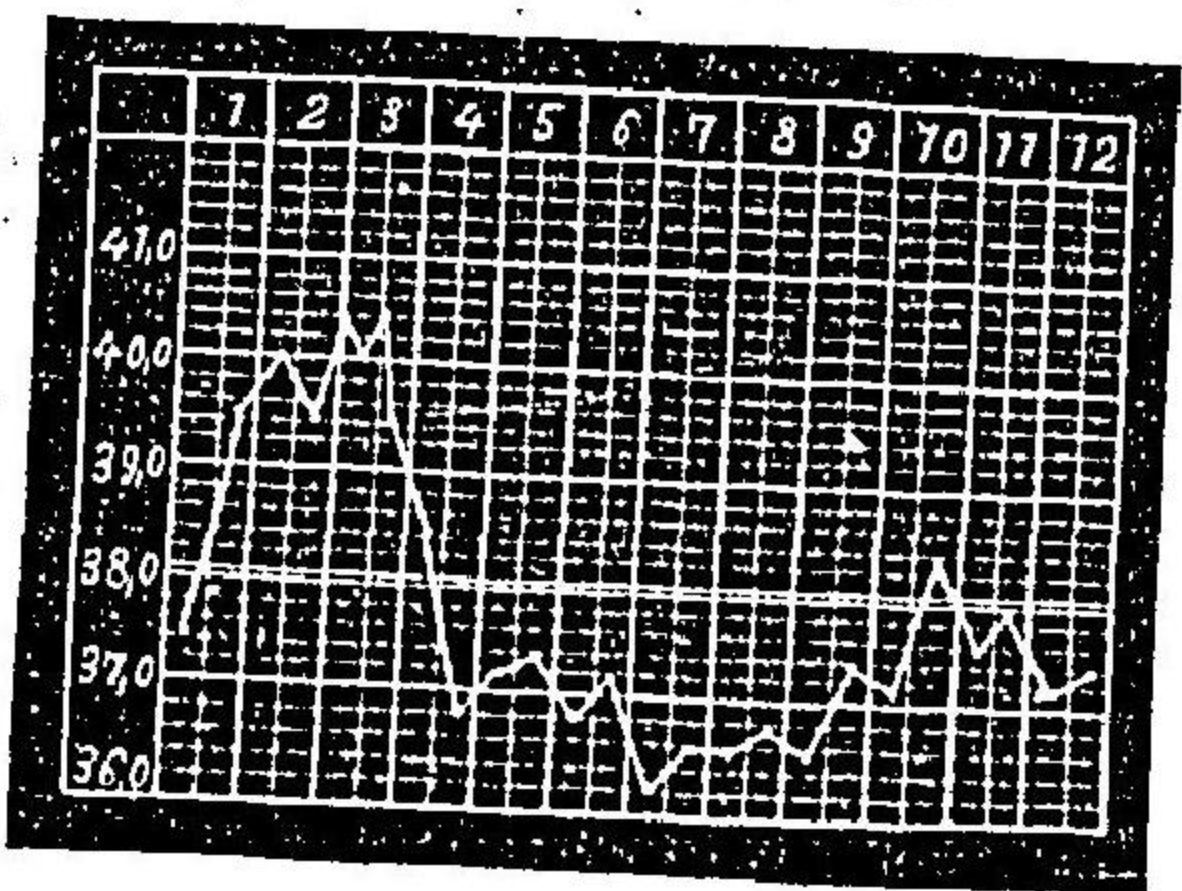
圖五十三百五第  
型熱ノ痘痘



(一九) 水痘 (Varicella)

- (三) 心臟機能及脈搏ハ熱ニ伴ウテ變調ス(竊拏スノ條ヲ看ヨ)
- (四) 脾臟ハ腫大ス
- (五) 尿ハ熱尿ノ性

圖六十三百五第  
型熱ノ痘假



- 狀ヲ呈シ重症ニ於テハへもぐろびん鼠ニるいちん及ちるじんヲ含有スルコト有リ
- (六) 強劇ノ頭痛及脊背痛有リ
- (七) 神識ハ多ク障礙セラル

水痘 麻疹

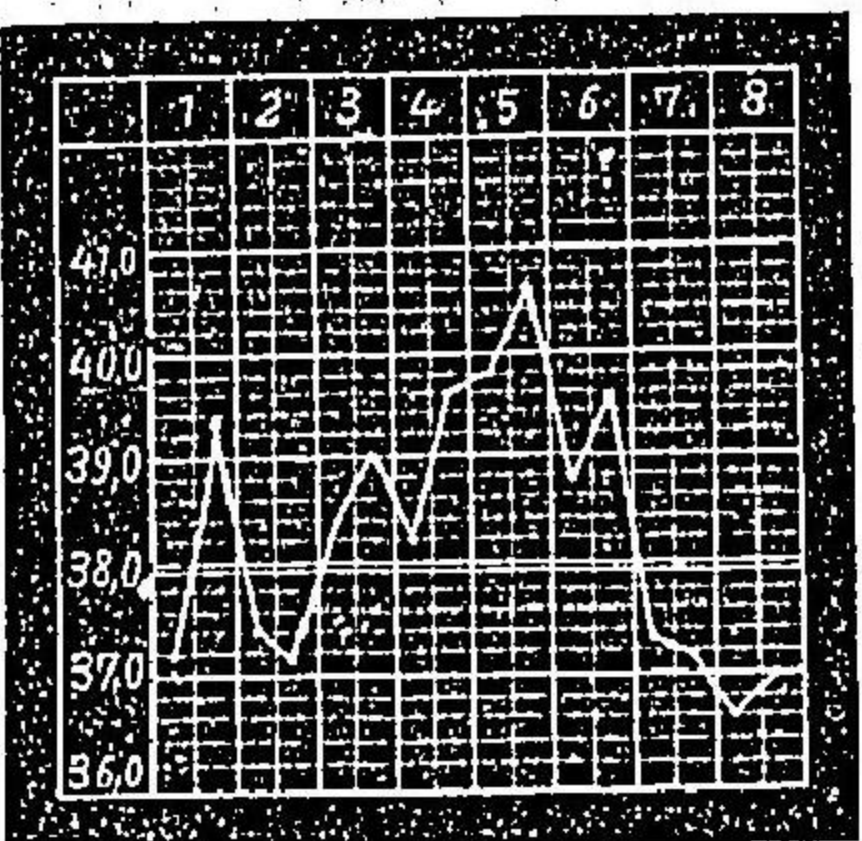
體温ハ多クハ速カニ三十九度乃至四十度ニ昇リ同時ニ發疹シ熱ハ數日間持續スルモ多クハ分利ヲ以テ平温ニ復ス

(二〇) 麻疹 (Morbilli)

(一) 體温ハ惡寒ヲ以テ稍速カニ三十九度乃至四十度ニ昇リ次日ニ至レバ再び殆ド平温ニ達ス次テ漸次昇騰シ且同時ニ皮疹ヲ顯ハシ熱ハ多クハ四十度以上ニ達ス既ニ發疹其極期ニ至ルモ大約七日間ニシテ熱下降

猩紅熱

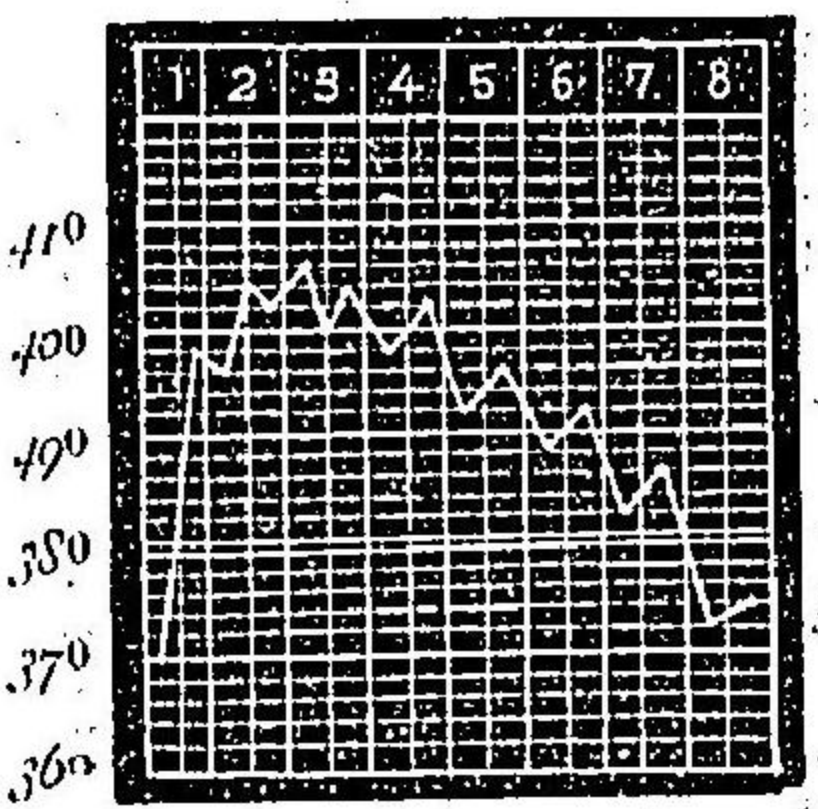
圖七十三百五第  
型熱ノ疹麻



(二一) 猩紅熱 (Scarlatina)

(一) 始ノ惡寒ヲ發シ又嘔吐ヲ起シ次テ體温驟カニ四十度以上ニ昇リ同時ニ皮疹ヲ發シ其極期ニ至ルマデハ體温四十度乃至四十一度ニ稽留シ第四日及第七日ヨリ體温漸散ヲ以テ下降シ其間三乃至七日間ヲ要ス故ニ發熱ノ持續ハ總テ七日乃至十

圖八十三百五第  
型熱ノ熱紅猩



四日トス(第五百三十八圖)潜伏期ハ一日乃至五日ニシテ發疹ハ帽針頭大ノ赤色斑ヨリ成リ速カニ融合シテ一面

傳染諸病

加答兒性雜音ヲ聽取ス

- (五) 痰ハ恰モ急性氣管枝炎ニ於ケル者ノ如シ
- (六) 心臟及脈搏ハ熱ニ伴リテ變調ス
- (七) 尿ハ熱尿ニシテ、ちあつを體ヲ含有ス
- (八) 嘔、頭痛ヲ伴ヒ又多少神識ニ變常有リ

ニ猩紅樣赤色ヲ呈ス(殊ニ最も多ク發サル、ハ頭、背及上腿ニシテ顔面ハ通常發サル、)無シ落屑ハ腕及脚ニ於テハ通常概狀ナルモ手足ニ於テハ多クハ膜片狀ヲ爲ス)

- (二) 頸淋巴腺ハ常ニ多少腫服ス
- (三) 呼吸數殆ド常ニ増加シ呼吸困難ヲ呈ス
- (四) 脈搏頻數ニシテ軟弱、心力減弱スルモハ嘔、不整トナル
- (五) 舌ハ著シク赤ク腫脹シ間、所謂覆盆子狀ヲ呈ス
- (六) 扁桃腺及口蓋ハ發赤腫脹シ前者ニハ壞疽ヲ起スコト有リ眞正ノ實扶的里性膜ハ罕ニ觀ル所ニシテ喉頭ハ發サル、)少ク又麻癩ヲ貽ス)無シ
- (七) 嘔、脾腫ヲ認ムルモ之ヲ觸ル、)少シ

風疹

(八)尿ハ「熱尿」ニシテ腎臟炎ヲ併發スルモハ之ニ特有ノ尿變化ヲ見ル(腎臟炎ヲ看ヨ)

(III) 風疹 (Rubellae).

熱候無ク之レ有ルモ三十九度以下ナリ(潜伏期ハ十日乃至二十日ニシテ發疹ハ區豆大ナル黯赤色ノ小斑點ヲ呈シ融

合スルヲ無ク落屑ヲ呈セズン治ス)

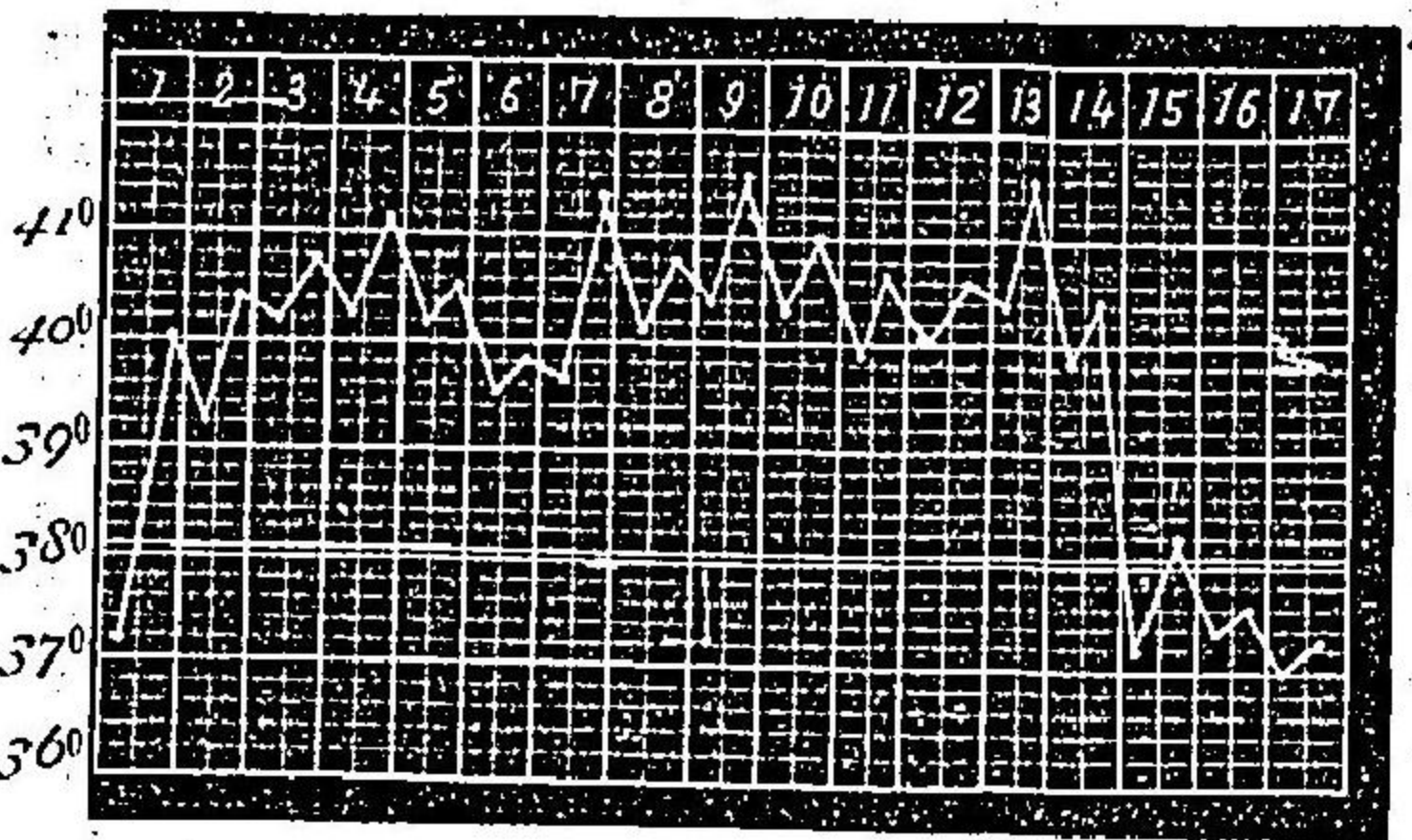
發疹室扶斯

(III) 發疹室扶斯 (Typhus exanthematicus).

(一)患者多クハ受働的背位ニ在リテ不安ノ狀ヲ呈スルヲ多シ

惡寒戰慄ヲ以テ速カニ四十度以上ニ達シ熾盛期ハ七日乃至十四日間持續シ常ニ甚ク高ク展、四十一度以上ニ昇騰ス第一週ノ終リニ至レバ展、一二日間體溫僅ニ弛

第五百三十九圖 發疹室扶斯ノ熱



(三)體溫ハ

ハ第五日ニ至リ身體各部ニ許多發生シ第二週ニ於テハ紫斑ニ變ズルヲ多シ

- (九)常ニ頭痛有リ又展、譫語ヲ發シ他ノ神識變當ヲ伴フ
- (一〇)惡寒戰慄ヲ以テ速カニ四十度以上ニ達シ熾盛期ハ七日乃至十四日間持續シ常ニ甚ク高ク展、四十一度以上ニ昇騰ス第一週ノ終リニ至レバ展、一二日間體溫僅ニ弛緩シ解熱ハ或ハ分利性ニ平等或ハ間歇シテ來リ或ハ漸分利ヲ呈ス(第五百三十九圖)(潜伏期ハ七日乃至二十一日ニシテ發疹ハ麻疹ニ類スルヲ多シ)
- (一)熱ニ由テ呼吸數增加ス
- (二)心音ハ始、強盛ナルモ後チ心力減衰スルモハ假性雜音ヲ呈シ減弱ス
- (三)脈ハ腸室扶斯ニ於ケルガ如シ
- (四)尿ハ「熱尿」ヲ呈ス
- (五)意識常ニ混濁シ展、譫語ヲ發ス

黃熱

(II) 黃熱 (Febris flavae).

本症ハ米國熱帶地方ノ海濱ニ於ケル固有ナル惡疫ニシテ間、他ノ地方ニ傳播スルヲ有ルモ本邦ニ於テハ未ダ曾テ之ヲ見ズ

(五)脈搏モ亦熱ニ伴テ亢進シ殊ニ黃褐色ヲ呈スル期ニ於テ甚シ

- (一)通常三四日ニシテ皮膚ニ黃色ヲ呈ス
- (二)展、發疹ヲ來スヲ有リ
- (三)體溫ハ惡寒戰慄ヲ以テ速カニ三十九度乃至四十度或ハ之ヨリ以上ニ昇騰シ二乃至三日ニ分利シテ平溫ニ復シ皮膚ニ黃色ヲ呈スルト共ニ復タ昇騰ス
- (四)心臟ハ熱ニ伴ヘル固有ノ狀況ヲ呈ス

- (六)肝臟ハ縮小スルヲ有リ脾臟ハ增大セズ
- (七)嘔吐有リ始、ハ單純ナルモ後ニハ黑色ニシテ血液ヲ含メル者ヲ吐出ス
- (八)大便モ後チニ血液ヲ含ム
- (九)尿ハ始、熱尿ヲ呈スルモ後期ニ至レバ暗色素ヲ含ミ又血液ヲ含ムヲ多シ

恐水病又狂犬毒

(II) 恐水病又狂犬毒 (Lyssa).

液體ヲ嚥下シ深呼吸ヲ營ミ或ハ只液體ヲ目暗シ或ハ只液體ヲ飲ムヲ想像スルモ忽チ破傷風狀ノ痙攣發作ヲ來ス

症ニシテ其痙攣ハ殊ニ呼吸筋ニ來ルヲ多キモ亦他ノ諸筋ニ發スルヲ有リ

疫咳

(II) 疫咳 (Typhus convulsiva).

- (一)發作ノ際皮膚チあの一ゼヲ呈ス
- (二)皮膚氣腫ヲ來スヲ有レモ通常罕ナリ

- (三)肺上ニハ展、加答兒性症狀ヲ認ム
- (四)咳嗽ハ一種特異ノ發作ヲ呈シ喀痰ハ單ニ加答兒性ナ



流行性耳下腺炎

(一) 體溫ハ通常速カニ三十九度乃至四十度ニ達スルモ直ニ三十八度乃至三十九度ニ降り大凡第七日ニノ平温ニ復ス(潜伏期ハ大約十八日間トス)

(二七) 流行性耳下腺炎 (Parotitis epidemica)

(五) 咳嗽發作ノ終リニハ嘔吐アリ  
(三) 脈搏増進ス  
(三) 耳下腺部腫脹シ、腫痛アリ緊張ス  
(四) 尿ハ熱尿ニ又腹背有頓チ含右ス

寄生物性タル  
トハ未ダ證明  
セラレザルモ  
恐ク之ニ基因  
スル諸病  
急性僂麻質  
斯性多發關  
節炎

(丙) 寄生物性タルトハ未ダ證明セラレザルモ恐ク之ニ基因スル諸病

(二八) 急性僂麻質斯性多發關節炎 (Polyarthritus rheumatica acuta)

(一) 屢、汗疹ヲ發ス  
(二) 皮膚ハ通常濕潤ス  
(三) 體溫ハ多クハ徐クニ二三日ニ三十九度乃至四十度ニ達シ爾後ノ經過ハ關節疾患ノ狀況如何ニ由テ異ナリ  
二三ノ關節新チニ侵サル、キハ體溫更ニ昇騰ス故ニ其

經過ハ不整ナルモ其下降ハ通常弛張性ニ熱ノ持続ハ數日ヨリ四週乃至數週日間ニ在リ  
(四) 合併症トシテ肋膜炎ヲ見ルコト有リ  
(五) 最多ノ合併症ハ心臟内膜炎及心臟外膜炎トス  
(六) 尿ハ熱尿ニ又腹背有頓チ含右ス

(二九) 脚氣 (Kakke) — ベリ — ベリ (Beri-Beri)

エ、ヘルツ氏ハ之ヲ三種ニ區別セリ即チ乾性萎縮性症、濕性萎縮性症及急性濕性症是ナリ就中最多ナルハ乾性萎縮性症ニシテ急性症ハ最モ罕ニ觀ル所ナリ故ニ茲ニハ主トシテ前症ニ就テ述ブベシ

(一) 皮膚ハ乾燥枯槁シ皺裂ヲ呈スルモ瘡疔ヲ發スルハ甚ダ罕ナリ但シ濕性症ニ於テハ皮膚(殊ニ下腿)ニ浮腫ヲ起シ顔面モ亦蒼白ニシテ浮腫様腫脹ヲ呈ス

(二) 熱ハ他ノ合併症ヲ存セザルモハ之ヲ缺ク  
(三) 心悸常ニ亢進シ經久ノ症ニ於テハ左室稍、肥大シ心音ハ純清ナルモ屢、又收縮期的雜音ヲ聽キ第二肺動脈音強盛スルコト多シ

(四) 脈頻數ニシテ實ナルモ固ナラズ大ナル動脈ニ於テ收縮期的音ヲ聽クコト有リ  
(五) 食欲ハ多ク不振ニシテ胃部壓重ノ感アリ且便秘スルコト多シ

(六) 肝脾兩臟ニハ毫モ症狀ヲ呈セズ  
(七) 尿量減少シ時ニ輕微ノ蛋白尿ヲ見ルコト有リ又尿中ニハ屢、いんぢかんヲ證明ス。濕性症ニ於テハ尿量著シク減少シテ屢、三百瓦ニ至ルモ其治癒ニ向フヤ尿利頗ル多量ナリ

(八) 最モ著明ナル症候ハ下肢ノ重感、倦怠、ニノト同時及ハ相前後シテ下腿前面及外面ノ皮膚ニ麻痺ヲ感シ之ヲ觸ル、ニ恰モ皮膚面ニ薄紙ヲ貼シ其上ヨリ觸ル、ガ如キ感アリ此知覺異常ハ開、足背ニ始マリ漸次上方ニ蔓延シ腹部ニ達スルコト有レモ胸背部ノ侵サル、コトハ殆ンド之レ無シ。上肢ニ於テハ知覺異常ハ只指頭、二限局スルモ又稍、上方ニ蔓延スルコト有リ此際又口圍、ニ知覺異常ヲ來スコト少カラズ

(九) 脚ノ粗大力量減少シ腓腸筋(殊ニ内腹)ニ壓痛アリ間、内轉筋ニモ壓痛アルコト有リ上肢ニ於テハ長週後筋ニ壓痛アルチ特異トス但シ二頭筋及三角筋ニモ亦疼痛ヲ起スコト有リ

(一〇) 歩行ハ困難且不安ト爲リ患者足尖ヲ舉ゲテ踏歩スルコト能ハズ  
(一一) 經久ノ症ニ至レバ四肢殊ニ下肢諸筋ノ萎縮ヲ來シ畢羅薩電氣反應減少若クハ消失シ瓦爾華尼電氣検査上多少著シキ變性反應ヲ呈ス又重症ノ者ニ在テハ肋間筋、橫隔膜及喉頭筋ノ麻痺ヲ來スコト有リ

(一二) 意識ニ毫モ障礙無ク安靜時ニ於テハ全身狀態亦不良ナラズ

近時ノ檢索ニ憑レバ氣管枝肺炎、諸種ノ氣管枝炎、安魏那、急性脊髓前角炎、出血性紫斑病等ノ諸病モ亦一種ノ

寄生物ニ基因スルコト蓋シ疑ナ容レザル所ナリ

### 第二 侵襲諸病

麻拉里亞

(一) 麻拉里亞 (Malaria)

本病ハ諸種ノ症狀ニ由リ各種ノ類別有レモ茲ニハ其主要ナル二症ヲ舉ケ可シ即チ急性間歇熱發作及麻拉里亞惡液

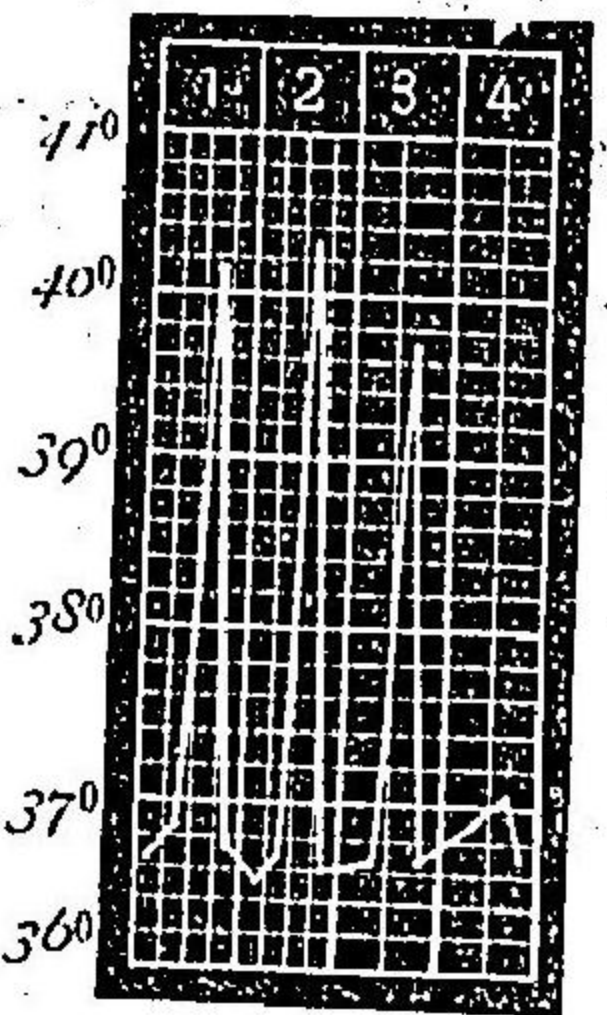
質是ナリ

間歇熱

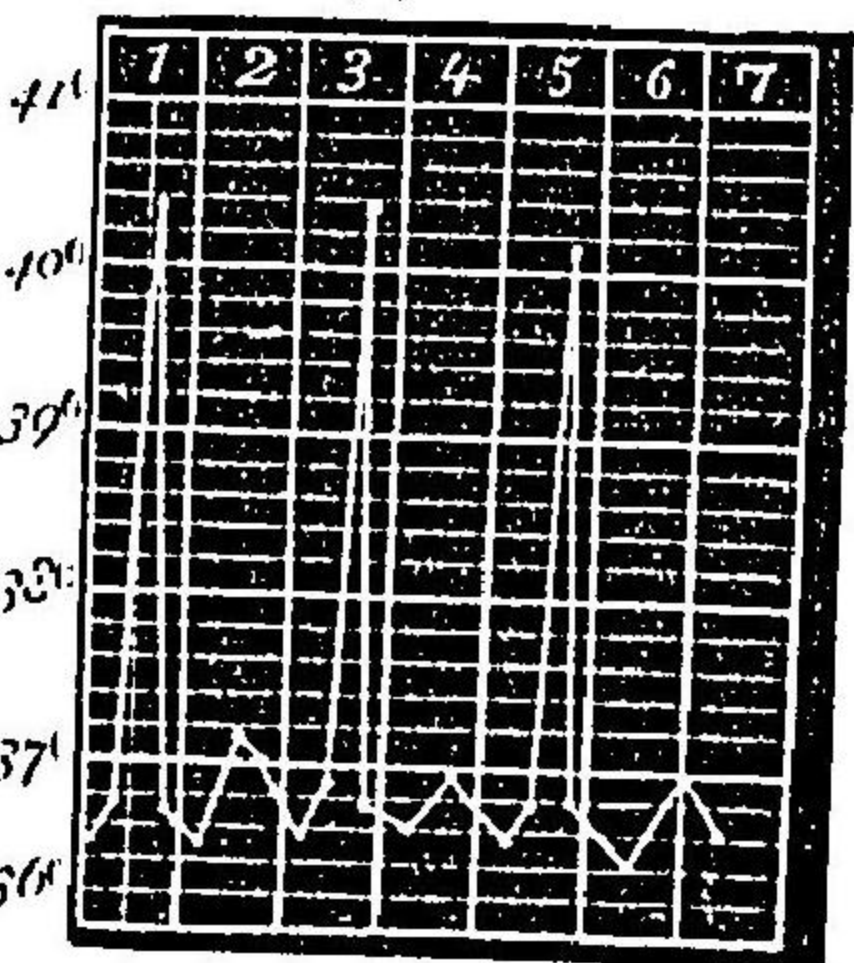
(1) 間歇熱 (Febris intermittens)

(二) 熱(第五百四十乃至第五百四十二圖)ハ一定時期ヲ以テ反覆發來スル所謂熱發作ヨリ成リ各發作ハ八乃至十

圖一十四百五第 熱 歇 間 發 日



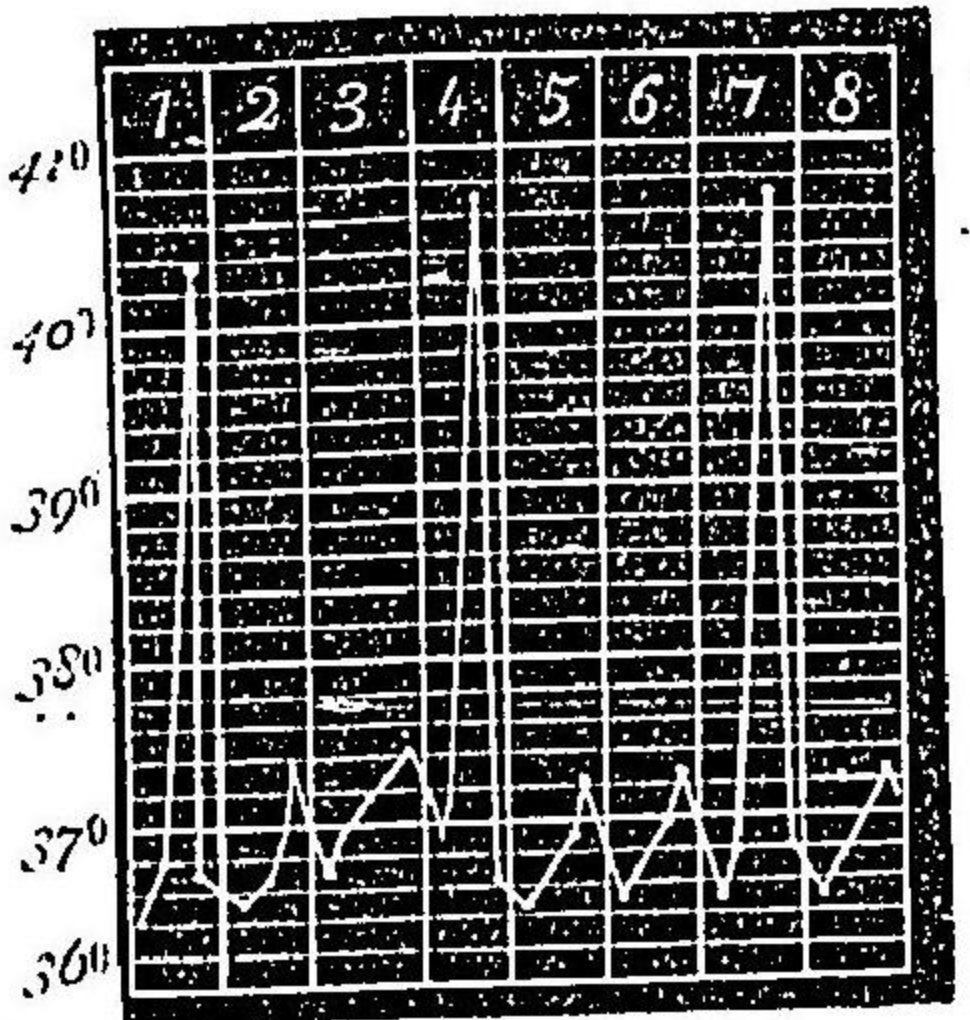
圖一十四百五第 熱 歇 間 日 三



四時間持續シ體溫ハ一二時間ニノ驟カニ四十度乃至四十度五分ニ昇騰シ此際惡寒戰慄ヲ伴ヒ皮膚厥冷シ蒼白

間ニ來リ(三日熱)或ハ每七十二時間ニ來ル(四日熱)否ニノ罕ニハ時間ヲ違ヘテ發作スルコト有リ又數發作ノ併發スルコト有リ

圖二十四百五第 熱 歇 間 日 四



色ヲ呈スレトモ暫時ニシテ皮膚乾燥シテ灼感アリ次テ發汗ヲ以テ速カニ分利シ體溫平温以下ニ至ル而シテ斯ノ如キ發作ハ每二十四時間ニ來リ(毎日熱)或ハ每四十八時

(二) 麻拉里亞惡液質 (Malarial cachexia)

(一) 脾ハ發作ノ際増大シ打診ニ由テ之ヲ認ム可シト雖モ發作ノ後ニ至レバ再ビ縮小ス然レモ疾患持續スルヤハ其増大永久ニシテ觸診ニ由テ容易ニ認メ得可シ

麻拉里亞惡液質

- (一) 皮膚蒼白色ニシテ、輕度ノ黃色ヲ帶ア
- (二) 熱ヲ發スルコト有リ或ハ之ヲ缺クコト有リ
- (三) 心臟ニハ貧血性雜音ヲ徵ス血管ニ於テモ亦然リ
- (四) 血液中ニハ色素遊離シ或ハ白血球中ニ含有セラレ其

- 他處ニ、*ぶらすちらむ*ヲ認ムルモ前症ニ於ケル者トハ異ナル者ノ如シ
- (五) 嘔吐及下利ヲ來スコト有リ
- (六) 肝脾兩臟ハ共ニ多クハ著シク肥大シ且腹水ヲ來スコト

侵襲諸病

旋毛蟲病

(一) 旋毛蟲病 (Trichinosis)

- (一) 熱ハ殆下常ニ存シ高度ナルモ定型性ノ經過ヲ有セズ
- (二) 皮膚殊ニ面部(眼瞼)ニ浮腫ヲ來ス
- (三) 通常横隔膜ノ疾患ニ由テ呼吸困難ヲ來ス
- (四) 脈ハ熱ノ爲ニ變調ヲ受ケ
- (五) 初期ニハ屢、嘔吐及下利有リ大便中ニハ腸旋毛蟲ヲ

(七) 屢、腎臟炎ヲ發シ或ハ腎臟ノ澱粉樣變性ヲ來ス

檢出スルコト有レモ通常之ヲ發見スルコト罕ナリ

(六) 筋肉殊ニ腓腸筋、上腓筋又咀嚼筋ハ之ヲ壓迫シ或ハ伸展ヲ試ムルニ疼痛有リ而シテ此部ヲ切除シ筋肉中ヲ檢スルニ旋毛蟲ヲ見ル

(七) 意識ハ多クハ潤潤セザルモ重症ニ於テハ變調ス

(三) 腸内蟲病 (Helminthiasis)

本病ハ腸内ノ寄生蟲ニ由テ發スル疾病ニシテ其種類ニ由リ

稍、其症狀ヲ異ニス

(1) 條蟲類 (Cestodes)

(一) 往々嘔吐、下利、痛痛其他貧血狀態ヲ存シ大便中ニハ條蟲ノ節片ヲ見ルコト有リ

(二) 小兒ニ在テハ腸内蟲ノ爲ニ屢、痙攣ヲ起スコト有リ

(2) 蛔蟲 (Ascaris lumbricoides)

(一) 屢、胃腸ノ症狀ヲ呈ス

(三) 蛔蟲ハ自然ニ肛門ヨリ出テ或ハ大便ト共ニ排出セラ

ル、コト有レモ罕ニハ吐出セラル、コト有リ而シテ大便中ニハ常ニ其卵ヲ見ル

蟻蟲

(八) 蟻蟲 (Oxyuris vermicularis)

- (一) 時々肛門内ニ強刺ノ癢癢ヲ起サシム
- (二) 該蟲ハ多數自然ニ排下スルコト有リ或ハ隣接部(陰門、

包皮)ニ進入スルコト有リ或ハ大便ト共ニ排出セラル、コト有リ而シテ便中ニハ常ニ蟲卵ヲ見ル

(三) 十二指腸蟲病 (Ankylostomiasis)

- (一) 皮膚蒼白色ヲ呈シ又高度ノ貧血症狀ヲ呈ス
- (二) 浮腫ヲ來スコト有リ
- (三) 心臓及靜脈ニ貧血性雜質ヲ聽ク
- (四) 胃腸ノ症狀ヲ呈ス食慾ハ多クハ振ヒ濁有リ大便ハ或

ハ糞結シ或ハ下利ス間、之ニ血液ヲ混ズルコト有リ體檢スルニ只蟲卵ヲ見ルノミニ同時ニ糞蟲卵ヲ存スルコト多シ

(四) 動物寄生性皮膚病 (Dermatozoosis)

本病ハ皮膚ノ上部或ハ其内部ニ存スル動物性寄生生物ニ由テ生ズル皮膚ノ疾患ヲ總稱スル者ニシテ例之、疥癬ノ如キ

是ナリ

(五) えびつをのーせん (Ephisoosen)

本病ハ只時々皮膚ヲ襲フモ皮膚上ニ生活ヲ營マザル動物性寄生生物ニ由テ生ズル者ヲ謂フ例之、諸種ノ虱、蚤等ノ

如シ

えびつをのーせん

動物寄生性皮膚病

十二指腸蟲病

### 第三 中毒諸病

凡中毒症ハ或ハ外部ヨリ體內ニ送ラル、所ノ毒物ニ由テ發シ或ハ病理的關係ニ因リ體內ニ生ズル毒物ニ由テ發スル者ニシテ前者ニ在テハ又二様ノ別有リ即チ一ハ一時ニ身體ヲ傷害スルニ足ル可キ多量ノ毒物ヲ體內ニ送ル者ニシテ急性中毒症ト稱シ一ハ身體ヲ傷害スルニ足ラザル

少量ノ毒物チ久シク體內ニ送り爲ノニ體組織ニ病的症狀ヲ發スルニ至ル者ニシテ慢性中毒症ト稱ス  
茲ニハ只吾人ノ最モ屢、日擊スルトコロノ中毒症ヲ概説ス可シ

#### 急性酸化炭素中毒

##### (一) 急性酸化炭素中毒 (Acute Kohlenoxyintoxication)

- (一) 皮膚ハ始メ赤色ヲ呈スルモ後ニハ藍色ヲ呈ス
- (二) 體溫ハ常溫以下ト爲ル
- (三) 屢、呼吸困難ノ狀ヲ呈ス
- (四) 脈頻數ト爲リ始メ充實スルモ後チ小ナリ

- (五) 血液ハ櫻實紅色ヲ呈ス
- (六) 血液中ニ酸化炭素ヘムグロビンヲ存ス
- (七) 尿ハ屢、蛋白ヲ含有シ且常ニ糖分ヲ含有ス
- (八) 意識障礙アリ又諸種ノ痲症ヲ呈ス

#### 急性磷中毒

##### (二) 急性磷中毒 (Acute Phosphorintoxication)

- (一) 二三日ヲ經テ黃疸ヲ發シ後間、皮膚内ニ出血ス
- (二) 心音ハ著シク減弱ス
- (三) 脈ハ頻數ニシテ小ナリ

- (四) 汗濁音部増大シ肝臟ヲ壓スルニ知覺過敏ナリ
- (五) 嘔吐有リ最初ニ吐出シタル者ハ暗所ニ於テ光輝ヲ放テ凡吐出シタル者ハ血液ヲ含有ス

#### 鹽酸及鹼汁ノ急性中毒

- (六) 血便ヲ下スコト有リ
- (七) 尿量減少ス
- (八) 尿中ニ蛋白其他膽色素ヲ含有シ罕ニハるいん及チ

- (九) 尿中ニ脂變セル上皮及圓球ヲ見ルコト有リ

##### (三) 鹽酸及鹼汁ノ急性中毒 (Acute Intoxication mit Metallsäuren und Laugen)

- (一) 若シ是等ノ者ニシテ喉頭ニ達シタルキハ高度ノ呼吸困難ヲ呈ス
- (二) 脈頻數、小ニシテ不整ナリ
- (三) 口腔粘膜ハ多少腐蝕セラレ
- (四) 食道粘膜モ亦多クハ腐蝕セラレ幸ニシテ死チ免カル、モ食道殊ニ通常噴門上部ニ狹窄ヲ來シ爲ノニ食道全ク

- 痲塞セラレ、コト有リ
- (五) 腹痛有リ幸ニシテ痊愈スルモ治後胃殊ニ幽門ニ變化(狹窄)ヲ起シ或ハ後ニ至リ擴張ヲ發ス
- (六) 酸性若クハ強鹼附加里性反應ヲ呈スルモノヲ吐出シ其中ニ褐色ヲ呈スル漿液及上皮片ヲ含有ス
- (七) 尿中ニ蛋白及血液ヲ含有ス

##### (四) 鹽酸加里中毒 (Intoxication mit Kali chloricum)

- (一) 皮膚ニ屢、藍色ヲ呈ス
- (二) 血液ハ褐色、シメツトローで褐色ニシテ似タリ

- (三) 分光鏡検査上めとへもぐろびんヲ證明シ得可シ
- (四) 尿ハめとへもぐろびん及蛋白ヲ含有ス

#### 慢性鉛中毒

##### (五) 慢性鉛中毒 (Saturnismus chronicus)

- (一) 皮膚灰白色ニ變色ス

- (二) 常ニ熱ヲ缺如ス

慢性水銀中毒

慢性亞爾爾保兒中毒

- (三) 身體羸瘦ス
- (四) 脈緩徐ニシテ著シク緊張シ爲メ逆衝隆起ヲ減シ彈力性隆起ヲ増ス
- (五) 齒齦ニハ鉛線ヲ存ス
- (六) 發作性ニ痛痛有リ此際下腹著シク陷没スルコト多シ
- (七) 横行結腸部ヲ按摩スルニ疼痛甚シ
- (八) 甚ク頑固ノ便秘有リ
- (九) 尿ハ尿、尿白チ有ス(腎臟炎ヲ兼メル際)
- (六) 慢性水銀中毒 (Mercurialismus chronicus).
- (一) 皮膚灰白色ヲ呈シ諸種ノ皮膚炎(水銀濕疹)ヲ發ス
- (二) 口内炎ヲ起シ間、潰瘍ヲ生ス
- (三) 流涎有リ
- (四) 下利有リ時トシ血便ヲ下ス
- (七) 慢性亞爾爾保兒中毒 (Alcoholismus chronicus).
- (一) 慢性喉頭炎ヲ發スルコト多シ
- (二) 心臟ハ間、擴張ス(脂肪變性ニ因ル)
- (三) 血管ハ尿、あてゐるコト慢性變化ヲ來ス
- (四) 多クハ慢性咽頭炎ヲ見ル
- (五) 肝臟ハ或ハ肥大シ(脂肪肝或ハ硬變ス)
- (六) 慢性腎臟炎ヲ來スコト有リ
- (五) 尿ハ一定ノ變化ヲ呈セズ
- (六) 神經痛ヲ來シ又知覺變常ヲ來スコト有リ
- (七) 身體諸筋ニ多少變延スル震惕ヲ見ル
- (五) 筋骨其他關節ニ發作性疼痛有リ(關節神經痛)又皮膚ニ知覺不仁ヲ來スコト有レトモナリ
- (一) 間、一時黒内障ヲ來スコト有リ
- (二) 前脚ノ伸筋ニ麻痺ヲ來シ間、他筋ニ及ブコト有リ此際完全或ハ不全變性反應ヲ呈シ震惕有リ又癱瘓ノ全身痙攣ヲ發ス
- (三) 麻痺筋及又前脚他筋ニ變質性萎縮ヲ起スコト有リ
- (四) 意識障礙(譫語或ハ昏睡)ヲ來スコト有リ

慢性ニコチン中毒

慢性莫爾比涅中毒

尿毒症

- (七) 弱視(中心點)ヲ認ムルコト有リ
- (八) 慢性ニコチン中毒 (Chronische Nicotineresigung).
- (一) 心尖搏跳ハ非常ニ強盛スルコト有リ
- (二) 脈搏ハ多クハ不整ニシテ悸動發作ヲ來スコト有リ
- (三) 弱視有リ
- (九) 慢性莫爾比涅中毒 (Alopathismus chronicus).
- (一) 皮膚蒼白色ヲ呈ス
- (二) 食思缺亡シ且便秘ス
- (三) 尿ハ還元性性質ヲ有スルモ眞ニ糖分ヲ含有スルハ罕ナリ
- (四) 尿、淫慾ヲ失フ
- (一〇) 尿毒症 (Uraemia).
- (一) 熱發スルコト有リ
- (二) 呼吸困難有リ(尿毒症喘息)間、シャイン、ストッフス氏呼吸現象ヲ呈ス
- (三) 脈ハ始、緩徐ナルモ後疾速ト爲ル
- (四) 尿、震惕ヲ存シ又所謂酒客譫妄ノ發作有リ
- (五) 尿、震惕ヲ存ス
- (六) 精神變調ヲ見ル
- (七) 輕度ノ震惕ヲ存シ又間、共同機障有リ
- (八) 諸般ノ精神の疾患ヲ見ル
- (五) 諸般ノ神經領域内ニ尿、痛覺ヲ來ス
- (六) 瞳孔著シク縮小ス
- (七) 輕度ノ震惕ヲ存シ又間、共同機障有リ
- (八) 諸般ノ精神の疾患ヲ見ル
- (四) 通常惡心及嘔吐アリ吐物ハ間、暗黒尼亞臭アリ之ニ尿素ヲ含有ス
- (五) 尿量ハ常ニ減少シテ時ニ無尿ト爲リ比重減少シ常ニ蛋白ヲ含有シ尿素ノ含量著シク減少ス

糖尿病性昏睡

- (六) 知覺變常ヲ來シ又頭痛ヲ訴フ
- (七) 黒内障ヲ來ス可ナリ
- (八) 筋ニ痙攣ヲ起シ全身ニ痙攣ヲ發スルニ至ル又或ル症

ニ於テハ局所麻痺、半身麻痺、失語症等ヲ見ル可ナリ  
 (九) 意識障礙ハ輕度ノ昏睡ヨリ高度ノ昏睡ニ至リ又度、精神ノ變調ヲ見ル可ナリ

(一) 糖尿病性昏睡 (*Coma diabeticum*). 糖尿病

- (一) 體溫尋常以下ナルト多シ
- (二) 呼吸ハ深ク且速クニシテ呼吸ハ屢、あせとん、如キ臭氣ヲ放ツ可ナリ
- (三) 脈頻數ニシテ小且軟ナリ
- (四) 尿ハ糖、あせとん及あせと醋酸ヲ含有ス
- (五) 意識瀕瀕シテトノ煩躁シ昏睡ニ陥ル可ナリ

### 第四 器質諸病

(甲) 呼吸器系諸病

呼吸器系諸病

(一) 急性鼻炎 (*Rhinitis acuta*).

- (一) 鼻粘膜著シク赤腫シ多少分泌物ヲ以テ蔽ハル
- (二) 分泌物ハ始ノ稀少ニシテ粘液狀ナルモ後ニハ多量ニシ

テ粘液狀乃至粘液膿狀ヲ呈シ粘液、上皮及白血球ヨリ成ル

(二) 慢性鼻炎 (*Rhinitis chronica*).

慢性鼻炎

鼻結核症

- (一) 鼻粘膜ハ或ハ著シク赤腫シ或ハ稍、蒼白色、ニシテ萎縮ス此變化ハ殊ニ下甲介ニ於テ最モ顯著ナリ
- (二) 分泌物ハ常に存在シ粘液狀乃至膿狀ニシテ屢、乾涸シ

テ結痂ヲ作ル、臭鼻ニ於テハ分泌物ハ甚ク膿ヲ可キ臭氣ヲ放ツ

(三) 鼻結核症 (*Tuberculose der Nase*).

參照スベシ喉頭病ニ就テハ茲ニハ只其最多ノ症ヲ掲ゲルノミ

急性喉頭炎

- (一) 潰瘍有リテ半ハ鼻ヲ破潰スルニ至ル
- (二) 分泌物中ニハ結核桿菌ヲ檢出ス可シ

(四) 急性喉頭炎 (*Laryngitis acuta*).

(一) 喉、嘶嘎及咳嗽アリ略痰ハ始ノ稀少ニシテ粘液狀ナルモ後ニハ多量ニシテ粘液膿狀ヲ呈ス

慢性喉頭炎

- (一) 粘膜ハ著シク赤腫シ多少粘液ヲ以テ蔽ハル其他喉頭筋ノ麻痺ヲ見ル可ナリ

(五) 慢性喉頭炎 (*Laryngitis chronica*).

有リ  
 (一) 粘膜ハ赤色或ハ蒼白色ヲ呈シ且腫脹シ粘液ハ多クハ許多ニシテ屢、喉頭筋ノ麻痺ヲ見ル  
 (二) 聲音屢、嘶嘎シ咳嗽ヲ存スル可ナリ或ハ之ヲ缺ク

喉頭結核症

(六) 喉頭結核症 (*Tuberculose des Kehlkopfes*).

喉頭狹窄

- (一) 加答兒性變化ノ他ニ多クハ潰瘍有リテ聲帶及會厭軟骨ヲ著シク破潰スルコト有リ
- (二) 患者通常坐位ヲ占メ跪坐呼吸ノ状態ニ在リ
- (三) 皮膚多クハちあのーゼヲ呈ス
- (四) 呼吸ノ際喉頭ハ強ク下方ニ壓抵セラレ、喉頭浮腫ニ在テハ其入口著シク腫起シ格魯布性喉頭炎ニ在テハ義膜ヲ存シ腫瘍若クハ異物ニ在テハ喉頭鏡ヲ以テ之ヲ檢出ス可シ

(七) 喉頭狹窄 (Stenose des Kehlkopfes).

- (一) 呼吸ノ際狹窄音ヲ發シ又格魯布及腫瘍ニ在テハ聲音及咳嗽共ニ無響ト爲ル
- (二) 主トシテ吸氣的呼吸困難ヲ呈シ此際胸廓下部及上腹部ハ多少ノ吸氣的陷没ヲ呈ス
- (三) 胸震頭ハ通常左右共ニ減弱ス
- (四) 往々奇脈ヲ認ムルコト有リ

氣管狹窄

- (一) 患者ハ多ク坐位ヲ占ム(跪坐呼吸)
- (二) 皮膚藍色ヲ呈スルコト有リ
- (三) 喉頭ハ吸氣ノ際僅ニ下降スルノミ
- (四) 狹窄ノ原因氣管壁ニ在ルカ(腫瘍、膿瘍、瘰癧)或ハ管内ニ在ルカ(腫瘍、異物)喉頭鏡檢査ニ由テ之ヲ知ル可ク又其狹窄外來ノ壓迫、甲狀腺腫、腫瘍ニ由ルカハ亦

(八) 氣管狹窄 (Stenose der Trachea).

- (一) 此檢査竝ニ外部ノ視診及觸診ニ由テ之ヲ知ル可シ
- (二) 主トシテ吸氣的呼吸困難ヲ呈シ吸氣ノ際左右ノ胸廓下部及上腹部共ニ多少陷没ス
- (三) 胸震頭ハ左右共ニ減弱ス
- (四) 往々奇脈ヲ認ムルコト有リ

急性氣管枝炎

(九) 急性氣管枝炎 (Bronchitis acuta).

- (一) 痰、殊ニ小兒ニ在テハ高熱ヲ呈スレモ定型ヲ有セズ
- (二) 痰、殊ニ又小兒ニ於テハ呼吸困難ヲ呈シ主トシテ吸氣ノ際ニ多シトス
- (三) 乾性氣管枝炎ニ於テハ氣管枝震頭ヲ觸知ス可シ
- (四) 又乾性加答兒症ニ於テハ多クハ弱キ肺胞呼吸音、銳利或ハ粗糲ト爲リ時トノハ亦斷續シ呼吸ハ腹、延長ス
- (五) 侵サレタル氣管枝ノ大小ニ由リ始メハ常ニ類肺音或ハ吹笛音ヲ發シ後ニ乾濕兩性ノ大小水泡音ヲ發ス

(一〇) 慢性氣管枝炎 (Bronchitis chronica).

- (一) 通常熱ヲ缺ク
- (二) 氣管枝多量ノ粘液ヲ充スルハ胸震頭減少スルコト有リ
- (三) 乾性氣管枝炎ニ在テハ氣管枝震頭ヲ觸ル、コトヲ得可シ
- (四) 乾性加答兒症ニ在テハ肺胞呼吸音銳利或ハ粗糲ト爲リ呼吸延長ス
- (五) 加答兒症ノ廣狹ニ由テ乾濕種々ノ非共鳴性水泡音ヲ聽ク
- (六) 痰量ハ一定セザルモ多クハ饒多ニシテ氣管枝膿漏ニ於

(一一) 偏側氣管枝狹窄 (Stenose eines Bronchus).

偏側氣管枝狹窄

器質諸病

- (一) 痰ハ始メ稀少、硝子様、白色、稀薄液狀等ニシテ、二三ノ血線ヲ存スルモ後ニ多量ニシテ膿狀、帶黃色ノ濃厚液ト爲ル纖維素性氣管枝加答兒ニ於テハ氣管枝凝固物ヲ存ス鏡檢スルニ始メハ有形成分ヲ認ムルコト甚々少ク少許ノ赤白兩血球、間、少許ノ肺胞上皮ヲ認ムルノミナレバ粘液ハ多シ後ニ至レバ赤血球ヲ見ルコト少ナケレバ白血球許多ニシテ肺胞上皮ヲ存ス然レモ彈力纖維及病原的微生物ヲ缺如ス

テハ甚々多量ナリ而シテ痰ハ通常粘液膿狀ニシテ黃色ヲ帶ブルモ膿漏性氣管枝炎ニ於テハ純膿樣ニシテ綠色ヲ呈ス又腐敗性氣管枝炎ニ在テハ惡臭ヲ放チ纖維素性氣管枝炎ニ於テハ纖維性凝固物ヲ存ス。鏡檢スルニ粘液、許多ノ痰、脂變セル白血球半、脂變セル許多ノ肺胞上皮、積敗物、脂肪、ケルリノ滴又罕ニハシヤルコロ氏結晶ヲ見ル腐敗性氣管枝炎ニ在テハ脂肪結晶竝ニ許多ノれぶト、リキナリ見ルモ彈力纖維及肺組織片ヲ缺如ス

氣管枝喘息

- (一) 偏胸廓ノ吸氣的陷沒ヲ見ル
- (二) 胸震頭ハ患側上ニハ減殺セラレ
- (三) 全ク閉塞セラレ、其ハ患側ノ肺上ニ鼓音ヲ呈ス

(II) 氣管枝喘息 (Asthma bronchialis)

- (一) 發作ノ際通常ちやのーゼヲ呈ス
- (二) 呼吸的呼吸困難ヲ主トス
- (三) 狭窄音ヲ呈シ、毛細氣管枝炎ヲ發ス

肺氣腫

(III) 肺氣腫 (Emphysem der Lungen)

- (一) 皮膚及目睛シ得可キ粘膜ニちあのーゼヲ呈ス
- (二) 體血性水腫ヲ來スコト有リ
- (三) 胸廓ハ四方ニ開大シ上腹角ハ尋常ヨリ大ナリ主トシ呼吸的呼吸困難ヲ起シ呼吸ノ際胸廓動硬ナルトシ其兩側共ニ僅ニ開張シ往々鎖骨上高ニ吸氣的隆起ヲ生ズルヲ見ル
- 呼吸壓ハ多少減弱ス
- (四) 胸廓ハ多少弾力性ヲ失ヒ多クハ動硬ニシ胸震頭減殺セラレ
- (五) 打診音ハ或ハ甚ダ低且剛ナルカ或ハ鼓性陪音ヲ呈ス

- (四) 他側ノ肺上ニ於テハ肺胞吸氣音銳利ト爲ルモ患側上ニ於テハ呼吸音減弱シ或ハ全ク消失ス
- (五) 患側上ニ於テハ聲音ヲ聽クコト弱シ

(四) 發作ノ後ハ粘液狀或ハ粘液膿狀ノ痰ヲ咯出シ其中ニ赤白兩血球、積敗物、肺胞上皮、みどりん、クルシユマン氏ノ螺旋狀體及シヤルコー氏結晶ヲ含有ス

- 肺境界ハ上下ニ廣延スルヲ以テ肝、心、脾及腎濁音部ノ上界ニハ滑音ヲ發ス
- (六) 肺胞呼吸音ハ、微弱ト爲ル殊ニ後下方ニ於テ然リトス或ハ不定呼吸音ヲ聽クコト有リ呼吸音ハ通常延長ス。加答兒性雜音ヲ聽クハ加答兒症ヲ兼テタルニ因ル聲音モ亦微弱ナリ
- (七) 痰ノ状態ハ加答兒症ニ由テ異ナリ
- (八) 心尖搏跳ハ下方ニ向ヒ且廣、廣延シ(左室肥大ニ於テ)或ハ微弱ニシテ全ク消失スルニ至ル
- (九) 心濁音部ハ程度ノ症ニ在テハ下方ニ轉スレハ多クハ

氣管枝變廣症

- 狹縮シ或ハ缺如スルヲ以テ通常右心ノ肥大ハ認知シ難シ
- (一) 心音ハ、減弱スルモ第二肺動脈音ハ強盛スルコト多シ
- (二) 心窩搏動ヲ見ルコト、之レ有リ
- (三) 皮膚靜脈ハ多クハ努張シ靜脈搏動ヲ呈ス

(I) 氣管枝變廣症 (Bronchiectasis)

- (一) 空洞ヲ存スルハ通常下葉ニ在リ其表面部ニ近接シ過小ナラズ空虚ナルカ或ハ半、充サレ、其ハ鼓音ヲ發シ空洞大ナルハ、間、ウ非ントリツヒ氏打響變換、罕ニハゲルハ、ルドル氏打響變換ヲ呈ス罕ニハ亦續響音或ハ錢貨音ヲ聽ク然レモ空洞若シ充實スルハ、多少濁音ヲ發ス此變換ハ氣管枝變廣性空洞ニ於テハ肺癆性ノ者(本症ニハ罕ナリ)ヨリ遙カニ多ク見ル所ナリ
- (二) 空洞表面部ニ近接スルハ其上ニ氣管枝呼吸音或ハ鼓

(II) 加答兒性氣管枝肺炎 (Katarhale Broncho-Pneumonie)

- (一) 熱ハ常ニ存スルモ定型ヲ有セズ又其持續一定ナラズ
- (二) 浸潤部廣大ナルハ始ノ通常鼓音ヲ發シ又輕濁音ヲ

- (三) 肝下緣ハ下降スルヲ以テ之ヲ指觸スルコト有リ
- (四) 肝濁音部ハ或ハ下方ニ轉位シ或ハ狹小ト爲ル然レモ比較的濁音部ハ之ト其趣ナ異ニス
- (五) 脾濁音部ハ狹小ト爲リ下方ニ轉位ス
- (六) 體血ヲ存スルハ、血尿ヲ見ル

子呼吸音ヲ聽キ且此際大小諸種ノ水泡音ヲ聽ク。往々空洞上ニ於テ氣管枝聲、罕ニハ震盪音ヲ聽クコト有リ

(三) 痰ハ通常甚ダ多量ニシテ、發作ヲ以テ咯出セラル其性状膿狀或ハ粘液膿狀ニシテ黃色ヲ帶アルモ惡臭ヲ放ツ

「無シ若シ空洞壁ニ膿渣ヲ起スハ所謂三層痰ヲ形成シ許多ノ白血球、肺胞上皮其他許多ノ積敗物、みどりん、脂肪球及脂肪酸結晶、許多ノ微生體ヲ含有ス

發スレバ後ニハ濁音強ク且僅ニ鼓音ヲ帶アルコト多シ

(三) 呼吸音ハ不定乃至氣管枝性ニシ浸潤部及其周圍ニ於

加答兒性氣管枝肺炎



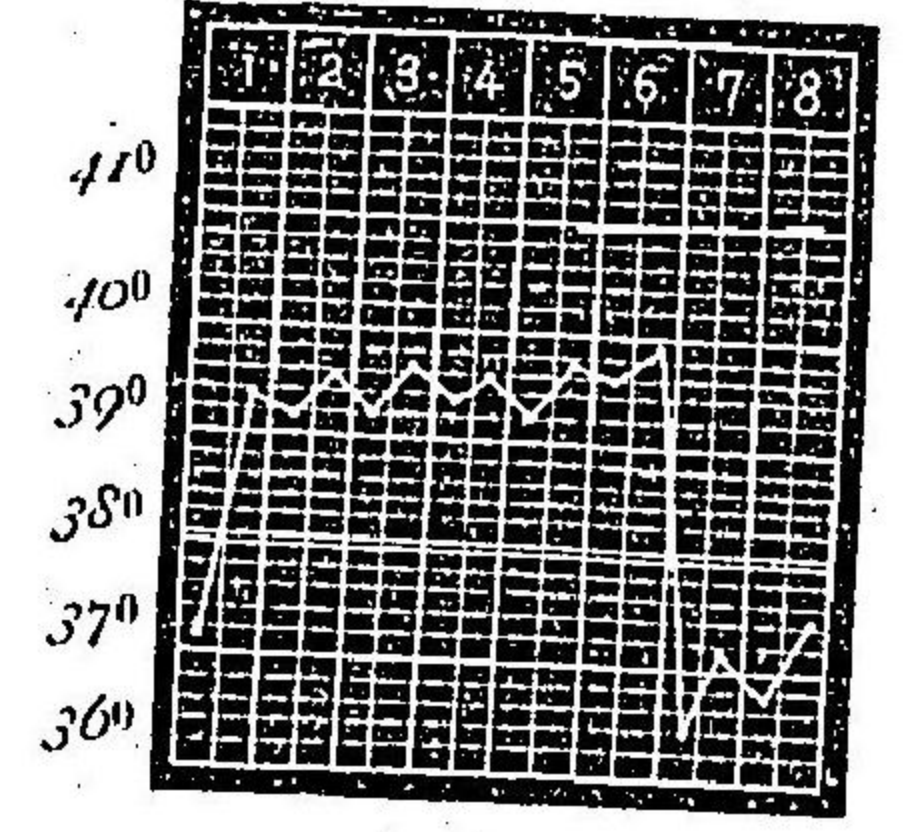
急性纖維素性肺炎

テ大小諸種ノ水泡音ヲ聽ク  
(四)痰量ハ一定セズ通常粘液膿性ニシテ赤血球、許

(一六) 急性纖維素性肺炎 (Acute fibrinöse Pneumonia)

- (一) 患者多クハ患側ヲ下向シテ臥スモ罕ニハ坐位ヲ取ル
- (二) 皮膚ハ多少ラハのーゼチ呈ス
- (三) 脈、口、唇、行疹
- (四) 發熱ノ
- (五) 乾燥スレ
- (六) 解熱ノ
- (七) 際ハ著シ

第五百四十三圖 肺炎ノ熱

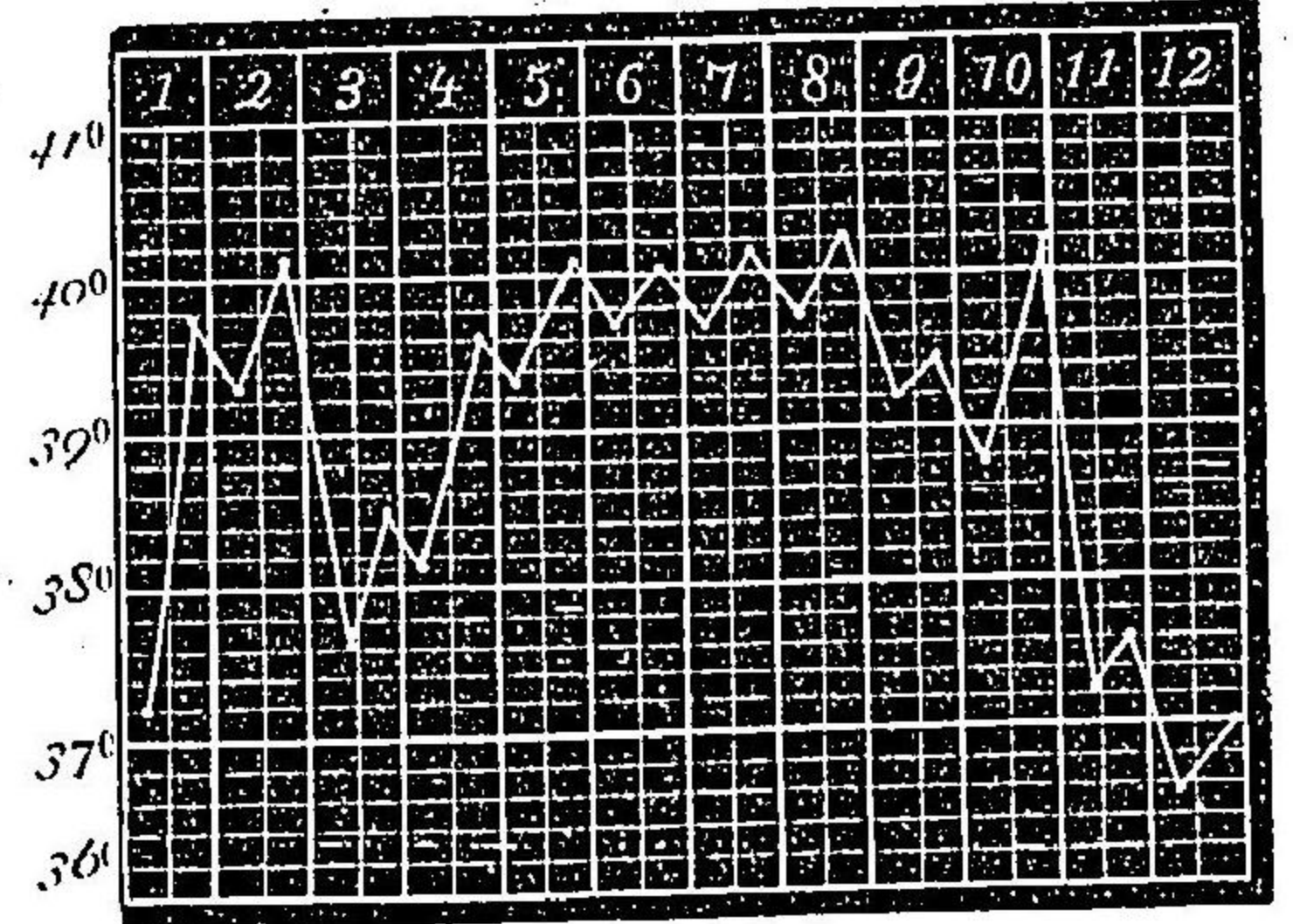


カ發汗ス  
(五) 體温ハ惡寒戰慄ヲ以テ速カニ四十度或ハ其以上ニ達シ三日乃至十一日間、平均七日間稽留熱ヲ呈シ次テ分利ヲ以テ平温或ハ其以下ニ降り或ハ三乃至五日ヲ經テ漸々下降ス(漸分利)(第五百四十三及第五百四十四圖)

多ノ白血球、肺胞上皮其他不明ノ分裂菌ヲ含有ス

- (六) 殆ンド常ニ呼吸困難ヲ呈ス
- (七) 肺活氣量及吸氣壓減少ス
- (八) 患部ヲ壓迫スルニ脈、疼痛アリ觸診ヲ行フニ抵抗增加セズ氣管ニ異常無キモハ聲音震盪強盛ス
- (九) 打診音ハ第一期ニ於テハ鼓音ニシテ通常僅カニ濁音ヲ帶アルモ第二期ニ於テハ多少濁音ヲ發シ脈、亦鼓音ヲ示ス者トス次テ第三期ニ於テハ打診音再ビ鼓音ニシテ濁音ヲ發ス時トシハ罕ニ鐘音ヲ聽クコト有リ又浸潤部ノ周圍ニ於テハ打診音極ノテ剛且低ニシテ非鼓音ヲ發スルモ又鼓音性音ヲ發スル者アリ又罕ニハワウケントリツヒ氏ノ打撃變換ヲ認ムルコト有リ以上葉ノ侵サレ、者ニ在テハワウケルリム氏ノ氣管音ヲ聽クコト有リ
- (一〇) 侵サレタル肺葉ノ未ダ浸潤ヲ受ケザル部ニ於テハ肺胞呼吸音銳利ニシテ浸潤部ニ於テハ第一及第三期ニハ呼吸音肺胞性ニシテ微弱ト爲リ或ハ不定ナレモ第二期ニ於

第五百四十四圖 肺炎ノ熱



テハ呼吸兩氣共ニ氣管枝音ニシテ甚々罕ニ終子呼吸音ヲ帶フ然レハ氣管枝音シ纖維性物質ヲ以テ閉塞セラル、此ハ多ク呼吸音ヲ絶ツコト有リ  
第一及第三期ニ於テハ常ニ許多ノ捻痰性水泡音ヲ發スレ  
此第二期ニ於テハ該音微弱或ハ稀小ト爲リ又脈、之ヲ缺如スルコト有リ又氣管閉塞スルハ浸潤部上ニ於テ氣管枝音ヲ聽クコト有リ

器質諸病

- (一) 咯痰ハ多クハ少量ニシテ單ニ加答兒性ノ狀ヲ呈シ或ハ稀薄ニシテ粘稠ナルコト有リ或ハ始メヨリ少量ニシテ稀薄、恰モ肉液汁ノ如キコト有リ然レモ後ニハ脈、多量ニシテ粘、黃色ヲ帶アル者トス。鏡檢スルニ始メハ赤血球ヲ含有スルモ後ニハ許多ノ白血球其他肺胞上皮、ホスリン、又脈、最小ノ氣管枝凝固物、罕ニハクルシユマン氏ノ螺旋狀體ヲ見ル
- (二) 痰中ニハ殆ンド常ニ肺炎複球菌ヲ見ル
- (三) 心音ハ始メ強盛スルモ心力減衰スルハ微弱ト爲リ假性收縮期的雜音ヲ發スルコト有リ
- (四) 脈、搏動數ナルモ分利後ハ脈、緩徐ト爲リ軟ニシテ脈、重複シ心力減衰スルハ不整ト爲ル
- (五) 白血球增多症ヲ來ス
- (六) 口唇及舌乾燥シ脈、乾潤セル被膜ヲ生ズ
- (七) 左肺下葉ノ疾患ニ於テハトラウベ氏ノ半月狀部狹縮スルコト無キモ右肺中葉ノ肺葉ニ在テハ肝濁音部外觀的ニ上方ニ増大シ左肺下葉ノ疾患ニ在テハ脾濁音部ノ外觀的ニ亦上方ニ増大ス
- (八) 尿ハ一般ノ熱性尿ナルモ格魯兒奈葛爾膜ノ量ハ著シク減少シ殆ンド全ク之ヲ見ザルニ至ルモノ脈、じあつ

慢性間質性肺炎

を反應する

(二) 癢、意識障礙等存シ時々譫語ヲ發スルコト有リ又酒客

ニ在テハ酒客譫妄ヲ發スルコト有リ

(一七) 慢性間質性肺炎 (Chronic interstitial Pneumonia)

(一) 病機廣大ナルモ患部ノ胸廓殊ニ肺尖部陷没ス

(二) 患部上ニ於テハ打診音多少濁音ヲ發スルコト多キモ

間、亦鼓音ヲ發スルコト有リ者ノ肺音ノ領域ハ肺萎縮ニ

因テ狹少ト爲ル

肺上葉全ク無氣ト爲ルモ其上ニウヰルリヤム氏ノ氣

管音ヲ聽クコト有リ又萎縮ニ因テ氣管枝變廣ヲ起スモハ

空洞ノ症候ヲ呈スルコト有リ

(三) 呼吸音ハ甚々其性状ヲ異ニス

(四) 痰量一定セズ其性状ハ多クハ粘液膿狀ニシテ鏡檢スル

ニ在テハ酒客譫妄ヲ發スルコト有リ

ニ膿球粘液、積敗物、脂肪、肺胞上皮、結晶、許多ノ腐敗

桿菌ヲ存セズ

(五) 心臓ハ萎縮側ニ向テ牽引セラレ又廣延スルコト有リ患

部若シ左肺上葉ニ在ルモハ左第二肋間ニ於テ搏動ヲ視

觸ス可シ

(六) 心濁音部ハ増大シ或ハ轉位ス

(七) 第二肋動脈音ハ屢、強盛ス

(八) 肝及脾ノ濁音部ハ稍、上方ニ轉移ス

肺結核症又肺癆

診斷上從來ノ區別ニ倣ヒ之ヲ三期ニ別ツ即チ肺尖加答兒

期、浸潤期及空洞形成期是ナリ

(一) 顔面或ハ蒼白色ヲ呈シ潮紅シ(消耗熱)等ニハちあの

一ゼチ呈ス

(一八) 肺結核症又肺癆 (Tuberculose oder Lungphthisis)

(一) 熱ヲ缺如スルハ罕ニ初期ニ於テモ之ヲ來シ其經過

ハ不整ニシ或ハ稽留熱ヲ呈シ或ハ弛張熱ヲ呈シ朝間、ハ

平温或ハ其以下ナルモ日哺潮熱シテ三十九度乃至四十

度或ハ其以上ニ至ルコト有リ(消耗熱)

(二) 時日ヲ經ルモハ漸次瘰癧ヲ加ヘ第三期ニ至レバ瘦削

其極ニ達ス

(三) 胸下葉ノ代償性氣腫ニ在テハ胸廓下部ハ尋常大ナル

モ其上部ハ疾患ノ廣狹及各期ニ由リ偏側或ハ兩側陷没

シ鎖骨上窩陷没シ上腹角縮小シ胸廓ハ其縱徑ヲ増セモ

前後徑ハ屢、著シク狹小ト爲リ胸前壁平坦ト爲ル

呼吸困難ハ殆ド常ニ多少存シ兩肺尖位ナル、モハ胸

廓上部ハ下部ニ比シテ開張スルコト少ナシ

(四) 肺活氣量及吸氣壓ハ減弱ス

(五) 浸潤部及空洞上ニハ聲音震顫強盛ス罕ニハ氣管枝震

頭ヲ觸ル、コト有リ

(六) 患部以外ニ於テハ打診スルニ鼓性階音ヲ呈スルコト

有リ

第一期(肺尖加答兒期)

打響尋常或ハ鼓性階音ヲ呈シ或ハ

患側肺尖ニ輕度ノ濁音ヲ呈ス

第二期(浸潤期)

結核性浸潤部上ニハ濁音ヲ呈シ

間、稀、鼓音ヲ帶フ此現象ハ殊ニ

上葉ニ於テ認ムル所ナリ是レ此部

ニ於テハ肺ノ上昇下降スルヲ以テ

ナリ

第三期(空洞形成期)

空洞上ノ打響ハ稀メテ則且低ニシ

且少鼓性階音ヲ帶フ空洞若シ分泌物

ヲ以テ充サレ、キハ患部ヲ發ス爾

餘ハ其甚ク小ナルニ非ザレバ鼓音

ヲ發シ空洞若シ巨大ナルモハウヰ

ントリツヒ氏ノ打響變換ヲ呈シ之

ナルハルド氏ノ打響變換ヲ呈シ之

ニ接近スル組織浸潤ヲ受クルモハ

打響ハ多少濁音ヲ呈ス其他大空洞

ハ續性餘響ヲ呈シ氣管閉通スルモ

ハ又錢貨音ヲ認ムルコト有リ

(二) 浸潤ヲ受ケザル部ニ代償性氣腫ヲ起スモハ肺胞呼吸・

音銳利ト爲ル

第一期  
偏側肺尖ノ吸氣音或ハ肺胞性ニシテ銳利ト爲リ或ハ微弱ト爲リ且ツ此際脈、斷續シ或ハ不定呼吸音ヲ呈ス  
呼吸管ハ延長シ肺尖ニ於テ乾性水泡音或ハ小中ノ水泡音ヲ聽ク

第二期  
呼吸音ハ氣管枝性ニ多少廣延セル共鳴性水泡音若クハ乾性水泡音ヲ聽キ又氣管枝聲ヲ聽クヲ有リ

第三期  
空洞上ノ呼吸音ハ或ハ氣管枝或ハ蝸子性ニシテ變性呼吸音ヲ聽クヲ有リ又空洞上ニハ大小種々ノ水泡音ヲ聽キ又多クハ氣管枝聲ヲ存シ胸話ヲ聽クヲ有リ

(一) 痰量一定セズ初期ニ於テハ稀少ナレハ後期ニ至リ殊ニ空洞ヲ生ズルハ痰、甚ダ多量ト爲ル性狀ハ多クハ粘液膿狀ニシテ膿、球狀或ハ錢狀ヲ呈シ許多ノ粘液、多數ノ白血球、肺胞上皮、積敗物、脂肪、みろりん、彈力纖維又展、これすてりん結晶及脂肪結晶並ニ結核桿菌其他許多ノ分裂菌ヲ含有ス  
咯血スルハ痰中ニ血液ヲ存シ(血痰)鮮赤色ヲ呈シ或ハ泡沫狀ヲ呈シ主トシ赤血球ヲ含有ス而シテ急性ノ出血止ミタル後モ尙暫時痰中ニ血液ヲ混シ細胞中ニへまといちんヲ包有スルヲ有リ  
(二) 肺萎縮ヲ起スルハ心跳ハ萎縮側ニ向テ牽引セラレ且廣延ス萎縮若シ左上葉ニ在ルハ左第二肋間ニ於テ搏動ヲ視觸ス可シ

(一) 以上ノ場合ニ於テハ心濁音部モ亦増大ス  
(二) 心音ハ或ハ強盛シ或ハ衰弱甚シキハ微弱ニシテ假性雜音ヲ呈ス、第二肋動脈音ハ強盛ス又心臟ニ近接シテ空洞ヲ存スルハ該音變性ト爲ルヲ有リ  
(三) 脈性ハ熱ニ關ス衰弱著シキハ脈多クハ小ニシテト爲リ且逆衝隆起減少ス  
(四) 熱有ルハ熱尿ヲ滴ス又間、尿中ニ百布頓粒ニシテつゝ體ヲ存スルヲ有リ  
(五) ビルケツト氏皮膚反應及ウオルフアイズチル氏眼反應陽性ナルヲ常トス(ビルケツト氏コッホ氏ハ舊ツベるくりん及五%石炭酸グリゼリン各一分ニ生理的食鹽水二分ヲ加ヘタル液一滴ヲ前腕ノ皮膚上ニ約六仙迷子隔テ、二ヶ所ニ滴下シタル後一種ノ針ヲ以テ先ツ各滴ノ

肺膿瘍

中間部ニ一個ノ穿刺創ヲ作リ以テ對照ノ用ニ供シ次テ各滴所在部ニ穿刺ヲ施スルハ結核症ノ者ニ在テハ四十八時間ノ後炎性症狀ヲ來ス之ヲ陽性反應ト稱シ但シ該反應ハ二乃至五歳ノ小兒ニ於テ診斷上價値アルモ之ヨリ年長ノ者及成人ニ在テハ確實ナル者ニ非ズ又ウオ

(一九) 肺膿瘍 (Abscess der Lunge)

- (一) 熱ハ常ニ存スルモ定型無シ
- (二) 患部深處ニ在ラザルハ其上部ニ濁音ヲ存シ間、鼓音ヲ呈ス外部ニ排出セララル、ハ肺空洞ニ於ケルガ如キ空洞症狀ヲ呈ス
- (三) 被開スルハ略痰通常多量ナルモ其他中量ニシテ膿狀ヲ呈シ殆ンド皆脂變セル白血球、肺胞上皮、彈力纖維

(二〇) 肺壞疽 (Gangrän der Lunge)

- (一) 熱ハ不正ニシテ定型無シ
- (二) 壞疽部外方ニ排出セララル、ハ時ニ患部上ニ空洞症狀ヲ呈スルヲ有リ
- (三) 痰量ハ痰、甚ダ多量ニシテ膿狀ヲ呈シ帶黃褐色ニシテ組織片ヲ有シ頗ル惡臭ヲ放チ多クハ皆三層ニ分ル、其下

器質諸病

三三

フアイズチル氏ハ稀釋セル舊ツベるくりんノ一滴ヲ眼ノ内管ニ滴下セリ結核性ノ者ニ在テハ八乃至二十四時間ノ後偏側ノ結膜炎ヲ發ス之ヲ同氏眼反應ノ陽性ト爲ス

維、へまといちん結晶、これすてりん結晶及脂肪結晶其他種々ノ分裂菌ヨリ成ル又時トシるちなチ見ルヲ有リ而シテ該痰ハ元來惡臭ヲ放チタズ放置スルハ有形成分沈降シテ二層ヲ形成ス

(四) 穿刺液ハ純膿ヨリ成リ顯微鏡的成分ハ痰ニ於ケルト同シ  
層ハ帶褐不透明ノ膿狀物ニシテ許多ノ膿球、積敗物上皮、赤血球、血色素、肺組織小片、許多ノ脂肪及みろりん滴其他へまといちん、結晶脂肪結晶並ニ磷酸鹽ニ亞麻飽濕矢亞許多ノ分裂菌ヲ有スルモ遊離ノ彈力纖維ヲ有セズ第二層ハ頗ル白色ノ稀薄液ニシテ鏡檢スルニ主トシテ

肺楔狀出血

液ヨリ成り最上層ハ泡沫ヨリ成リ帶黃綠色ニシト  
ろいこちにてんチ有ス

(四) 病機肋膜炎波及スルハ臍胸ヲ生シ其内容物色様ニ  
シ惡臭ヲ放ツ

(III) 肺楔狀出血 (Hämorrhagischer Infarkt)

- (一) 楔狀出血新鮮ナルハ通常鼓音ヲ發シ且僅ニ輕濁音  
ヲ帶アルコト多シト雖患部廣大ニシテ硬キハ通常濁音ヲ  
發シ僅ニ鼓音ヲ帶フ
- (二) 呼吸音ハ氣管枝音ニシテ小水泡音ヲ聽キ間、捻髮  
性ヲ帶アルコト有リ

(三) 咯痰ハ多クハ甚ク多量ナラズ單純ノ加答兒性ナルカ  
或ハ肺炎性或ハ黯赤色ヲ呈シ粘液狀ニシテ殆ンド赤血球  
ヲ有ス然レハ時日ヲ經ルルハ褐色ヲ帶ビ白血球、上皮  
竝ニ(まといぢんチ有ス

肺水腫

(III) 肺水腫 (Lungenödem)

- (一) 呼吸困難アリ
- (二) 痰、稍、濁音ヲ發スルコト甚ク多シ
- (三) 呼吸音ハ肺胞音ニシテ間、稍、微弱ト爲リ同時ニ兩肺  
ノ各所ニ於テ許多ノ小水泡音ヲ聽ク

(四) 痰量ハ往々甚ク多ク泡沫狀、漿液性ニシテ白色或ハ類  
褐色ヲ呈シ甚ク少許ノ有形成分(赤白兩血球、上皮)ヲ  
有シ多量ノ蛋白ヲ含有ス

肋膜炎

(III) 肋膜炎 (Pleuritis)

乾性肋膜炎

(I) 乾性肋膜炎 (Pleuritis sicc.)

診斷的徴候ニ由テ之ヲ乾性、滲出性及陳舊肋膜炎ノ三種

ニ區別シテ述ブ可シ

滲出性肋膜炎

(II) 滲出性肋膜炎 (Pleuritis exudativa)

- (一) 患者健側ヲ下ニシテ臥ス
- (二) 女子ニ在テハ往々腹式呼吸ヲ營ムコト有リ。通常呼吸  
困難アリ
- (三) 胸廓ノ患部ヲ壓スルニ屢、疼痛ヲ訴ヘ間、胸震頭ヲ  
觸ル可シ
- (四) 滲出液多量ナルハ患者殆ンド常ニ患側ヲ下向シテ  
臥スモ其初期及末期ニ於テハ健側ヲ下向シテ臥ス又滲  
出液俄然増多スルハ跪坐呼吸ヲ營ムヲ見ル
- (五) 皮膚多クハちあのいぜチ呈ス
- (六) 熱ヲ發セザルコト有リ之レ有ルモ定型ナラセズ
- (七) 患側ノ下部開張シ肋間平坦ト爲ルモ隆起スルコト無シ  
(呼吸困難アリ)滲出物多量ナルハ深呼吸ノ際患側ノ  
呼吸運動減少ス
- (八) 肺活氣量及吸氣壓ハ減少ス
- (九) 觸打法ヲ行フニ滲出液稍、多量ナルハ抵抗ノ感觸  
増加シ患部ノ聲音震頭減弱スルモ液體水平面上ニ於テ  
ハ増大ス
- (十) 患部ノ打響ハ部位ニ由リ半濁音乃至純濁音ヲ呈シ其

上界ハ後方ニ於テ最高ク前方ニ至ルニ從ヒ低キ者ニ  
シテ體位ニ由テ其界ヲ變ズルコト有リ而シテ滲出液ノ直上方  
ニ於テハ打響著シク且低ナルモ壓迫強キハ多少濁  
音ヲ呈シ間、鼓性階音ヲ帶フ又上葉全ク壓縮セラレ、  
ハハウケレリヤム氏ノ氣管音ヲ聽ク

(四) 患部ノ呼吸音(肺胞音)往々減弱シ且肋膜摩擦音ヲ聽  
ク

(五) 左上葉ノ前縁部ニ疾患アルハ肋膜心囊摩擦音ヲ聽  
クコト有リ

(六) 滲出液極、テ多量ナルハ健肺壓迫セラレテ其打響ハ  
胸骨部ニ達セズ又代償的ニ下方ニ向テ擴張ス

(七) 滲出物上ニ於テ肺胞呼吸音減弱シ又滲出液中量ナル  
ハハ間、不定呼吸音ヲ聽ク且増量スルハ呼吸音全ク  
消失シ間、其上方ニ於テ幽微ノ氣管枝呼吸音ヲ聽ク又  
滲出液ノ直上部ニ於テハ強キ氣管枝音ヲ聽クコト有リ  
處々殊ニ液體水平面ノ直上ニ於テ摩擦音ヲ聞クコトアリ  
聲音ヲ聽診スルニ減弱シ等ニハ山羊聲ヲ聽ク液體ノ上

陳舊肋膜炎

- 部ニハ氣管枝聲ヲ聽クコト有リ
- (八) 穿刺液ハ漿液性ナル有リ纖維素性ナル有リ (速ニ凝固ス) 膿性ナル有リ或ハ出血性ナル有リ比重ハ一五以上ニシテ蛋白ノ量ハ二・五%ヨリ多シ。鏡檢スルニ赤血球 (多クハ稀少ナルモ) 出血性ノ者ニハ多シ。白血球 (中量ナルモ) 膿胸ニハ多シ。脂肪及脂肪結晶、磷酸暗膜尼亞麻痺濕失亞、これ等アリ (經久ノ膿胸ニ於テ) 等ヲ見ル。細菌ニ就テハ肺炎球菌、結核桿菌或ハ膿球菌等ヲ存スルコト有リ然レモ、分裂菌ヲ缺如スルコト有リ
- (九) 心跳ハ左側ノ滲出液ニ在テハ右方ニ、右側ニ在テハ左方ニ轉移セラレ、脈弱キコト有リ
- (一〇) 心濁音部ノ關係モ亦之ニ同シ

(八) 陳舊肋膜炎 (Pleuritis inelastica)

- (一) 心音ハ微弱ト爲ルコト有リ又熱ノ爲ニ變ズルコト有リ
- (二) 脈性ハ熱ノ有無ニ關ス
- (三) 肝下縁ハ (右側ノ肋膜炎ニ於テ) 通常ヨリ低シ
- (四) 肝下縁ハ (左側ノ肋膜炎ニ於テ) 通常ヨリ低シ
- (五) 肝濁音部ハ外觀的上方ニ増大シ或ハ滲出液多量ナルモ、上下兩方ニ増大シ比較的濁音ハ消失ス (右側症ニ於テ)
- (六) 脾濁音部ハ外觀的上方ニ増大シ或ハ滲出液多量ナルモ、上下兩方ニ増大ス (左側症ニ於テ)
- (七) 滲出液ヲ生ズル際ハ格魯兒奈窩留滯ノ量減少シ膿胸ニ於テハ、百布頓チ有ス然レモ、滲出液減少スルモ、尿量増加シ食鹽ノ量增多ス
- (八) 肝臓ニ由テ肺臟固定セララル、呼吸音ハ微弱ナル肺胞音ヲ呈シ或ハ消失シ、壓縮セラレタル肺上ニハ氣管枝呼吸音ヲ聽クコト有リ
- (九) 萎縮スルモ、心跳其部ニ向テ牽引セラレ且、脈廣大ト爲ル左側ノ疾患ニ在テハ左第二肋間ニ於テ搏動ヲ視簡ス可シ

胸水

- (五) 心濁音部ハ増大シ或ハ轉位ス
- (六) 第二肺動脈音多クハ強盛ス

(四) 胸水 (Hydrothorax)

- (一) 胸廓下部ハ兩側共ニ稍、開張スルモ肋間ハ多クハ消失セズ通常呼吸困難アリ
- (二) 滲漏液上ニ於テハ胸震頭減弱スルモ其水平面上部ニ於テハ強盛ス
- (三) 滲漏液甚ク多量ナルモ、其上方ニ於テハ多少濁音ヲ呈シ且、鼓音ヲ發スルモ液上ニ於テハ半濁音乃至濁音ヲ發シ其上昇水平ニシテ體位ヲ變換スレバ速カニ之ヲ變換ス
- (四) 滲漏液上ニ於テハ肺胞音減弱乃至消失シ其上方ニ於テハ微カニ氣管枝音ヲ呈ス

(III) 氣胸 (Pneumothorax)

- (一) 患者通常健側ニ臥シ間、跪坐呼吸ヲ營ム
- (二) 皮膚ハ多クちあのいぜチ呈ス
- (三) 患側ハ開張シ肋間隆起シ呼吸困難有リ呼吸ノ際該側ノ運動停止シ或ハ減弱ス

- (七) 肝、脾濁音部ハ共ニ上方ニ轉移スルコト有リ

聲音減弱ス

- (一) 穿刺液ハ漿液性或ハ液性纖維素性ニシテ、比重ハ血性ヲ呈シ或ハ粘固セズ或ハ除カニ凝固ス比重ハ一〇一八以下ニシテ蛋白質ノ量ハ四%以下ナリ顯微鏡檢査ナ行フニ稀少ノ白血球及其質ニハ肋膜内皮ナリ
- (二) 肝脾濁音部ハ外觀的上方ニ増大スルモ通常下方ニ轉移セズ
- (三) 滲漏液ヲ生ズル際ハ食鹽ノ量減少スルモ吸收ノ際ハ該量及尿量共ニ著ク增多ス

- (四) 胸震頭ハ通常全ク消失ス
- (五) 打響ハ異常ニ低且、劇 (時トシテ) 纖維性副響チ有ス (或ハ鼓音ニシテ) 響チ帯ビ又、錢貨音及ウ・ントリッ・ヒノ打響變換チ呈シ發音部ハ遙カニ肺臟ノ下方ニ達ス

氣胸

胸膜腫瘍

(三六) 胸膜腫瘍 (Tumoren der Pleura)

- (一) 胸廓ノ局部ニ隆起ヲ見ルコト有リ多クハ呼吸困難ヲ伴フ
- (二) 觸打法ヲ行フニ抵抗ノ感胸膈増加スルモ聲音震盪減弱ス
- (三) 腫瘍一定大ニ達スルハ其上ニ半濁音乃至濁音ヲ發シ其周圍ノ打響ハ罕ニハ異常ニ低且剛ニシテ非鼓音ナラズ又壓迫強大ナルハ多少半濁鼓音ヲ發ス腫瘍若シ上

(乙) 循環器系諸病

(三七) 心囊炎 (Pericarditis)

- 聲音ヲ聽診スルニ消失シ或ハ鐵性副響ヲ呈ス
  - (七) 心跳ハ側方ニ轉移スルコト有リ
  - (八) 心濁音部ハ腹、側方ニ壓抵セラレ
  - (九) 心音ハ鐵性副響ヲ呈スルコト有リ
  - (一〇) 肝下縁ハ(右側症ニ於テ)尋常ヨリ低位ニ在リ
  - (一一) 肝若クハ脾ノ濁音部ハ下方ニ轉位スルコト有リ
- 葉全部ヲ壓迫スルハウツカレリヤム氏ノ氣管音ヲ聽クコト有リ
- (四) 肺胞呼吸音ハ減弱シ或ハ消失ス
  - (五) 若シ滲出液有ルノ疑有ルハ試メニ穿刺法ヲ行フ可シ之レ右ルハ多クハ出血性ニシテ赤血球ヲ有シ罕ニ腫瘍細胞ヲ存ス

循環器系諸病

心囊炎

乾性心囊炎

症候ニ由リ之ヲ左ノ三症ニ分ツ

- (イ) 乾性心囊炎 (Pericarditis sicca)
- (ロ) 滲出性心囊炎 (Pericarditis exudativa)

- (一) 胸骨ノ左側ニ常リ間、摩擦音ヲ觸知ス
- (二) 同上部ニ於テハ常ニ摩擦音ヲ聽取ス

滲出性心囊炎

- (一) 患者屢、甚ク不安ノ狀ヲ呈シ且常ニ體位ヲ變換ス
- (二) 皮膚ハ多少チアノ一ゼナ呈ス
- (三) 呼吸困難ヲ略ルコト多シ
- (四) 隣接部ノ肺臟僅ニ壓迫セラレ、ハ打響異常ニ剛且低ナルモ壓迫稍、強キハ半濁鼓音ヲ發ス若シ滲出液多量ナルハ殊ニ左上葉ニ於テウツカレリヤム氏ノ氣管音ヲ認ムルコト有リ
- (五) 胸廓彈力ニ富ミ滲出液多量ナルハ心臓部ニ隆起ヲ呈ス心尖搏動始、ハ廣キモ左下方ニ壓抵セラレ、ハ弱クノ脈、全ク消失ス然レモ起立スルハ再ビ現出スルコト有リ

(ハ) 心囊癒著症 (Pericardiosynechia)

- (一) 心尖搏動減弱乃至消失シ若クハ心尖部陥入ス

- (二) 往々心臓上ニ吸氣的雜音アリ

心囊癒著症

器質諸病

心囊水腫

(二八) 心囊水腫 (Hydropericardium).

- (一) 心尖搏動ハ、減弱乃至消失ス。
- (二) 心濁音部増大ス。

心囊氣腫

(二九) 心囊氣腫 (Pneumopericardium).

- (一) 心臓部間、隆起シ仰臥スルハ、心尖搏動消失スルコト有リ。
- (二) 心臓部ノ打撃ハ、通常清鼓音ヲ呈シ且、隆起ヲ帶テ、ルモ若シ、同時ニ液體ヲ貯溜スルハ、(心囊膿氣腫ニ於テ)

縦隔膜ノ腫瘍

(三〇) 縦隔膜ノ腫瘍 (Tumoren des Mediastinums).

- (一) 隆、ちあの一ゼヲ呈ス。
- (二) 鬱血水腫ヲ來スコト有リ。
- (三) 往々返廻神經ノ麻痺ヲ見ル。
- (四) 罕ニ胸廓局部ニ隆起ヲ生ズ、呼吸困難ヲ來スコト有リ。
- (五) 隣接部ノ肺壓迫セラル、ハ、半濁鼓音ヲ發シ只全上葉ヲ壓迫スルハ、ハツキ、ルリヤム氏ノ氣管音ヲ發ス。
- (六) 心跳轉位スルコト有リ。
- (七) 心濁音部轉位シ或ハ増大スルコト有リ。
- (八) 皮膚靜脈壓、強ク努張ス。(肝臟性縦隔膜炎ニ在テハ、時トシテ、吸氣ノ際、皮膚靜脈努張シ、呼氣ノ際、減縮スルヲ見ル。)
- (九) 往々(迷走神經ノ麻痺ニ因リ)脈搏亢進シ或ハ之ニ反シテ(迷走神經ノ刺激ニ因リ)脈緩徐ト爲ル。(肝臟性縦隔膜炎ニ於テハ、奇脈ヲ認ムルコト有リ。)
- (一〇) 時トシテ、之ガ爲メニ、食道狭窄ヲ來スコト有リ。

急性心内膜炎

(三一) 急性心内膜炎 (Endocarditis acuta).

- (一) 患者、隆、甚ク苦悶ノ狀ヲ呈シ轉腰反側坐位ヲ取ルコト多シ。
- (二) 皮膚、隆、ちあの一ゼヲ呈ス。
- (三) 熱候有リ。
- (四) 呼吸困難ヲ來スコト有リ。
- (五) 心跳及心濁音部ノ變化ハ徐々トシテ來ル。
- (六) 通常心尖上ニ收縮期雜音ヲ聽ク。
- (七) 皮膚靜脈多クハ充盈ス。
- (八) 脈搏頻數ニシテ多クハ小且軟ナリ。
- (九) 熱性尿有リ。

慢性心内膜炎

(三二) 慢性心内膜炎 (Endocarditis chronica).

- (一) 皮膚ハ殊ニ代償機障有ルハ、ちあの一ゼヲ呈ス。
- (二) 代償機障有ルハ、鬱血性水腫ヲ來ス。
- (三) 隆、呼吸困難有リ殊ニ強劇ノ運動ニ於テ然リ然レモ、代償機障ヲ起スハ、安静時ト雖モ之レ有リ(心臓性喘息)。
- (四) 心臓肥大スルハ、之ニ隣接スル肺部分、異常ニ期且低或ハ半濁鼓音ナリ又肺ノ境界ハ上方ニ移ル。
- (五) 右室若クハ左室或ハ兩室ノ擴張及肥大ヲ來ス。

左室ノ擴張及肥大

右室ノ擴張及肥大

- (一) 心臓部ノ隆起少ナシ。
- (二) 心跳下方ニ轉位シ外方ニ轉位スルコト少ナク且ツ廣延ス其強弱ハ下文ヲ看ヨ。
- (三) 往々右第二肋間ニ於テ收縮期隆起ヲ見ル殊ニ大動脈ノ起始部同時ニ擴張セル時ニ然リトス其他胸骨ノ左側ニ隆起(心跳)ヲ見ル可シ。

- (一) 隆、心臓部隆起ス。
- (二) 心跳外方ニ轉位シ下方ニ轉位スルハ少ナク且ツ廣延ス其強弱ハ下文ヲ看ヨ。
- (三) 往々左第二肋間ニ於テ收縮期搏動ヲ見ル殊ニ左肺ノ壓迫或ハ退縮ニ於テ然リトス其他時トシテ胸骨部ノ隆起ヲ認ムルコト有リ。

(四) 心尖部ニ於テ強キ隆起ヲ觸ル可シ (大動脈狭窄ヲ除ク) 右第二肋間ニ於テ稀ニ開張期の衝突ヲ見ル

(五) 心濁音部ハ左下方ニ増大シ就中比較的濁音ハ多少乳線ヲ越セ下方第六肋間及之ヨリ下部ニ達ス

(六) 第二大動脈音、強盛ス可シ

(四) 胸骨ノ基底上及其稍、左方ニ多少強キ隆起ヲ觸ル可シ又左第二肋間ニ於テ開、開張期の衝突ヲ見ルヲ有リ

(五) 鈍心濁音部ハ右上方ニ増大シ比較的濁音部ハ常ニ右方ニ増大シ多少胸骨ノ右縁ヲ超過ス

(六) 第二肺動脈音強盛シ變性ヲ帶フ

此他其症狀ハ瓣膜疾患ノ部位及種類ニ由テ異ナルヲ左ニ示スガ如シ

大動脈不全閉鎖	左動脈口ノ狹窄	僧帽瓣膜不全閉鎖	左靜脈口狹窄	三尖瓣膜不全閉鎖 (多クハ比較的)
(一) 心跳非常ニ強ク且ツ廣シ左室ノ擴張及肥大アリ時トノハ右第二肋間ニ於テ開張期の衝動ヲ觸ル	(一) 心跳多クハ甚ク弱ク或ハ缺如シ左室擴張肥大シ開、右第二肋間ニ於テ收縮期の衝動ヲ觸ル	(一) 心跳多クハ強ク右室擴張肥大シ後チ左室擴張肥大ス、心尖部ニ於テハ開、收縮期の衝動ヲ觸ル	(一) 心跳弱ク或ハ中等強ニ右室擴張肥大シ開、亦左室肥大ス、心尖部ニ於テハ時トノ開張期の衝動ヲ觸ル	(一) 心跳弱ク或ハ右室及珠ニ前房擴張シ前者ハ亦開、肥大ス
(二) 第二大動脈音開、強盛シ第一僧帽瓣膜音、減弱シ或ハ分裂ス	(二) 第二大動脈音開、強盛スルモ減弱スルヲ多シ	(二) 第一僧帽瓣膜音減弱シ或ハ缺如ス第二肺動脈音強盛シ第二大動脈音ハ開、減弱ス	(二) 第一僧帽瓣膜音及第二肺動脈音ハ共ニ強盛シ第二大動脈音ハ多クハ減弱ス、半月瓣膜上ニ於ケル第二音ハ	(二) 第二肺動脈音減弱ス

(三) 開張期の雜音有リ胸骨右縁ニ於テ最モ高期ニノ展、左方ニ延スルヲ聽ク其他時トノ心尖部ニ收縮期の雜音ヲ聽ク	(三) 收縮期の雜音有リ胸骨右縁ニ於テ最モ高期ナルモ展、左方ニ廣延スルヲ聽ク	(三) 收縮期の雜音有リ心尖部ニ於テ最モ高期、罕ニハ左第二肋間ニ於テ高期ナリ	(三) 毫モ雜音ヲ聽カザルカ或ハ開張期の雜音ヲ聽クアリ或ハ收縮期前雜音ヲ聽クアリ共ニ心跳ノ外縁ニ於テ最モ顯著ナル者ナリ而シテ第一ノ場合ニ於テハ運動ノ後開、雜音ヲ聽クヲ有リ	(三) 收縮期の雜音有リ胸骨基底ニ於テ最モ高ク、罕ニハ心尖上ニ於テ最モ高シ
(四) 頸動脈其他末梢ノ動脈ニ強キ搏動有リ開、肝動脈脈搏ヲ來シ脈搏ハ多クハ僅カニ亢進スルノカニ亢進スルノミニノ脈整然タレモ高ク又展、小動脈ニ於テモ搏動ヲ觸ル疾速ナリ逆衝隆起ハ	(四) 脈搏展、甚ク緩徐ニノ脈不整ナルヲ有リ又小ニノ虛ナリ時トノ頸動脈上ニ雜音ヲ聽キ展、第二音ヲ缺如ス	(四) 展、心窩搏動有リ皮膚靜脈ハ通常勞張シ且ツ消極的靜脈脈搏ヲ呈ス	(四) 上段不全閉鎖ニ於ケルガ如シ	(四) 往々肝靜脈脈搏有リ皮膚靜脈勞張シ時トノ積極的靜脈脈搏著クハ靜脈球脈搏ヲ呈ス



先天性心臟異常

多クハ缺如ス第一大動脈音強盛シ又小動脈上ニ於テ之ヲ聴取ス頸動脈上ノ第二音ハ消失シ之ニ代フルニ脈雜音ヲ以テス又股動脈上ニハ時トシテ重複音或ハ重複雜音ヲ聴ク	レ大動脈不全閉鎖ニ於テモ脈ノ見ル所ナリ	(五) 脈搏ハ多ク頻數ニシテ脈不整ナルヲ有リ爾他特異ノ徵無シ	(五) 脈ハ小ニシテナルヲ多ク又彈力性隆起減少ス	(五) 時トシテ頸靜脈上ニ收縮期的音ヲ聴ク
(六) 肝臟ハ多ク増大ス(雙血肝)		(五) 脈搏ハ多ク頻數ニシテ脈不整ナルヲ有リ爾他特異ノ徵無シ	(五) 脈ハ小ニシテナルヲ多ク又彈力性隆起減少ス	(五) 時トシテ頸靜脈上ニ收縮期的音ヲ聴ク
(七) 脾臟モ亦増大シ、大動脈不全閉鎖ニ於テハ罕ニ脾ノ搏動ヲ觸ル、ト有リ		(五) 脈搏ハ多ク頻數ニシテ脈不整ナルヲ有リ爾他特異ノ徵無シ	(五) 脈ハ小ニシテナルヲ多ク又彈力性隆起減少ス	(五) 時トシテ頸靜脈上ニ收縮期的音ヲ聴ク
(八) 尿ハ殊ニ代償機障ヲ存スルルハ雙血尿ノ性質ヲ呈ス(雙血腎ヲ看ヨ)		(五) 脈搏ハ多ク頻數ニシテ脈不整ナルヲ有リ爾他特異ノ徵無シ	(五) 脈ハ小ニシテナルヲ多ク又彈力性隆起減少ス	(五) 時トシテ頸靜脈上ニ收縮期的音ヲ聴ク

(四) 先天性心臟異常 (Angeborene Herzanomalien)

- (一) 多クハ著シキチ、あの一ゼチ呈ス
- (二) 呼吸促進アリ

脂肪心

(三) 循環器ノ狀況次ノ如シ	右○靜脈○口○ノ○狹○窄○ 常○三○尖○瓣○不○全○閉○鎖○ ヲ○合○併○ス	肺○動○脈○不○全○閉○鎖○	右○動○脈○口○ノ○狹○窄○	卵○圓○孔○ホ○タリ○ト○氏○動○脈○ 管○等○ノ○開○通○
	(一) 第二肺動脈音弱シ	(一) 右室擴張且肥大ス	(一) 右室擴張肥大シ、左第二肋間ニ於テ收縮期的衝動ヲ觸レ第二肺動脈音缺如シ若クハ減弱ス	(一) 心臟上ニ收縮期的雜音ヲ聴キ罕ニハ開張期的雜音ヲ聴ク
	(二) 開張期的雜音有リ胸骨基底ニ於テ最モ強シ	(二) 開張期的雜音ハ左第二肋間ノ胸骨緣ニ於テ最モ顯著ナリ	(二) 左第二肋間或ハ其下部ニ於テ收縮期的騒鳴ヲ聴ク	(二) 心臟上ニ收縮期的雜音ヲ聴ク
	(三) 脈多クハ小ナリ	(三) 脈小ナリ	(三) 脈小ナリ	(三) 脈小ナリ

(四) 脂肪心 (Fettlivers)

- (一) 皮膚展、蒼白ニシテ代償機障有ルルハちあの一ゼチ呈ス
- (二) 不全閉鎖ヲ起スルハ雙血性水腫ヲ來ス
- (三) 通常殊ニ勞働ノ際呼吸困難有リ又シヤインストックス氏ノ呼吸現象ヲ見ルヲ有リ
- (四) 心跳ハ展、下方ニ偏倚シ(心臟單ニ擴張スル際)又
- 展、減弱乃至消失スルヲ有リ
- (五) 心音ハ多クハ微弱ニシテ、心尖及第二肋間ニ於テ收縮的雜音ヲ聴ク
- (六) 皮膚靜脈ハ展、異常ニ勞弱ス
- (七) 脈搏展、頻數ナルモ又時ニ異常ニ緩徐ナルヲ有リ而シテ各症ニ於テ心悸動發作アリ脈不整ニシテ小且軟ナリ

大動脈動脈瘤

- (一) 又雙血肝ヲ見ルコト有リ
- (二) 氣管壓迫セラル、キハ皮膚ちあいのゼチ呈ス
- (三) 往々返廻神經麻痺ヲ來スコト有リ多クハ左側ニシテ其右側ニ來ルハ罕ナリ
- (四) 通常多少ノ短息有リ
- (五) 動脈瘤若シ左側ノ氣管枝幹ヲ壓迫スルキハ左肺上ノ呼吸管減弱乃至消失ス
- (六) 心跳ハ下方ニ轉位シ、廣延シ且強盛ス(左室肥大)
- (七) 右第二肋間(上行大動脈瘤)或ハ頸靜脈窩(大動脈弓瘤)ニ於テ間、搏動ト共ニ隆起ヲ見ル
- (八) 該部ニ亦收縮期的若クハ開張期的衝突ヲ觸レ又間、心内騒鳴ヲ觸ル、コト有リ
- (九) 心濁音部増大スルコト有リ(左室擴張)右第二肋間(上行大動脈瘤)

(三六) 動脈硬變症 (Arteriosclerosis)

- (一) 心跳下方ニ偏シ且廣延強盛ス(左室ノ擴張及肥大)
- (二) 右第二肋間ニ於テ間、搏動ヲ見ル
- (三) 第二動脈音、強盛シ時トシテ響響ヲ帶ツ

- (一) 又雙血腎ヲ見ルコト有リ
- (二) 行大動脈瘤) 或ハ胸骨把柄上(大動脈弓瘤)ニ於テ濁音ヲ呈ス
- (三) 第二大動脈音強盛ス、右第二肋間或ハ胸骨把柄上ニ於テ或ハ單ニ收縮期的雜音或ハ單ニ開張期的雜音ヲ聽キ或ハ重複雜音ヲ聽ク
- (四) 頸靜脈窩ニ搏動アリ又間、心窩搏動ヲ見ル(後者ハ腹部大動脈瘤ニ於テ殊ニ著シ)
- (五) 脈ハ大動脈弓ノ動脈瘤ニ於テハ身體ノ各部ニ從ヒ異ニシ小ナルコト無シ
- (六) 時トシテ大ナル血管上ニ收縮期的雜音ヲ聽ク
- (七) 食道狹窄ヲ起スコト有リ
- (八) 皮膚動脈硬化ス
- (九) 皮膚動脈ヲ觸ル、ニ動硬ニシテ脈搏展、異常ニ緩徐ナリ冠狀動脈硬變症ニ在テハ狹心性發作ヲ來スコト有リ

消化器系諸病

口内炎

口峽炎又安魏那

急性咽頭炎  
慢性咽頭炎

脈搏ハ(殊ニ冠狀動脈硬變症ニ於テ)不正ト爲リ昇脚隆起ヲ呈シ弾力性隆起減少シ又逆衝隆起ノ減少ヲ來ス

(丙) 消化器系諸病

(三七) 口内炎 (Stomatitis)

- (一) 口腔粘膜ハ赤色ヲ顯ハシ且腫脹シ時トシテ潰瘍有リ、齶口瘡ニ在テハ白色斑狀ノ沈着物ヲ著ク
- (二) 唾液ノ分泌增多シ其中ニ上皮及角質、こちにてんナ存

(三八) 口峽炎又安魏那 (Angina)

- (一) 熱有ルコト多キモ一定ノ定型ヲ呈スルコト無シ然レモ膿、惡寒ヲ以テ體溫速クニ昇騰シ二乃至五日間稽留シ分利ヲ以テ下降スルコト有リ
- (二) 短息ヲ見ルコト有リ
- (三) 舌増大シ偏側或ハ兩側ノ扁桃腺並ニ通常亦軟口蓋潮

(三九) 急性咽頭炎 (Pharyngitis acuta)

- (一) 咽頭ノ粘膜赤腫シ灰白色或ハ黄色ノ粘液ヲ以テ被ハルコト多シ
- (二) 慢性咽頭炎 (Pharyngitis chronica)

有リ  
(六) 第一大動脈音間、強盛ス

シ齶口瘡ニ在テハ沈着物中ニないぢうむ、あるびが人ナヲ見ル

- (一) 紅シ且多少腫脹ス又扁桃腺ニハ其表面ニ黄色栓ヲ著ク
- (二) ルコト有レモ容易ニ拭去シ得ク義膜ヲ缺如シ咽頭モ亦之ニ侵サル、コト無キモ膿、膿瘍ヲ生ズルコト有リ
- (三) 通常流涎アリ
- (四) 熱性尿ヲ來スコト有リ

食道癌腫

咽頭ノ粘膜或ハ赤色ヲ呈シ或ハ蒼白色ヲ呈シ光澤有ルコト有リ又粘膜多クハ腫脹シ粘液ヲ被ムル又時トノ粘膜濾胞

ノ増大ヲ見ルコト有リ

(四一) 食道癌腫 (Carcinom des Oesophagus)

- (一) 患者羸瘦シ且惡液質ヲ呈ス
- (二) 氣管分岐部ニ發シタル者ニ在テハ返迴神經ノ麻痺ヲ來スコト有リ

(三) 食道消息子ヲ送入スルニ分岐部或ハ噴門部ニ瘻竇有リ其他ノ部位ニ發スルハ罕ナリ該瘻竇ハ永久存スルモ腫瘍若シ破潰スルハ一時消息子ヲ通シ得可キコト有リ

急性胃加答

(四二) 急性胃加答兒 (Gastritis acuta)

- (一) 往々口唇紅疹ヲ認ム
- (二) 熱候ヲ呈スルコト有リ
- (三) 著シキ舌苔有リ
- (四) 心窩部ニ壓痛有リ

(五) 通常嘔吐有リ吐物ハ食物殘片、粘液、膽汁等ヨリ成ル胃液ノ成分ハ一定ナラズ鹽酸ノ含量一定セザルモペーじんハ多クハ減少ス

(六) 下利若クハ便秘有リ

慢性胃加答兒

(四三) 慢性胃加答兒 (Gastritis chronica)

- (一) 著シキ舌苔アリ
- (二) 心窩部ニ壓痛ヲ訴フ
- (三) 通常胃ハ尋常大ナルモ時トノ擴張ヲ見ルコト有リ
- (四) 嘔吐アリ吐物ノ量ハ多キコト有リ少キコト有リ、粘液及

食物成分ヨリ成ル、鹽酸ハ減少乃至缺如シ或ハ増多ス又時トノ消化時間外ニ之ヲ分泌スルコト有リ(鹽酸過多症) ペーじんハ多クハ減少シ或ハ缺如ス其他間、有機酸ヲ存ス、吸收ハ緩慢ニ胃ノ運動亦屢々減弱ス

官能的消化不良

(四四) 官能的消化不良 (Functionelle Dyspepsie)

胃内容中ニハ遊離ノ鹽酸減少乃至缺如スルモ、乳酸ヲ存ス然レモ亦鹽酸ノ量増多スルコト有リ、粘液ハ缺如ス若

クハ少量ナリ、鹽酸ノ分泌多キトキハ澱粉質ノ消化緩慢ナリ

(四五) 胃潰瘍 (Ulcus ventriculi)

- (一) 皮膚多クハ蒼白色ヲ呈ス
- (二) 胃ノ限局部ヲ壓スルニ劇甚ハ疼痛アリ
- (三) 胃ノ下縁ハ癒著ノ爲、高位ニ在ルコト有リ潰瘍若シ幽門部ニ在ルハ屢々胃ノ擴張ヲ見ル
- (四) 往々血液ヲ吐出ス吐物ハ鮮紅色ナルコト有リ或ハ咖啡殘渣様ニシテ褐色ナルコト有リ

含有スルコト甚々多ク爲ニ澱粉ノ消化ハ障礙セラル、吐血スルハ其中ニヘムoglobinヲ含有ス、顯微鏡的検査ヲ行フニ赤血球ヲ見ルコト有リ或ハ具血色素ヲ見ルコト有リ

(五) 大便ニハ多クハ異常無キモ胃出血ニ在テハ血液ヲ含有シ多クハ褐色乃至黑色ヲ呈ス

(六) 胃痛發作ヲ來ス

(四六) 胃癌 (Carcinoma ventriculi)

- (一) 患者多クハ惡液質ニシテ皮膚蒼白色ヲ呈シ腫瘍若シ膿管ヲ壓閉スルハ黃疸ヲ發ス
- (二) 間、黃疸ヲ見ル

(三) 皮膚彈力ヲ失ヒ且乾燥ス

(四) 漸次羸瘦ヲ來ス

(五) 時トノ左側ノ鎖骨上高腺腫大ス

胃癌

胃潰瘍

胃擴張

- (六) 脈小ニシテ虚ナルコト多シ
- (七) 血液ハ總發的貧血ノ性狀ヲ呈ス
- (八) 常ニ舌苔有リ
- (九) 腫瘍ヲ目暗スルハ常ナラズ
- (一〇) 又之ヲ觸ルルコト必常ナラズ
- (一一) 腫瘍若シ隣接ノ臟器ト癒著チ生ズルキハ胃ノ下界通常ヨリ高位ニ在ルコト有リ噴門痛ニ在テハ胃ハ展、狹縮スルモ之ニ反シテ幽門痛ニ在テハ其擴張ヲ見ル又幽門痛ニ在テハ其重力ノ爲メ胃ノ下界展、轉位ス
- (一二) 腫瘍廣大ニシテ其部位宜シキニ適フキハ打診スルニ濁音ヲ呈ス
- (一三) 通常嘔吐有リ吐物ハ間、血液ヲ含有シ爲メ多クハ

(四七) 胃擴張 (Gastric distension)

- (一) 舌ニ厚苔有リ
- (二) 胃部膨隆シ間、其蠕動ヲ目暗ス可シ
- (三) 胃壁肥厚スルキハ按壓スルニ抵抗多シ
- (四) 胃ノ下界ハ(炭酸若クハ空氣ヲ以テ膨大セシムルキ)正中線ニ於テ臍下部ニ達シ上及右境界モ亦尋常ノ境界ヲ超過スルモ左方ハ少シ
- (五) 胃部ヲ觸打スルニ常ニ打水響ヲ聽ク
- (六) 嘔吐有リ吐物ハ多量ニシテ三層ニ分カル又醱酵產物有ルキハ一種特異ノ臭氣有リ
- (七) 化學的検査ヲ行フニ乳酸、醋酸、酪酸等ノ有機酸ヲ存ス
- (八) 尿酸ハ存スルコト有リ或ハ減少スルコト有リ
- (九) 吸收作用ハ緩慢ニシテ運動機能減弱ス
- (一〇) 胃壁ヲ按撫スルニ往々管狀ノ抵抗ヲ觸レ(嵌頓)之ヲ

急性腸加答

- 顯微鏡的検査ヲ行フニ多クハ膿母微及胃微ヲ見ル
- (四八) 急性腸加答兒 (Enteritis acuta)
- (一) 腹部ヲ按壓スルニ其全部或ハ一定部(小腸或ハ横行結腸)ニ疼痛有リ
- (二) 胃ノ疾患ヲ合併スルキハ(胃腸加答兒)水様、粘液様或ハ膽汁ヲ以テ染色セラレタル者ヲ吐出スルコト有リ
- (三) 便通ノ度數ハ増多シ多クハ稀粥狀ニシテ黃褐色ヲ呈シ展、酸性ノ反應ヲ呈ス

(四九) 慢性腸加答兒 (Enteritis chronica)

- (一) 腹痛ヲ存スルコト有リ或ハ之ヲ缺クコト有リ
- (二) 嘔吐ヲ缺ク
- (三) 大便ハ或ハ便秘シ或ハ下利ス又大便ニハ粘液ヲ混ズルコト有リ或ハ硬固ナルトキハ其表面ニ粘液ヲ著クルコト有リ
- (四) 結核性腸加答兒及其他ノ腸加答兒症ニ於テ尿中ノ

吐瀉症

- (一) 吐瀉ハ鼓腹ニ因テ強ク膨滿シ間、腸ノ蠕動機ヲ進メ
- (二) 腹壁ヲ按撫スルニ往々管狀ノ抵抗ヲ觸レ(嵌頓)之ヲ

(五〇) 吐瀉症 (Zoonosis)

- (一) 腹壁ヲ按撫スルニ往々管狀ノ抵抗ヲ觸レ(嵌頓)之ヲ

加答兒性黃疸

- (一) 壓スルニ甚ク疼痛有ルコト有リ
- (二) 鼓腹甚シキハ肝濁音部廣シ或ハ上方ニ轉ズルコト有リ其甚シキニ至レバ脾濁音部モ亦狹縮シ或ハ上方ニ轉位ス
- (三) 腹壁ヲ打診スルニ一定部ニ於テハ清音ヲ發シ鼓音ヲ發ス

(五一) 加答兒性黃疸 (Icterus catarrhalis)

- (四) 嘔吐有リ吐物ハ帶褐黃色ニシテ糞臭ヲ放ツ
- (五) 便通ハ缺クルコト有リ又下利ヲ來シ間ハ血便ヲ下ス
- (六) 尿中ニ多量ノ「*インヂカン*」ヲ含有シ又依的兒硫酸増量ス

鬱血肝

- (一) 皮膚常ニ黃色ヲ呈ス
- (二) 脈搏ハ通常緩徐ナリ
- (三) 肝臟下縁ハ常位ヨリ低ク膨大セル臍臟ヲ觸レ且知覺過敏ナリ
- (四) 大便ハ灰白色乃至白色ニシテ惡臭ヲ放チ化學的及顯微

(五II) 鬱血肝 (Stauungsleber)

- (一) 肝臟肥大シ其下縁ハ間ハ常位ヨリ下方ニ於テ觸ル可ク硬固ニシテ壓スルモ敢テ疼痛ヲ訴ヘズ
- (二) 上界ノ打診的境界ハ通常ヨリ高ク或ハ其下界低キ

(五三) 急性黃色肝萎縮 (Acute gelbe Leberatrophie)

- (一) 常ニ黃疸有リ
- (二) 脈ハ一定セズ多クハ小ニシテ不整ナリ

急性黃色肝萎縮

- (三) 肝臟ヲ壓スルニ劇痛有リ
- (四) 肝臟著シク縮小シ就中其下界ハ上方ニ偏倚シ肝濁音ヲ發セザルニ至ル
- (五) 嘔吐有リ多クハ血液ヲ混ズ
- (六) 便中亦血液ヲ混ズ爲ニ漆黑色ヲ呈ス

(五四) 肝臟膿瘍 (Leberabscess)

- (一) 腹ハ黃疸アリ
- (二) 腹ハ熱有レテ定型ナシ
- (三) 肝下縁ハ間ハ常位ヨリ低ク時トノ隆起ヲ生ジ波動ヲ

(五五) 肝臟硬變症 (Lebercirrhose)

- (一) 黃疸ハ肝臟肥大ノ際ハ常ニ存スルモ萎縮スルモニ缺如スルコト多シ然レモ後者ニ於テハ惡液質ノ狀ヲ呈ス
- (二) 病勢進ムルハ高熱スルコト多シ
- (三) 腹ハ浮腫有リ
- (四) 腹壁ノ靜脈怒張スルコト多シ
- (五) 肝臟肥大セル際並ニ其萎縮ノ始ノニ於テハ間ハ其下縁ハ常位ヨリ低所ニ於テ觸ル可ク其々硬固ニシテ其表面ニ小隆起有ルヲ觸ル而シテ之ヲ壓スルニ多少疼痛

- (七) 尿量少ナク尿素ノ量著シク減少ス又其中ニ膽色素、膽酸ヲ存シ間ハ蛋白並ニ殆ド常ニ「*インヂカン*」ヲ含有ス
- (八) 末期ニ至レバ著シキ意識障礙ヲ來シ臍部ヲ發シ腹、痙攣ヲ起シ遂ニ昏睡ニ陥ル

- 呈スルコト有リ之ヲ壓スルニ疼痛ヲ訴フ
- (四) 肝臟ハ腹ハ増大ス

- 有リ
- (六) 脾臟ハ殆ド常ニ肥大スルヲ以テ手觸スルコト多シ
- (七) 肝臟ハ萎縮ノ始ノ及肥大ノ際ニ於テハ増大スルヲ以テ其上界ハ常位ヨリ高ク或ハ其下界ハ又常位ヨリ低ク或ハ兩者合併ス而シテ比較的濁音部ハ多クハ著シク増大ス
- 第二期ニ至リ既ニ萎縮ヲ起スルハ縮小シ其下界高ク且比較的濁音部狹小ト爲ル

肝臟膿瘍

肝臟硬變症

脂肪肝

- (八) 萎縮期ニ於テハ其後期ニ至レバ必ズ腹水ヲ發スルモ肥大セルルハ之ヲ缺如スルコト多シ
- (九) 萎縮期ニ於テハ往々吐血ヲ嗜ル
- (一〇) 大便ハ肥大期ニ於テハ展、脱色スレドモ萎縮期ニ於テハ間、血液ヲ含有スルコト有リ

(五六) 脂肪肝 (Fettleber).

- (一) 肝ノ下縁ハ尋常ヨリ低ク抵抗亦尋常ヨリ強ク壓痛無シ
- (二) 上界ハ尋常ヨリ高ク或ハ下界ハ尋常ヨリ低ク或ハ兩

肝臟澱粉樣變性

(五七) 肝臟澱粉樣變性 (Amyloid der Leber).

- (一) 肝ノ下縁ハ尋常ヨリ低ク甚ク硬固ニシテ致テ壓痛ヲ訴ヘズ
- (二) 肝ノ上界ハ或ハ尋常ヨリ高ク比較的濁音部移轉シ且増大ス或ハ肝ノ下界尋常ヨリ低ク比較的濁音部尋常大

肝臟癌腫

(五八) 肝臟癌腫 (Carcinom der Leber).

- (一) 患者惡液質ノ狀ヲ呈シ展、黃疸アリ
- (二) 皮膚彈力ヲ失ヒ且乾燥ス
- (三) 脾腫ヲ見ズ
- (四) 右鎖骨上窩際間、腫大ス

(二) 尿量ハ肥大ノ際多クハ増加シ許多ノ膽色素ヲ有ス然レモ萎縮スルルハ多クハ減少シ許多ノ尿酸鹽類或ニ尿酸ノ含有シテモ膽色素ヲ含有セズ之レ有ルモ少量ナリ

者合併シ比較的濁音部ハ或ハ尋常大ナルカ或ハ増大ス

(三) 脾腫ヲ見ズ

ナルカ或ハ増大シ或ハ兩者合併ス

(三) 之レト同時ニ脾腎兩臟ニ澱粉樣變性アルヲ認ムルコト多シ

(三) 始メト常ニ羸瘦ス

(四) 右鎖骨上窩際間、腫大ス

肝臟包蟲囊腫

(五九) 肝臟包蟲囊腫 (Echinococcus der Leber).

- (一) 間、黃疸アリ
- (二) 時トシハ肝臟ノ局部ニ波動ヲ呈スル隆起ヲ觸ル
- (三) 肝臟増大スルヲ以テ其下界或ハ上界或ハ該兩界著シク移轉シ比較的濁音部尋常大ナルカ或ハ増大ス
- (四) 穿刺スルニ通常透明ノ清澄液アリ比重一〇〇六乃至

(六〇) 遊走肝 (Wanderleber).

- (一) 結石若シ輸膽管ヲ閉塞スルルハ皮膚黃疸色ヲ呈ス
- (二) 肝ノ下縁ハ諸處ニ在リ容易ニ之ヲ移動シ得可シ
- (三) 肝濁音部ハ其居所ニ由リ一定セズ時トシハ消失スル

(六一) 膽石病 (Cholelithiasis).

(二) 結石若シ輸膽管ヲ閉塞スルルハ皮膚黃疸色ヲ呈ス

音部尋常大ナルカ或ハ増大ス

(三) 脾ハ通常肥大セズ

(二) 展、腹水有リ

(三) 黃疸有ルルハ尿中ニ膽色素ヲ有シ又間、ありとんナ含有ス

一〇一五ニシテ其中ニ殆ンド全ク蛋白ヲ缺如スルモ多量ノ格魯兒奈窩留誤其他展、琥珀酸ヲ含有シ其中ニ鈣若クハ蟲頭ヲ見ル若シ化膿スルルハ内容物綠黃色ト爲リ若シ又出血有ルルハ褐色ヲ呈シ其中ニヘマトイチン結晶ヲ見ル

ト有リ

(三) 此場合ニ於テハ肝臟展、肥大シ又間、膽囊ヲ觸ル可

爾他膽囊ノ疾患

(六二) 爾他膽囊ノ疾患(膽囊炎 Cholecystitis, 水腫 Hydrops, 癌腫 Carcinom).

増大シタル膽囊ハ時トシテ肝臓下ニ突隆スル球狀ノ腫瘍トシテ觸診スルヲ得可ク之ヲ按壓スニ疼痛有リ且甚ク硬固ナルヲ覺ユ

鬱血脾

(六三) 鬱血脾 (Stauungsmlz).

(一) 脾臓肥大シ、容易ニ手觸シ得可ク硬固ニシテ腫痛無シ

(三) 脾濁音部ハ主トシテ前方ニ向テ増大ス

脾臓澱粉樣變性

(六四) 脾臓澱粉樣變性 (Amyloid der Mlz).

(一) 脾腫甚シキハ左側胸廓ノ下口擴張スルコト有リ  
(二) 脾境界部上ニ於ケル打響ハ減弱シ或ハ鼓音ヲ發ス  
(三) 脾境界部上ノ呼吸音ハ銳利ト爲ルコト有リ

(四) 脾臓ハ手觸シ得可ク硬固ニシテ多クハ腫痛無シ  
(五) 脾濁音部増大シ其圓形ハ概テ尋常ナリ

脾臓腫瘍

(六五) 脾臓腫瘍 (Tumoren der Mlz).

(一) 脾ハ腫、肥大シテ手觸シ得可ク固、其表面ニ隆起アリ腫スルニ疼痛ヲ訴フ

(二) 脾ノ前下兩界ハ増大ノ爲ニ下方ニ偏ス  
(三) 腫瘍ノ何物タルヤハ多クハ試穿法ニ由テ知ル可シ

遊走脾

(六六) 遊走脾 (Wandermlz).

(一) 脾ハ腹、臍ル可キモ肥大セズ且甚ク移動シ易シ  
(二) 脾濁音部ハ單ニ轉位スルコト有リ或ハ全ク缺如スルコト

有リ而シテ後者ノ場合ニ於テハ腹、臍ノ他部ニ濁音ヲ認ムルコト有リ

盲腸周圍炎及盲腸周圍結締織炎

(六七) 盲腸周圍炎及盲腸周圍結締織炎 (Peri- und Paratyphlitis).

(一) 熱ニ定型無シ  
(二) 回盲部ニ於テ往々局所的隆起ヲ見ル

(三) 該部ニ於テハ腹、臍痛ヲ感ズル抵抗或ハ浸潤ヲ觸ル  
(四) 回盲部ニ於テハ濁音ヲ呈スルコト有リ

腹膜炎

(六八) 腹膜炎 (Peritonitis).

(一) 熱ハ急性症ニ於テハ殆ド常ニ存シ慢性症ニ於テハ腹、存シ或ハ又之ヲ缺クコト有リ  
(二) 胸廓下口ハ兩側共ニ擴張スルコト多ク呼吸式ハ腹、專ラ肋式ニシテ男子ニ於テモ然リ又腹、呼吸困難アリ  
(三) 隣接セル肺ノ下部ハ或ハ異常ノ低音ヲ發シ或ハ半濁鼓音ヲ發ス是レ之ニ併發セル鼓腹ノ爲ニ肺臟壓迫ヲ受クルニ因ル又之ト同時ニ肺ノ下界ハ上方ニ偏倚シ深吸氣ノ際トイヘ下下方ニ移動スルコト甚ク少ク或ハ全ク之レ無シ  
(四) 上方肺野ノ呼吸音ハ銳利ノ肺胞音ヲ呈ス

(五) 心跳ハ上方或ハ間、又左方ニ壓抵セラレ  
(六) 心濁音部ハ上方ニ移ル  
(七) 熱アルキハ脈搏頻數ナルモ其他ハ甚ク緩徐ナルコト有リ  
(八) 肚腹ハ通常平等ニ膨大シ按壓スルニ多少疼痛アリ慢性症ニ於テハ間、諸所ニ索條及抵抗ヲ觸ル可シ  
(九) 鼓腹有ルキハ肝濁音部、脾小ト爲ルモ若シ腹腔内ニ滲出物ヲ存スルキハ該部外觀的ニ増大ス又其濁音部ハ只上方ニ偏スルコト有リ  
(一〇) 脾ノ前下兩界ハ亦上方ニ偏シ濁音部縮小シ或ハ其鼓

部上方ニ偏スルコト有リ

(二) 鼓膜部ヲ打診スルニ清音ニシテ非鼓音ナリ然レハ滲出物ヲ生ズルコトハ不正ノ濁音ヲ呈シ體位ニ由テ其部位ヲ變ズ

(三) 罕ニ摩擦音ヲ聴クコト有リ

(四) 初患ノ際及又其經過中ニ嘔吐アリ又吃逆ヲ來ス

(五) 試穿法ヲ行フニ滲出物漿液性ナルコトハ清澄透明或ハ黄色ニシテ暫時ニ凝固スル液ヲ縮ス其比重一〇一二以上ニシテ蛋白、少許ノ食鹽ヲ含有シ鏡檢スルニ僅少ノ有形成分ヲ見ル

滲出物若シ膿性ナルコトハ液體不透明、濃稠ニシテ灰白黄

(六九) 腹水 (Ascites)

- (一) 胸廓下部ハ左右共ニ開大シ腹、單ニ肋式呼吸ヲ營ム
- (二) 隣接セル肺下部ハ壓迫ノ多少ニ由テ低音若クハ半濁鼓音ヲ呈シ且肺境界ハ腹、上方ニ移リ深呼吸時トイヘ下降セズ
- (三) 肺上ニ聽ク所ノ肺胞音ハ間、粗糲ト爲ル
- (四) 心跳ハ左上方ニ轉位スルコト有リ
- (五) 心濁音部上方ニ移轉ス

色乃至綠褐色ヲ呈シ許多ノ膿球ヲ存ス  
 滲出物若シ出血性ナルコトハ赤色乃至褐色ヲ呈シ血色素及赤血球ヲ含有ス  
 滲出物若シ變敗スルコトハ稀薄液ニシテ綠褐色ヲ呈シ其ニ惡臭アリ脂變セル白血球、脂肪、これ等ノ結晶ヲ存ス  
 疾患或ル寄生生物ニ起因スルコトハ液體中ニ病原的ノ分裂菌ヲ見ル可シ

(六) 尿中ニハ尿酸、尿酸、尿酸ノ證明シ又格魯兒奈爲菌謀ノ減少ヲ認ム

- (六) 肚腹ハ多少膨滿シ下垂部ニ於テ最モ著シキモ最高部ハ腹、扁平ヲ爲シ臍ハ膨隆スルコト有リ
- (七) 肚腹ニ疼痛ヲ訴ヘズ
- (八) 肝濁音部間、縮少シ或ハ上方ニ轉位ス
- (九) 脾濁音部モ亦縮小シ或ハ上方ニ轉位ス
- (十) 腹壁ヲ打診スルニ濁音ヲ呈スルモ體位ニ由リ其部位ヲ變ズ即チ坐位ニ在テハ其境界水平線ヲ呈シ其下部ニ

腹水

鼓膜

於テ濁音ヲ發スレハ仰臥スルコトハ下部及腹壁側部ニ於テ最強ノ濁音ヲ發スルモ最高部ニ於テハ鼓音ヲ發スルコト有リ

(一) 穿刺液ハ清澄透明ニシテ僅ニ凝固シ黄色ヲ帶アルモ出血性ノ者ニ在テハ赤色ヲ帶シ其比重一〇一八以

(七十) 鼓膜 (Tympanites)

- (一) 皮膚展、發汗アリ
- (二) 胸廓下部ハ左右共ニ擴張シ呼吸ハ通常肋式ニシテ男子ニ於ケルモ亦然リ
- (三) 肺ノ下部ハ低音若クハ半濁鼓音ヲ發シ肺境界上方ニ偏シ其擴張力減少乃至消失ス
- (四) 肺胞呼吸音ハ腹、銳利ト爲ル
- (五) 心跳ハ上方ニ壓抵セララル
- (六) 心濁音部モ亦然リ

(丁) 泌尿器系諸病

(七一) 腎血腫 (Stammungshern)

(一) 腎血腫有リ罕ニハ腎血腫、腹水及他ノ水腫有リ

下ニシテ蛋白、少許ノ格魯兒奈爲菌謀及僅少ノ有形成分ヲ有シ唯出血性ノ者ニ在テハ許多ノ赤血球ヲ有ス

(二) 尿ハ多クハ少量ニシテ液體滲漏ノ際ハ格魯兒奈爲菌謀ノ量ヲ減ズレハ滲漏液吸收セララル、其ハ尿及格魯兒奈爲菌謀ノ量共ニ増加ス

- (七) 肚腹ハ平等ニ膨大ス
- (八) 觸診スルニ刺痛アリ腹壁強ク緊張ス
- (九) 肝脾濁音部ハ多クハ全ク消失ス腹壁ノ緊張甚シキコトハ清音及非鼓音ヲ發スルモ緊張中等ナルコトハ鼓音ニシテハ清音ヲ發スル
- 同時ニ液體ヲ存スルコトハ打響常ニ續續性ニシテ坐位ハ下部ニ、臥スルハ下部及側腹壁ニ濁音ヲ發シ振盪スルニ續續音打水響ヲ認ム

(三) 尿量減少シ比重高ク反應酸性ニシテ暗褐色ヲ呈シ多ク

泌尿器系諸病  
腎血腫



急性腎臟炎

- (一) 常ニ多少ノ水腫有リ
- (二) 尿、熱候ヲ呈スルモ高キト少シ
- (三) 左室擴張スルト有リ
- (四) 脈多クハ緊張ス
- (五) 腎臟部ニ壓痛有リ

(七二) 急性腎臟炎 (Acute Nephritis)

ハ少許ノ蛋白ヲ含有シ沈渣多クハ少量ニシテ僅少ノ赤白兩血球、稀少ノ硝子樣圓環及上皮ヲ有シ罕ニハ顆粒狀

圓環其他尿、尿酸鹽或ハ尿酸ヲ含有ス

慢性瀰漫性腎臟炎

- (一) 水腫アリ常存セザルモ後期ニ至レバ顯著ト爲リ早ク體腔ヲ侵ス
- (二) 腎臟部ヲ壓スルニ間、疼痛アリ
- (三) 尿量ハ一定セズ多クハ減量スルモ罕ニハ多量ナルト有リ比重ハ尋常或ハ高ク反應酸性ニシテ多クハ潤滑ス、
- (四) 網膜ニ出血ヲ來シ又蛋白性網膜炎ヲ來スト有リ
- (五) 網膜ニ出血ヲ來シ又蛋白性網膜炎ヲ來スト有リ
- (六) 尿量ハ通常著シク増加シ比重高ク反應酸性ニシテ淡白且證明ナリ、尿素ハ尿、減少シ蛋白ハ多クハ少シニシテトノハ缺如スルト有リ。鏡檢スルニ只稀少ノ有機性沈渣其他硝子樣圓環或ハ分解セル上皮ヲ見ル

(七三) 慢性瀰漫性腎臟炎 (Chronische diffuse Nephritis)

尿素及磷酸減少スルモ常ニ多量ノ蛋白ヲ含有ス、沈渣ハ多量ニシテ多クハ稀少ノ赤血球、許多ノ白血球、數多ノ尿、脂變セル上皮並ニ通常數多ノ硝子樣圓環及顆粒狀圓環並ニ間、蠟樣圓環ヲ有ス

(七四) 慢性間質性腎臟炎 (Chronische interstitielle Nephritis)

- (一) 皮膚癢、蒼白色ヲ呈ス
- (二) 皮膚乾燥ス
- (三) 多クハ水腫ヲ存スルト有リ或ハ缺如スルト有リ鏡檢スルニ甲ノ場合ニ於テハ脂變セル上皮及諸般ノ圓環ヲ存シ間、亦蠟樣圓環ヲ見ル
- (四) 心跳ハ左室肥大ニ因テ稍、下方ニ偏シ強盛ス(常ニ

慢性間質性腎臟炎

腎臟澱粉樣變性

- (五) 心濁音部癢、増大ス
- (六) 心音癢、強盛シ殊ニ第二大動脈音ニ於テ然リ
- (七) 此際亦頸動脈搏動ヲ見ル
- (八) 脈強ク緊張シ爲ニ彈力性隆起ヲ増シ逆衝隆起ヲ成

(七五) 腎臟澱粉樣變性 (Amyloid der Niere)

- (一) 皮膚水腫ハ尿、缺如ス之レ有ルハ多クハ腎臟炎ヲ合併スルニ因ル
- (二) 尿ノ量及比重ハ一定セズ多クハ清澄ニシテ酸性ノ反應

遊走腎

- (一) 腹内ニ於テ間、蠟豆形ノ腫瘍ヲ觸レ仰臥スルハ容易ニ復位セシムルト得可キ直立スルハ再ビ現出ス之ヲ打診スルニ濁音ヲ發ス

(七六) 遊走腎 (Wanderiere)

(七七) 腎臟水腫 (Hydronephrose)

- (一) 囊腫巨大ナルハ腹部ノ患側ニ常リ腫瘍ヲ視觸シ得可ク打診スルニ濁音ヲ呈ス
- (二) 穿刺液ハ清澄透明ニシテ一〇〇八乃至一〇二〇ノ比重

- (一) 皮膚水腫ハ尿、缺如ス之レ有ルハ多クハ腎臟炎ヲ合併スルニ因ル
- (二) 尿ノ量及比重ハ一定セズ多クハ清澄ニシテ酸性ノ反應
- (三) 尿、發作性ニ蛋白尿ヲ來スト有リ

ナ有シ蛋白ハ尿、缺如シ尿鹽ハ少量ナルモ尿、尿素及尿酸ヲ認ム、鏡檢スルニ時トノ稀少ノ腎上皮ヲ見ル

腎臟水腫

腎盂炎

(七八) 腎盂炎 (Pyelitis).

- (一) 熱候ヲ呈スルコト有リ或ハ缺如スルコトアリ
- (二) 腰、腎臟部ニ壓痛有リ結石性腎盂炎ニ於テハ時々疼痛發作ヲ來ス(腎石痛)
- (三) 尿ハ疾患ノ原因ニ從ヒ其性狀ヲ異ニス  
疾患若シ結石ニ因ルルハ尿ハ一時尋常ナルモ發作ノ際

(七九) 急性膀胱炎 (Acute Cystitis).

- (一) 往々熱候有リ
- (二) 膀胱部ニ疼痛ヲ覺エ之ヲ壓スルニ知覺過敏ナリ
- (三) 尿量ハ尋常ニ放尿ノ際疼痛ヲ起シ屢、淋瀝シ尿意窘迫ス

(八〇) 慢性膀胱炎 (Chronische Cystitis).

- (一) 尿量ハ尋常ニ常ニ潤溼シ屢、亞爾加里性反應ヲ呈ス
- (二) 尿中常ニ蛋白及粘液素ヲ有シ多量ノ沈渣ヲ生シ亞爾加里性ノ者ニ在テハ直ニ膠狀物ニ凝固ス又其中ニ粘液、許多ノ膿、脂變セル膿球、顆粒物、僅少ノ赤血球及膀胱上皮其他磷酸鹽類、尿酸暗誤尼亞ノ結晶粒ニ許多

赤色ヲ帶ビ血液、蛋白及粘液素ヲ含有シ鏡檢スルニ許多ノ赤白兩血球其他膿、結石ノ細小片ヲ見ル  
慢性腎盂炎ニ在テハ尿中ニ蛋白ヲ存シ許多ノ膿球粒ニ因、腎盂ノ上皮ヲ有シ結核症ノ者ニ在テハ屢、結核桿菌ヲ證明ス可シ

- (四) 尿色ハ屢、血液狀ニ反應ハ酸性或ハ亞爾加里性ヲ呈シ潤溼ス
- (五) 常ニ蛋白及血色素有リ鏡檢スルニ許多ノ赤血球、少許ノ膿球粒ニ膀胱上皮及分裂菌ヲ見ル

其原因結核ニ在ルルハ沈渣中ニ在ル所ノ乾酪性片塊中ニ結核桿菌ヲ存シ淋疾ニ在ルルハ屢、淋毒球菌ヲ發見ス可シ  
膀胱結石ヲ存スルルハ屢、血尿ヲ來ス

膀胱癌腫

(八一) 膀胱癌腫 (Carcinom der Blase).

- (一) 尿中屢、血液ヲ含有シ時トシハ純血ヨリ成ル而シテ血液ハ尿ト親和セズノ器底ニ沈降ス

- (三) 尿中ニ蛋白及血色素ヲ有シ鏡檢スルニ許多ノ赤白兩血球並ニ碎ニ腫瘍ノ小片ヲ見ル

(八二) 生殖器系諸病

(八二) 淋疾 (Gonorrhoe).

- (一) 鼠蹊腺ハ腫脹ス
- (二) 急性傳染(其潜伏期ハ二日乃至五日ナリ)ニ在テハ始メ尿道ヨリ些少ノ粘液狀物ヲ漏シ次テ直ニ許多ノ膿液ヲ漏ス(女子ニ在テハ又腔ヨリス)該分泌物ハ尿道上皮(若クハ腔上皮)及甚々多量ノ膿細胞ヨリ成リ其中ニ淋毒球菌ヲ存ス  
慢性症ニ在テハ分泌物稀少ニシテ粘液狀ヲ呈シ其中ニ亦

(八三) 原發性微毒 (Primitive Syphilis).

- 二乃至三週間ノ潜伏期ヲ經テ龜頭若クハ外陰部ニ限局性ノ硬結ヲ生シ其表面糜爛シテ扁平ノ潰瘍ヲ生シ周圍及底

面共ニ硬キト恰モ軟骨ノ如シ  
鏡檢上硬結組織ニナリテ、ばるりだナ證明ス可シ

(八四) 卵巢腫瘍 (Ovarialtumoren).

卵巢腫瘍

原發性微毒

生殖器系諸病

淋疾

妊娠

神經系統諸病

(己) 神經系統諸病

- (一) 胸廓下部多クハ平等ニ擴張ス
- (二) 横隔膜ノ位置高キハ肺ノ下部ハ或ハ異常ニ低且期ノ打撃ヲ發シ或ハ半濁鼓音ヲ發シ同時ニ肺ノ下界ハ上方ニ移リ深吸氣時トイヘ下降スルヲ少シ
- (三) 心跳左上方ニ偏在シ心濁音部ハ上方ニ轉移ス
- (四) 肚腹ハ多少平等ニ擴張セラレ
- (五) 波動ヲ感ズルコト有ルモ多ク只一局部ニ限畫ス
- (六) 肝濁音部ハ狹縮シ或ハ上方ニ轉移ス
- (七) 脾濁音部モ亦狹縮シ或ハ上方ニ轉移ス
- (八) 腫瘍上ニハ濁音ヲ發シ其境界一定セズ
- (九) 穿刺液ハ潤濁シ粘稠ニシテ赤キヤニ凝固ス、囊腫若シ化膿スルハ帶綠黃色ヲ呈シ若シ出血有ルハ褐色ヲ呈ス比量ハ一〇〇ニ乃至一〇五五ニシテ該液中ニハ蛋白、粘液及少許ノ食鹽ヲ含有シ又其中ニハ上皮(扁平上皮、圓柱上皮或ハ毳毛上皮)ヲ存シ化膿スルハこれにてありん結晶ヲ存ス
- (一〇) 肝濁音部ハ狹縮シ或ハ上方ニ轉移ス
- (一一) 脾濁音部腫、狹縮シ或ハ上方ニ轉移ス
- (一二) 增大セル子宮上ニハ濁音ヲ發シ體位ニ由テ打撃ノ部位ヲ變ズルヲ少シ
- (一三) 肚腹上ニハ子宮雜音及小兒ノ心音ヲ聽ク
- (一四) 腔ノ粘膜炎赤色ヲ呈ス
- (一五) 乳腺ヨリ(第二乃至三月ヨリ)初乳ヲ擠出シ得可シ

(八五) 妊娠 (Graviditas)

- (一) 展、黃斑有リ
- (二) 妊娠數月ヲ累テ分娩期ニ近クハ胸廓ノ下部左右共ニ擴張ス
- (三) 横隔膜高位ヲ占ムルノ症狀ヲ呈スルコトアリ
- (四) 心跳及心濁音部共ニ上方ニ轉移ス
- (五) 往々下肢靜脈ノ努張スルヲ嗜ル
- (六) 肚腹ハ妊娠ノ期ニ從ヒ多少膨滿シ臍隆起ス

腦卒中

(八六) 腦卒中 (Apoplexia cerebri)

- (一) 往々呼吸困難アリ呼吸ハ展、不整ニシテ又シャイテ、ストックス氏ノ呼吸現象ヲ嗜ルコト有リ
- (二) 脈ハ異常ニ緩徐ナルコト有リ或ハ頻數ナルコト有リ又一時強ク緊張スルコト有リ
- (三) 發作後ニハ尿中ニ糖分ヲ含有スルコト有リ
- (四) 偏側ノ知覺麻痺ハ只内囊後脚ノ後部ニ疾患アル際ニノミ來ル
- (五) 此場合ニ於テハ間、又偏側ノ視器ニ機能障礙ヲ來スコト有リ
- (六) 發作ノ直後ニ偏側ノ運動麻痺ヲ來スモ顔面神經ハ只一部侵サル是レ前額及眼筋ヲ主宰スル所ノ神經枝ニ障礙無クレバナリ然レモ舌ハ半側麻痺スルヲ以テ發語不能ヲ來ス
- (七) 能ヲ來スコト有リ
- (八) 後ニ至リ麻痺筋殊ニ屈筋ニ緊縮ヲ來シ間、痙攣或ハ半舞蹈病ヲ起スコト有リ
- (九) 反射機ハ或ハ消失シ或ハ(殊ニ腿反射)亢進シ瞳孔ハ始メ狹縮スレモ後ニハ散大ス
- (一〇) 電氣的興奮性ハ始メハ一時亢進スルモ後ニ至レバ展、稍減退シ或ハ絶エズ保存ス
- (一一) 時日ヲ經過スルハ麻痺筋ニ單純ノ廢用萎縮ヲ來ス
- (一二) 麻痺セル肢部ハ始メ多クハ冷却シ蒼白色ヲ呈スルモ後期ニ至レバ却テ赤色ヲ呈シ且ちあのいぜナラズルコト有リ
- (一三) 卒中發作ニ於テハ昏睡ヲ來スコト多シ
- (一四) 精神及意識ノ障礙ヲ來スコト有リ
- (一五) 腫瘍發生ノ部ニ由テ皮質性麻痺ヲ來スコト有リ又展、肢重有リ歩行蹣跚、罕ニハ眞ノ共同機障礙ヲ來シ又間、搐搦或ハ痙攣樣痙攣ヲ發ス

腦腫瘍

(八七) 腦腫瘍 (Gehirntumor)

- (一) 往々呼吸困難アリ又シャイテ、ストックス氏ノ呼吸現象ヲ呈ス
- (二) 脈搏ハ或ハ緩徐或ハ頻數ナリ
- (三) 殆んど常ニ側頭痛有リ

小兒腦水腫

- (六) 反射機ハ減退スルコト有リ
- (七) 患筋ニ於ケル電氣的興奮性ハ始メ亢進スルモ後ニ至レバ減退ス然レモ變性反應ヲ來スコト絶々罕ナリ
- (八) 累因障ヲ來スコト有リ時トシテ半視症ヲ來シ又壓シ血

(八八) 小兒腦水腫 (Hydrocephalus infantilis)

- (一) 頭蓋ハ異常ニ大ニシテ開大シク閉鎖セズ
- (二) 頭蓋ハ異常ニ大ニシテ開大シク閉鎖セズ
- (三) 腦脊液ノ量ニ異常ニ多クシテ

- 乳頭ヲ來ス
- (九) 腫瘍發生ノ部位ニ由テハ亦聽力減少及自覺的聽覺ヲ來スコト有リ
- (三) 麻痺ヲ來スコト有リ又之ニ筋ノ緊縮ヲ兼ルコト有リ
- (四) 癲癇様痙攣或ハ筋攣縮ヲ來スコト有リ

急性小兒腦麻痺

(八九) 急性小兒腦麻痺 (Acute cerebrale Kinderlähmung)

- (一) 初期ニハ熱候アリ
- (二) 知覺機ニ異常無シ
- (三) 初期ニ麻痺ハ半側性ノ痙攣様痙攣ヲ發シ後ニハ四肢、罕ニハ顔面ノ半身不遂ヲ來シ麻痺筋ハ萎縮シ緊縮ヲ起

シ間、半舞蹈病狀運動ヲ呈ス

- (四) 反射機ハ尋常或ハ亢進ス
- (五) 電氣運動的興奮性ハ保存セラレ

腦膜炎

(九〇) 腦膜炎 (Meningitis cerebri)

- (一) 嘔吐、呼吸困難アリ又シャイネストッフス氏ノ呼吸現象ヲ呈ス
- (二) 脈搏ハ初期ニ於テハ多クハ異常ニ緩徐ニシ且間、強ク緊張スレモ後ニ至レバ甚ク頻數ト爲ル

- (三) 肚腹多クハ陷沒ス
- (四) 頭ヲ打鼓スルニ壓シ、疼痛有リ頸椎ノ最上部ヲ壓スルモ亦疼痛有リ頭ハ後傾位ニ在ルコト多シ
- (五) 劇甚ク頭痛有リ

癲癇

(九一) 癲癇 (Epilepsia)

- (六) 後期ニ至レバ意識障礙ヲ來ス
- (七) 經過中顔面及軀幹ノ諸筋ニ麻痺ヲ來ス
- (八) 反射機ハ減少ス

- (九) 視覺及聽覺共ニ減弱シ又鬱血乳頭ヲ認ム瞳孔ハ始メ縮小スルモ後ニハ散大ス

舞蹈病

(九二) 舞蹈病 (Chorea)

- (一) 舌ニ痙攣或ハ咬傷ヲ見ルコト有リ
- (二) 發作後ニハ尿中ニ糖分ヲ見ルコト有リ
- (三) 發作ヲ來スヤ多クハ叫喚シ人事不省ト爲リ先ツ少時間全身ノ強直性痙攣ヲ發シ次テ諸筋ノ間代性痙攣ニ移

- (四) 瞳孔ハ多クハ著シク散大シ光線ニ向テ反應セズ反射ハ消失ス

震顫麻痺

(九三) 震顫麻痺 (Paralysis agitans)

- (一) 知覺機ニ異常ナシ
- (二) 患者不隨意的ニシテ秩序無キ運動ヲ發シ其運動持續セズ或ハ此所或ハ彼所ノ筋ニ來リ殆ンド全諸筋ニ涉ル

- 然レモ睡眠時ニハ鎮靜ス
- (三) 精神沈鬱シ感動シ易ク且記憶力減退ス
- (四) 電氣的興奮性ハ尋常ニシテ亢進スルヲ略ル

- (一) 知覺機ニ異常ナシ
- (二) 震顫運動アリ或ハ只一二ノ肢ヲ侵シ或ハ全身ノ筋ヲ侵シ運動ヲ企ツルニ際シテ震顫ヲ増スコト無ク患者自ラ一時其運動ヲ停止スルコト得可ク睡眠時ニ於テハ或

- ハ休止シ或ハ微弱ト爲ル
- (三) 身體ノ諸筋ニ痙攣アリ筋ノ麻痺ハ甚シカラズ而シテ其痙攣ノ爲メ患者一種ノ體位ヲ保ツ即チ身體前方ニ屈シ手指ハ執筆スル狀ヲ呈シ或ハ捻採スルガ如キ觀ヲ呈

多發性硬化

- (一) 知覺機ニ多クハ異常無シ
- (二) 罕ニハ共同機障有リ
- (三) 企動的震頭有リ即チ震頭ハ只運動ヲ企ツル際ニノミ發シ安靜時ニハ來ラズ
- (四) 諸處ノ筋肉ニ痲痺ヲ來スコト有リ屢ニ緊縮ヲ兼ヌ
- (五) 電氣的興奮性亦異常ナシ
- (六) 眼、眼球震盪症有リ又黒内障ヲ來ス
- (七) 反射機ハ屢ニ著シク亢進ス
- (八) 言語ハ特異ニシテ緩徐所謂繚語ヲ發ス

(九四) 多發性硬化 (Multiple Heredose)

歇斯的里

- (一) 間ニ喉頭筋ノ痲痺有リ
- (二) 呼吸困難ヲ來スコト有リ
- (三) 屢ニ鼓脹ヲ來ス
- (四) 多尿ヲ發スルコト有リ
- (五) 頭部ニ壓痛ヲ訴フルコト有リ
- (六) 脊柱ニ於テモ亦然リ
- (七) 境界不正ノ知覺鈍麻ヲ訴ヘ又眞ニ半身知覺痲痺ヲ來スコト有リ之ニ反シテ知覺過敏ヲ來シ或ハ只痛覺脫失ヲ來スコト有リ
- (八) 眼、頭痛有リ(所謂歇斯的里頭痛)又脊髓痛、假性換心症及胃痛發作其他劇痛等亦
- (九) 又精神ニ障有リ
- (一〇) 屢ニ同心狹縮性視野有リ其他自覺的聽覺及嗅味兩神ノ異常有リ
- (一一) 多少廣汎ノ痲痺ヲ來スコト有リ又痲痺セザル筋ニ緊縮ヲ來スコト有リ

(九五) 歇斯的里 (Hysteria)

延髓球痲痺

- (一) 知覺ニ異常無シ
- (二) 舌、口唇、咽頭及喉頭ノ諸筋ニ進行性痲痺及萎縮有リ又其他ノ筋ニモ同一ノ障有リ
- (三) 發作性ニ間代性痲痺ヲ發シ罕ニハ頸直性痲痺ヲ發ス又該痲痺ハ共ニ全身ニ互リ局發スルハ罕ナリ然レモ發作ノ際瞳孔反射及意識ハ常ニ保存セラレ、者トス
- (四) 罕ニハ頸梗ヲ來ス
- (五) 咽頭反射ハ消失スルコト有リモ他ノ反射ハ亢進スルコト有リ

(九六) 延髓球痲痺 (Bulbar paralysis)

急性及慢性脊髓炎

- (一) 初期ニハ熱候有ルコト多シ
- (二) 脊柱ノ局所ニハ壓痛有リ
- (三) 始メハ知覺異常アリ後諸般ノ知覺機減弱乃至消失シ或ハ間ニ只痛覺ノミ消失スルコト有リ
- (四) 急性症ニ在テハ速クニ、慢性症ニ在テハ徐々ニ兩側ノ運動痲痺ヲ來シ其廣狹ハ炎症ノ多少ニ由テ異ナリ刺戟症狀ハ缺如ス
- (一) 該部精膜ノ反射興奮性ハ減退乃至消失ス
- (二) 電氣的興奮性ハ減弱シ殆ド常ニ變性反應有リ
- (三) 器械的興奮性ハ増進ス
- (四) 反射機ハ急性症ノ初期ニハ屢ニ消失スレモ後ニ至レバ一部亢進ス慢性症ニ於テモ其亢進ヲ認ム
- (五) 常ニ尿管排泄ノ障有リ慢性症ニ於テハ痲痺筋ニ緊縮ヲ起スコト有リ
- (六) 痲痺筋ニ萎縮ヲ來スコト有リ疾患ノ部ニ關ス
- (七) 電氣的興奮性ハ始メハ亢進スルコト有リモ後ニハ多ク減弱シ又二三ノ筋ニ變性反應ヲ來スヲ見ル

(九七) 急性及慢性脊髓炎 (Myelitis acuta n. chronica)

急性脊髓前角炎

小兒脊體炎 (Polio-myelitis anterior acuta)

- (一) 該疾患(恐ク一種ノ傳染病ナラン?)ハ、腰、三十九度乃至四十度ノ熱ヲ以テ始マリ且痲痺ヲ發ス
- (二) 知覺機ニ異常無シ
- (三) 主トシテ偏側或ハ兩側ノ下肢ニ俄然弛緩性痲痺ヲ來シ、單ニハ上肢或ハ身體半側ニ之ヲ來ス而シテ此痲痺ハ腰、二三ノ筋團ニ於テハ再ビ消退スルモ他ノ筋團ニ於テハ長ク留リ以テ前者ニ緊縮ヲ來シ爲ノニ患肢ニ畸形ヲ貽ス
- (四) 痲痺筋ニハ腰、纖維性變縮ヲ來ス

- (五) 皮膚及腿ノ反射ハ消失スルモ膀胱及直腸ノ機能ニハ障礙無シ
  - (六) 痲痺筋ノ器械的興奮性ハ亢進シ且緩慢ナリ又變性反應ヲ呈ス
  - (七) 痲痺筋ニハ速カニ萎縮ヲ來セ且皮膚ノ營養障礙ハ缺如ス
- 大人ノ急性脊髓前角炎ニ於テモ其經過ハ之レト殆ンド同一ニ慢性症ハ唯其經過長キノミ

痲痺性脊髓痲痹

(九九) 痲痺性脊髓痲痹 (Paralysis spinalis spastica)

- (一) 知覺異常ナシ
- (二) 下肢ニ全痲痺或ハ不全痲痺有リ痲痺筋ニ強キ痲痺有ルヲ以テ歩行ニ艱ム
- (三) 腿反射亢進ス

- (四) 膀胱及直腸ニ異常無シ
- (五) 電氣的興奮性ハ具備ニ減少スルコト有ルノミ
- (六) 營養障礙ヲ缺ク

(一〇〇) 脊髓癆 (Tabes dorsalis)

脊髓癆

- (一) 身體ノ下部ニ(多クハ只限局的ニ)知覺減弱シ間、只痛覺ノ鈍麻ニ止マルコト有リ又腰、知覺傳導ノ緩慢ナルヲ認ム
- (二) 深在知覺ハ早ク既ニ障礙セラル、ト多シ
- (三) 腰、頭痛或ハ脊背痛アリ又第一期即チ疼痛期ニ於テ知覺變常(帶狀感覺等)アリ且下肢及軀幹ニ神經痛樣ノ痲痺アリ其他内臟(胃、腸等)ニ於テモ同一ノ疼痛ヲ發ス
- (四) 筋力ニ異常無キモ第二期即チ失調期ニ於テハ下肢ノ

- 共同機障礙ヲ來シ上肢ニ來ルハ罕ナリ
- (五) 反射機ハ減退シ膝蓋腿反射ハ早ク消失ス
- (六) 膀胱及直腸ニ障礙有リ又腰、陰痿ヲ來ス
- (七) 電氣的興奮性ハ始ノハ僅ニ亢進スルモ後ニハ僅ニ減退ス
- (八) 弱視及黑内障有リ又反射的瞳孔強直ヲ來ス
- (九) 腰、關節ノ疾患有リ
- (一〇) 第三期即チ痲痺期ニ至レバ諸般ノ痲痺症増進シ筋肉瘦削シ、腺病ヲ發シ膀胱加答兒ヲ患シ諸症増悪ス

脊髓性進行性筋萎縮

(一〇一) 脊髓性進行性筋萎縮 (Atrophia muscularis progressiva)

- (一) 知覺異常無シ
- (二) 始ノ痲痺無クシテ筋ノ萎縮ヲ來シ萎縮ハ始ノ只拇指球、小指球、骨間筋等ニ發スレモ次第テ上肢、軀幹及下肢ニ來ル
- (三) 常ニ纖維性變縮有リ

- (四) 萎縮筋束ニ變性反應ヲ呈スレモ之ヲ認ムルコト腰、難シ
- (五) 反射機ハ多少減退ス
- (六) 膀胱及直腸ニ異常無シ
- (七) 皮膚ニ營養障礙ヲ來ス

筋萎縮性側索硬化

(一〇二) 筋萎縮性側索硬化 (Sclerosis lateralis amyotrophica)

- (一) 知覺機ニ變常無シ

- (二) 運動機ノ症狀ハ痲痺性脊髓痲痹、進行性脊髓性筋萎縮

ブラウン、セクアルド氏麻痺	<p>及延髓球麻痺ニ於ケルト同シ而シテ運動麻痺ハ下肢及上肢ニ來レテ萎縮症狀ハ只上肢ニ顯著ナルヲ常トス</p> <p>(一〇三) ブラウン、セクアルド氏麻痺 (Brown-Sequard'sche Lähmung).</p> <p>經麻痺ヲ來ス</p> <p>(二) 損傷側ニ知覺過敏ヲ來シ他側ニ知覺鈍麻ヲ來ス</p> <p>(三) 知覺過敏ノ側部ニハ偏側ノ運動麻痺其他血管運動神經麻痺ヲ來ス</p> <p>(三) 麻痺筋ノ電氣的興奮性單ニ減退ス</p>
脊髓空洞症	<p>(一〇四) 脊髓空洞症 (Syringomyelia).</p> <p>(一) 溫神及痛覺共ニ減退スレモ觸神ニ違常ナシ</p> <p>(二) 殊ニ上肢ニ進行性脊髄性筋萎縮ヲ來ス</p> <p>(三) 其他脈、血管運動神經障礙、營養障礙及分泌障礙アリ</p>
脊髄膜炎	<p>(一〇五) 脊髄膜炎 (Meningitis spinalis).</p> <p>(一) 初期ニハ腰、熱有リ</p> <p>(二) 脊柱ニ壓痛有リ</p> <p>(三) 始メハ諸處ニ知覺過敏及痛覺過敏有レモ後ニハ知覺脫失及痛覺脫失ヲ將來ス</p> <p>(四) 始メハ諸筋ニ攣縮ヲ起セモ後ニハ兩側麻痺(截癱)ヲ來ス</p>
神經炎	<p>(一〇六) 神經炎 (Neuritis).</p> <p>(一) 患部神經ハ其經過ノ全部ニ壓痛アリ且間ハ肥厚ス</p> <p>(二) 知覺ハ始メ侵サレタル領域内ニ於テ増進シ知覺過敏</p> <p>(三) 反射ハ始メ亢進スルコト有ルモ後ニハ消失ス</p> <p>(四) 後期ニハ膀胱及直腸ノ麻痺ヲ來ス</p> <p>(五) 電氣的興奮性ハ始メ亢進スルコト有リ</p>

トムセン氏病	<p>チ呈スレモ後減弱シ亦只痛覺脫失ヲノミ認ムルコト有リ</p> <p>(一) 知覺機ハ間、僅ニ減退スルコト有リ</p> <p>(二) 初期ニハ知覺變常竝ニ神經痛樣疼痛有リ</p> <p>(三) 所患神經ノ領域ニハ弛緩性麻痺ヲ起シ後萎縮及攣縮ヲ來ス</p> <p>(三) 腰、深在知覺機ニ障礙ヲ來スコト有リ</p> <p>(四) 初期ニハ知覺變常竝ニ神經痛樣疼痛有リ</p> <p>(五) 所患神經ノ領域ニハ弛緩性麻痺ヲ起シ後萎縮及攣縮ヲ來ス</p>
進行性筋榮養障礙	<p>(一〇七) けたにー (Tetanice).</p> <p>(一) 隨意運動ヲ企ツルニ際シ筋ノ強直性攣縮ヲ起シ其運動ヲ妨グ</p> <p>(二) 筋ノ肥大ヲ見ルコト有リ</p> <p>(二) 共同機障礙ヲ來スコト有リ</p> <p>(三) 反射機ハ減弱乃至消失シ間、又一部亢進ス</p> <p>(四) 尿尿排泄ニ障礙無シ</p> <p>(五) 電氣的興奮性減少シ變性反應ヲ來スコト有リ</p>

血液及物質代謝機諸病  
惡性貧血

- (一) 知覺異常ナシ
- (二) 一定ノ筋力ニ萎縮ヲ來ス(肩胛、背、大腿及下腿、顔面)而シテ該萎縮ハ或ハ單純性ナル有リ或ハ殊ニ腓腸筋ニ假性肥大ヲ來シ他ノ筋(前膊、臂部)ニ眞性肥大ヲ來ス

(庚) 血液及物質代謝機諸病

(110) 惡性貧血 (Perniciöse Anaemia)

- (一) 皮膚及粘膜炎白色ヲ呈シ皮膚ニハ間、黃色ヲ帶ビ大溢血斑ヲ來スコト有リ
- (二) 腹、浮腫有リ
- (三) 勞働スルルハ呼吸困難ヲ來スコト多シ
- (四) 心臟間、擴張ス
- (五) 心音腹、減弱シ殆ド常ニ假性收縮期の雜音ヲ聽ク
- (六) 脈小ニシテ、頻數ナリ逆衝隆起增加ス
- (七) 第一動脈音強盛スルコト有リ
- (八) 血液ハ異常ニ蒼白ナリ
- (九) へもぐろびん減量ス
- (10) 赤血球減少シ而シテ其減少ハへもぐろびんノ減少ヨリモ著大ナリ

- (三) 纖維性變縮ヲ缺如ス
- (四) 電氣的興奮性ハ單ニ減退シ變性反應ヲ呈セズ

異形血球症竝ニ大血球症及小血球症アリ其他常ニ有核赤血球(正常及巨大有核血球)ヲ見ル可シ(白血球ニハ變化ヲ見ズ)

(二) 食慾ハ多ク全ク減損シ口臭アリ又嘔氣嘔吐ヲ來スコト有リ

(三) 尿ノ反應ハ尿、中性或ハ亞爾加里性ニシテ多クハ暗色ヲ呈シ間、蛋白ヲ有ス

(四) 腹、頭痛有リ其他時トシテ網膜出血竝ニ自覺的聽覺有リ

(五) 特ニ著明ナルハ上記皮膚及網膜ノ外腹、頰血及胃腸ノ出血ヲ來スニ在リ

繼發性貧血

(111) 繼發性貧血 (Secondary Anämia)

- (一) 皮膚蒼白ナリ
- (二) 腹、浮腫有ルモ通常高度ナラズ
- (三) 勞働スルルハ呼吸促進ス
- (四) 心音腹、減弱シ又腹、假性收縮期の雜音有リ
- (五) 脈小ニシテ逆衝隆起ヲ増ス
- (六) 第一動脈音強盛スルコト有リ
- (七) 腹、獨樂音ヲ聽ク
- (八) 血色異常ニ淡蒼ナリ
- (九) へもぐろびん減量ス
- (10) 赤血球數亦減少シ腹、異形血球症ヲ呈シ罕ニハ有核性ノ赤血球ヲ見ル
- (11) 白血球ハ腹、増加スルコト有リ

萎黃病

(112) 萎黃病 (Chlorose)

- (一) 専ラ女子ニ來ル
- (二) 皮膚ハ多少蒼白色ヲ呈ス
- (三) 腹、浮腫有レモ多カラズ
- (四) 僅ニ身體ヲ勞スルモ呼吸促進ヲ來ス
- (五) 心音腹、強盛スルモ亦減弱スルコト有リ
- (六) 多クハ假性雜音ヲ聽ク
- (七) 脈搏頻數トナリ易シ
- (八) 第一動脈音強盛ス
- (九) 腹、獨樂音有リ
- (10) 血液ハ異常ニ淡蒼ナリ
- (11) へもぐろびん量著シク減少ス
- (12) 赤血球數ハ僅ニ減少シ或ハ甚モ減少スルコト無シ只其色ハ淡蒼ナリ
- (13) 其他異形血球、小血球及有核赤血球ヲ見ル
- (14) 白血球數ハ多ク尋常ナルモ罕ニハ増加シ又著シク減少スルコト有リ
- (15) 尿量腹、増多シ比重減少ス反應ハ尿、中性或ハ亞爾加里性ニシテ淡白ナリ時トシテ尿酸減少シ又蛋白ノ痕跡ヲ認ムルコト有リ
- (16) 腹、白帶下其他月經障礙有リ

器質諸病



發作性血色素尿

(一三) 發作性血色素尿 (Paroxysmale Hämoglobinurie)

- (一) 皮膚殊ニ顔面蒼白土色ヲ呈シ皮膚及結膜ニ輕度ノ黃疸ヲ來シ間、又尋常疹ヲ伴フコト有リ
- (二) 發作ハ惡寒ヲ以テ始マリ甚シキハ戰慄ヲ以テシ次テ體溫ノ昇騰ヲ來シ四十度或ハ其以上ニ達スルコト有リ
- (三) 脾臟及肝臟ハ肥大シ往々壓痛ヲ有ス
- (四) 腎臟部ニ尿、緊脹及疼痛ヲ訴フ

紫斑病

(一四) 紫斑病 (Purpura)

ワエルホー  
ー氏紫  
斑病

本症ニ三種アリ單純紫斑病、假麻質斯性紫斑病及ワエルホー氏紫斑病是ナリ單純紫斑病ハ單リ皮膚出血ヲ來ス者ヲ謂ヒ假麻質斯性紫斑病ハ之ニ關節疾患ヲ併發スル者ヲ謂ヒワエルホー氏紫斑病ハ皮膚、粘膜及肝臟ニ出血スル者ヲ謂フ然レモ此三者ノ臨牀的症候ハ互ニ移行シ往々割然タル區別ヲ爲ス能ハザルコトアリ吾人ハ今茲ニ主トシテ其症狀ヲ略述スルニ止メントス

- (一) 血液ヲ檢スルニ血漿ハ血樣色ヲ帶ビ處々ニ赤血球ノ褪色セル者(血球陰影)ヲ認ム
- (二) 赤血球ノ數及血色素ノ量ハ共ニ減少ス
- (三) 分光鏡検査上異性ヘムグロビンノ吸收線ヲ見ル
- (四) 尿ハ血樣色ヲ帶ビ多クハ少量ノ蛋白ヲ含有ス
- (一) 最初皮膚出血ヲ來シ粘膜出血之ニ次ケモ又粘膜ノ出血ヲ以テ始マル者アリ
- (二) 皮膚ハ蒼白色ヲ呈スルヲ常トス
- (三) 出血ハ尿、反覆發來シ時トシテ危險ナル齒齦出血、鼻血、吐血、下血、血尿、子宮出血等ヲ來スコト有リ
- (四) 結膜及網膜ニモ間、出血シ又腦出血ヲ來スコト有リ
- (五) 熱ハ多クハ缺如スルモ不定型ノ體溫昇騰ヲ來スコト有ラズ

紫斑病 (Purpura fulminans)

壞血病

(一五) 壞血病 (Scurvy)

- (一) 初メ皮膚蒼白ト爲リ顔面土色ヲ呈シ全身倦怠ヲ來シ疲勞シ易ク且發汗ス
- (二) 上記前驅症ニ次テ齒齦潮紅腫脹シ之ニ觸ルニ容易ニ出血シ次テ齒齦ノ腫脹益々增加シ且汚穢黃褐色ヲ呈シ遂ニ壞疽ニ陥リ齒牙動搖脱落スルニ至ル
- (三) 出血ハ又皮膚ニ來リ其他鼻、筋肉、骨、骨膜下、關節出血モ稀ナラズ又時トシテ吐血、下血、咯血、血尿等ヲ來スコト有リ
- (四) 體溫ハ多ク尋常ナルモ亦不定型ノ熱候ヲ呈スルコト有リ
- (五) 血液ヲ檢スルニ血球及血色素ノ減少ヲ認ム

(一六) 血友病 (Haemophilic Biterkrankheit)

本病ハ極メテ輕微ノ外傷ニ由リ出血ヲ來シ止血困難、甚シキハ全ク之ヲ鎮止スルコト能ハザルヲ以テ特徴トスル者ニシテ遂ニ之ガ爲メ生命ヲ危險ナラシムルコト有リ殊ニ最も多キハ鼻血ニシテ皮下出血、關節出血等之ニ次

(一七) 白血病 (Leukämie)

(一) 皮膚通常蒼白色ヲ呈ス

(二) 尿、著シキ浮腫有リ

器質諸病

假性白血病

- (三) 皮下蜂窩織ノ淋巴腺多少腫脹スルヲ常トス
- (四) 屢々呼吸困難有リ殊ニ勞働ノ際ニ多シ
- (五) 心音間、減弱シ假性收縮期の雜音ヲ聽クコト多シ
- (六) 血色淡白ニ稀薄、潤濁シ或ハ乳様ナリ
- (七) へもぐろびん減量ス

(一一八) 假性白血病 (Pseudoleukämie)

- (八) 白血球增多シ赤血球減少ス又異形血球、小血球及、有核赤血球有リ
- (九) 脾ハ常ニ腫大シ殆ド常ニ觸知シ得可シ
- (一〇) 尿酸及全硫酸ハ多クハ増量ス
- (一一) 網膜炎症ハ網膜出血ヲ來スコト有リ

- (一) 皮膚蒼白ナリ
- (二) 屢々熱アリ間、一種ノ再歸熱狀ヲ呈ス
- (三) 淋巴腺ノ腫脹有リ
- (四) 心臟及血管ニ貧血症狀ヲ呈ス

- (五) 白血球增多スルヲ無キモ赤血球著シク減少スルコト有リ
- (六) 脾腫多シ

無味尿崩症

(一一九) 無味尿崩症 (Diabetes insipidus)

- (一) 尿量著シク增多シ比重非常ニ低シ
- (二) 尿色ハ淡白ナルヲ水ノ如ク澄明ニシテ蛋白及糖ヲ缺

如ス

糖尿病

(一二〇) 糖尿病 (Diabetes mellitus)

- (一) 皮膚常ニ乾燥スルコト多シ
- (二) 屢々著シク羸瘦ス

- (三) 間々呼吸困難有リ木微ハ昏睡ノ前兆タルコト有リ
- (四) 唾液ノ分泌減少シ唾液ハ屢々酸性反應ヲ呈ス

脂肪過多症

(一二一) 脂肪過多症又肥胖病 (Polysämie, Fettsucht)

- (一) 皮膚殊ニ顔面ニ著シキ潮紅ヲ呈スルモ (多血性肥胖病) 又皮膚蒼白色ニシテ蠟様ヲ呈スル者アリ (貧血性肥胖病)
- (二) 脂肪層ハ全身ニ於テ發育盛ナリ殊ニ腹部ニ於テ最モ甚シトス
- (三) 僅微ノ運動ニ由テ直ニ發汗シ皮脂分泌亦増進ス

問、あちみとんヲ増シ又屢々殊ニ後期ニ於テ蛋白其他糖酸石灰ノ結晶ヲ見ル

- (四) 顔貌ハ管鈍狀ヲ呈スルコト多シ
- (五) 往々呼吸促進ヲ訴フルコト有リ
- (六) 心音屢々減弱シ又時トシテ脂肪心ノ症狀ヲ呈スルコト有リ
- (七) 腹圍ハ著シク増大ス

佝僂病

(一二二) 佝僂病 (Rickets)

- (一) 患者ノ軀體尋常ヨリ小ニシテ管狀骨彎屈ヲ呈シ骨端隆起ス
- (二) 胸廓ハ一種ノ畸形即チ鳩胸、佝僂病性串珠等ヲ呈シ又脊柱彎屈症ヲ兼ヌ

- (三) 齒牙發生遲々タリ
- (四) 尿中磷酸ノ排泄減少ス
- (五) 頭蓋ハ非常ニ大ニシテ額門長ク鎖サズ頭骨亦非常ニ軟弱ナリ

痛風

(一二三) 痛風又尿酸性病習 (Gicht, harnsaure Diathese)

- (一) 時々「痛風發作」ヲ反覆ス即チ趾趾、趾指及手關節、肩關節ニ著シキ發赤、腫脹及疼痛ヲ來ス殊ニ疼痛發作ハ先ツ趾趾ノ趾趾關節ニ來ルコト最モ多シ(所謂足痛風)
- (二) 同時ニ食思缺亡、胃部膨滿、嘔吐アリ
- (三) 病後ノ經過中、所患關節ニ硬固ノ肥厚部ヲ貽ス(痛風結節)是レ尿酸鹽ノ沈著ニ因ル者ナリ
- (四) 結液囊、腱鞘、軟骨(殊ニ耳軟骨)ニモ痛風結節ヲ生ズ

- ルコト有リ
- (五) 心臟ニ於テハ心筋衰弱、狹心症其他心臟内膜炎、心瓣炎、肝臟形成ヲ來スコト有リ
- (六) 動脈硬變症及動脈瘤ヲ生ズルコト有リ
- (七) 腎臟ニハ慢性間質性腎炎ヲ起ス
- (八) 此他肺炎、肋膜炎、氣管枝炎、喉頭炎、鼻炎、眼珠炎、胃腸炎、肝臟炎等ヲ起スコト有リ

診斷十五版複製附

明治三十二年十一月十五日  
 明治三十一年十一月十五日  
 明治三十年十一月十五日  
 明治二十九年十一月十五日  
 明治二十八年十一月十五日  
 明治二十七年十一月十五日  
 明治二十六年十一月十五日  
 明治二十五年十一月十五日  
 明治二十四年十一月十五日  
 明治二十三年十一月十五日  
 明治二十二年十一月十五日  
 明治二十一年十一月十五日  
 明治二十年十一月十五日  
 明治十九年十一月十五日  
 明治十八年十一月十五日  
 明治十七年十一月十五日  
 明治十六年十一月十五日  
 明治十五年十一月十五日  
 明治十四年十一月十五日  
 明治十三年十一月十五日  
 明治十二年十一月十五日  
 明治十一年十一月十五日  
 明治十年十一月十五日  
 明治九年十一月十五日  
 明治八年十一月十五日  
 明治七年十一月十五日  
 明治六年十一月十五日  
 明治五年十一月十五日  
 明治四年十一月十五日  
 明治三年十一月十五日  
 明治二年十一月十五日  
 明治元年十一月十五日

明治三十二年十一月十五日  
 明治三十一年十一月十五日  
 明治三十年十一月十五日  
 明治二十九年十一月十五日  
 明治二十八年十一月十五日  
 明治二十七年十一月十五日  
 明治二十六年十一月十五日  
 明治二十五年十一月十五日  
 明治二十四年十一月十五日  
 明治二十三年十一月十五日  
 明治二十二年十一月十五日  
 明治二十一年十一月十五日  
 明治二十年十一月十五日  
 明治十九年十一月十五日  
 明治十八年十一月十五日  
 明治十七年十一月十五日  
 明治十六年十一月十五日  
 明治十五年十一月十五日  
 明治十四年十一月十五日  
 明治十三年十一月十五日  
 明治十二年十一月十五日  
 明治十一年十一月十五日  
 明治十年十一月十五日  
 明治九年十一月十五日  
 明治八年十一月十五日  
 明治七年十一月十五日  
 明治六年十一月十五日  
 明治五年十一月十五日  
 明治四年十一月十五日  
 明治三年十一月十五日  
 明治二年十一月十五日  
 明治元年十一月十五日

正價金貳圓五拾錢

纂著者

下平用

發行者

田中增藏

印刷者

今井甚太郎

印刷所

杏林舎



發行所

東京市本郷區龍岡町三十四番地  
(振替貯金口座東京四一八番)

吐鳳堂書店

(電話下谷一六七二番)



關西大賣捌所

大阪市南區心齋橋筋一丁目 松村九兵衛  
大阪市南區心齋橋筋博勞町 丸善株式會社支社

弘通書林

東京市日本橋區通三丁目	丸善株式會社書店	名古屋市西區木町	丸善書店
同 本郷區湯島切通坂町	南江堂書店	熊本市新二丁目	長崎次郎
同 同 區春木町三丁目	半田屋書店	長崎市引地町	安中集榮堂
同 同 區湯島切通坂町	合名會社金原商店	岡山市上之町	渡邊宗治郎
同 神田區鍛冶町	朝香屋書店	京都市寺町通三條下	若林茂一郎
同 本郷區春木町三丁目	南江堂支店	金澤市片町	宇都宮書店
同 同 區春木町三丁目	積運堂書店	京都市三條通鉄屋町	丸善株式會社支店
同 同 區龍岡町	朝陽堂書店	大阪市中ノ島玉江町	角屋書店
同 同 區本宮士町	明文館書店	京都市河原町	大黒屋書舖
同 同 同	文光堂書店	仙臺市新傳馬町	金英堂書店
同 同 同	豐文堂書店	同 大町五丁目	沾哉堂書店
同 同 區龍岡町	南山堂書店		
同 同 區湯島切通坂町	宮澤書店		

52  
別冊  
72

